

令和 5 年度

事業報告

法人本部
特別養護老人ホーム 好日苑
好日苑デイサービスセンター
好日苑ヘルパーステーション
好日苑ケアプランセンター
大田区地域包括支援センター上池台
大田区地域包括支援センター嶺町
シニアステーション東嶺町
大田区地域包括支援センター六郷
大田区地域包括支援センター西六郷
大田区地域包括支援センター馬込
シニアステーション馬込
大田区地域包括支援センター南馬込
シニアステーション南馬込



社会福祉法人

響会

目次

法人本部	2
事務部門	13
特養部門（特別養護老人ホーム 好日苑）	15
在宅部門	
I. 好日苑デイサービスセンター	71
II. 好日苑ヘルパーステーション	83
III. 好日苑ケアプランセンター	86
IV. 在宅部門会議・研修	89
包括部門	
地域包括支援センター	93
大田区地域包括支援センター上池台	
大田区地域包括支援センター嶺町	
大田区地域包括支援センター六郷	
大田区地域包括支援センター西六郷	
大田区地域包括支援センター馬込	
大田区地域包括支援センター南馬込	
シニアステーション	
シニアステーション東嶺町	
シニアステーション馬込	
シニアステーション南馬込	

法人本部

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5月8日に5類に移行されたことを受け、入居者への面会の緩和やボランティアさんや実習生の受け入れを行い、徐々に日常生活に戻るよう配慮すると共に、引き続き感染対策を継続し、毎週1回職員へのPCR検査を延べ52回7,212名へ実施し、かつ定期的な抗原検査も実施しましたが、1月～2月にかけて集団感染がありました。その後、東京都の感染対策即応支援チーム及び大田区保健所より訪問指導を受ける事で、感染症対策の見直し及び強化につながる事が出来ました。

施設整備では館内全ての換気設備の更新及び新館居室の温水洗面設備を57室更新し、センサー付き介護用ベッド17台の新規入れ替え、移乗ロボット4台を新規導入し、より利用者様に合った快適な環境づくりを実現しました。また厨房床の全面補修を夜間工事で実施いたしました。

令和5年度は響会創立25周年企画として、正面花壇への桜の植樹、25周年記念ノベルティ（スマホスタンド）の配布、永年勤続表彰規定を設置し令和5年4月1日に、永年勤続20周年11名、10周年32名、5周年22名の合計65名を表彰致しました。また25周年響会職員統一ユニフォームと社章ワッペンを着用することで、部門間の横のつながりを強化する一翼を担う事ができました。



I 経 営

1. 令和5年度 経営目標・実績

「予算書基準」

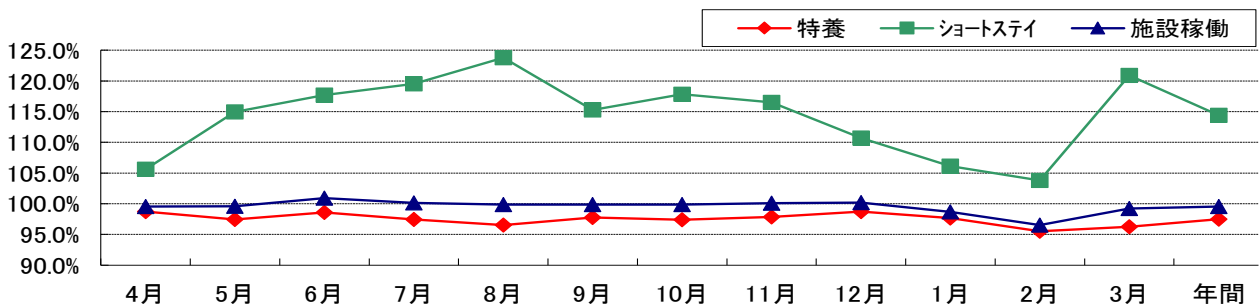
	目標(補正後)	実績	差額	達成率
収入	1,379,637,000	1,384,876,923	5,239,923	100.4%
支出	1,379,637,000	1,369,463,092	-10,173,908	99.3%
収支差額	0	15,413,831	15,413,831	
収支率	0.0%	1.1%	1.1%	

(1) 特別養護老人ホーム好日苑

稼働目標	97.5%	実績	99.5%
------	-------	----	-------

(%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
98.7%	97.5%	98.6%	97.5%	96.5%	97.8%	97.4%	97.9%	98.7%	97.7%	95.5%	96.3%	97.5%
105.6%	114.9%	117.7%	119.5%	123.8%	115.3%	117.8%	116.5%	110.7%	106.1%	103.8%	120.9%	114.4%
99.6%	99.6%	100.9%	100.1%	99.8%	99.9%	99.9%	100.1%	100.2%	98.7%	96.5%	99.2%	99.5%

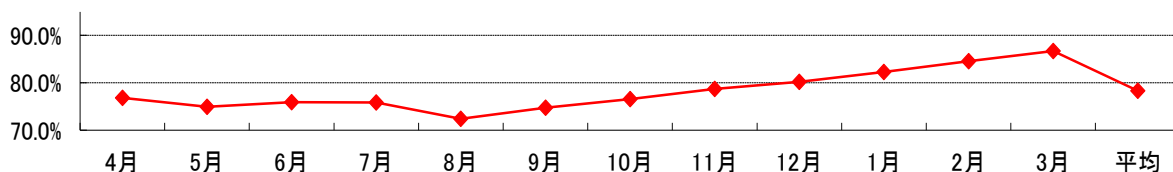


(2) 好日苑デイサービスセンター

稼働目標	90.0%	実績	78.3%
------	-------	----	-------

(%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
デイサービス	76.8%	74.9%	75.9%	75.8%	72.4%	74.7%	76.6%	78.7%	80.2%	82.3%	84.6%	86.7%	78.3%

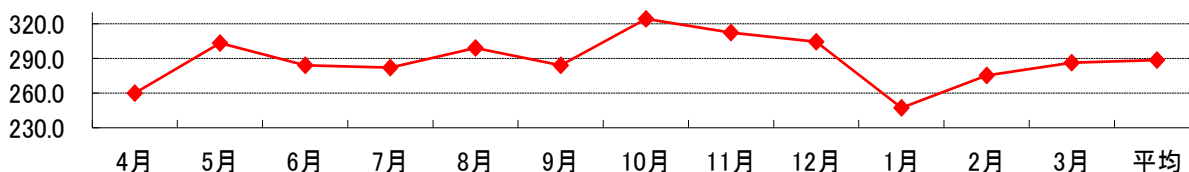


(3) 好日苑ヘルパーステーション

稼働目標	300 時間/月	実績	288.6 時間/月
------	----------	----	------------

(時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ヘルパー	260.1	303.3	284.2	282.1	299.2	284.2	324.4	312.3	304.5	247.2	275.2	286.4	288.6

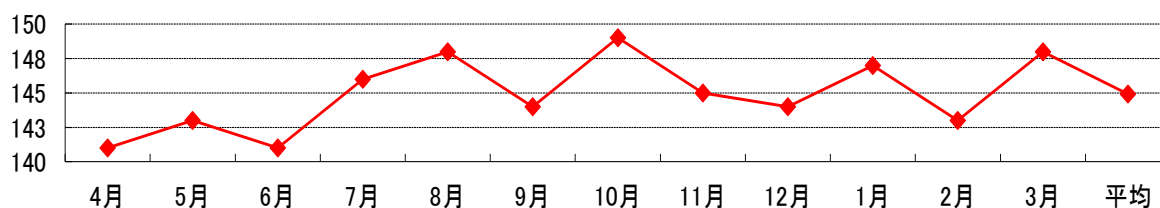


(4) 好日苑ケアプランセンター

稼働目標	140 件/月 (CM 4 人)	実績	145 件/月 (CM 4 人)
------	------------------	----	------------------

予防プランは1件換算 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
ケアプラン	141	143	141	146	148	144	149	145	144	147	143	148	144.9



2. 安定した適正経営

(1) 人財確保・体制強化

人財確保・サービス向上のために下記取組を行いました。

- ① TOKYO かいごチャレンジインターンシップの受入 (特養 3 名、デイ 1 名)
- ② 東京都プラチナナース職場体験会 (特養 1 名)
- ③ 福祉職場における助成金付インターンシップ事業の受入 (0 名)
- ④ 介護職員就業促進事業の活用 (採用：特養 1 名、デイ 1 名)
- ⑤ 現任介護職員資格取得支援事業 (介護福祉士受験 3 名申請)
- ⑥ 資格取得支援の強化 (介護福祉士実務者研修の好日苑分校 6 名卒業)
- ⑦ 無期転換ルールの継続雇用の高齢者に関する特例「第二種計画」の認定

(2) 補助金等取得

補助金事業等収益明細書（抜粋）

別紙3 (③)

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日

社会福祉法人名 響 会

交付団体及び交付目的	区分	交付金額
東京都 (特別養護老人ホーム経営支援補助金)	介護事業	5,005,000
東京都 (高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対策強化事業補助金)		79,000
東京都 (介護職員就業促進事業補助金)		3,960,000
東京都 (現任介護職員資格取得支援事業)		27,000
大田区 (介護職員実務者研修受講費助成金)		224,000
東京労働局 (特定求職者雇用開発助成金)		633,333
大田区 (社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減措置事業補助金)		322,822
大田区 (大田区介護保険サービス利用者負担額軽減事業に係る助成金)		416,387
大田区 (利用者負担軽減額軽減事業に係る事業者参入促進事業)		30,000
大田区 (原油価格・物価高騰等における介護サービス事業所・施設に対する支援金)		6,171,066
東京都 (介護サービス事業所等物価高騰緊急対策支援金)		3,232,112
東京都 (介護介護職員宿舍借り上げ支援事業)		66,000
独立行政法人中小企業基盤整備機構 (IT導入補助金)		1,332,088
区分小計		
東京都福祉保健財団 (借入金利子補給費)	利息	243,525
区分小計		243,525
東京都 (次世代介護機器導入促進事業補助金)	施設	5,483,000
クール・ネット東京 (中小規模事業所向け省エネ型換気・空調設備導入支援事業)	施設	10,000,000
区分小計		15,483,000
合 計		37,225,333

II 人財の育成と確保

【職員募集媒体】

法人活動	公的機関	民間企業
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ ・職員紹介制度 ・就職支援支度金制度 ・資格取得支援制度 ・介護職員奨学金返済手当制度 ・介護職員就業促進事業 ・T O K Y O 働きやすい福祉の職場宣言事業所登録 ・インターン事業 ・介護の仕事定例就職面接会 ・おおた福祉フェス求人ブース ・ふくしのしごと市 ・特別養護老人ホーム等就職相談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク ・東京都福祉人材センター（福祉のお仕事） ・各種学校求人 ・看護協会（e ナースセンター） ・東京都プラチナナース職場体験会 ・TOKYO かいごチャレンジインターンシップ ・福祉職場における助成金付インターンシップ事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット媒体（新卒） ・インターネット媒体（中途） ・人材紹介（介護・看護） ・人材派遣（介護・看護）

【入職・退職】

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	採用（人）	退職（人）	退職率	在籍者平均
正規職員（常勤）	16	23	15.6%	9年4ヵ月
契約職員（非常勤）	14	13	20.9%	6年5ヵ月

	R5 年間常勤換算数（人）			R4 年間常勤換算数（人）		
	特養	デイ	合計	特養	デイ	合計
派遣職員（介護）	1.6	0	1.6	0.2	0	0.2
派遣職員（看護）	1.0	0	1.0	3.7	0	3.7
合計	2.6	0	2.6	3.9	0	3.9

III 情報の活用と連携強化

1. 介護サービス情報の公表（訪問調査なし）

対象事業：特別養護老人ホーム 好日苑（特養・ショートステイ）
 好日苑デイサービスセンター（デイサービス）
 好日苑ヘルパーステーション（訪問介護）
 好日苑ケアプランセンター（居宅介護支援）

公開：介護サービス情報公表システム

2. ふくむすび更新

令和6年2月26日（月）TOKYO 働きやすい職場宣言ヒアリング実施

3. 第三者評価

実施事業：特別養護老人ホーム 好日苑（介護老人福祉施設）
 評価機関：一般社団法人 特養ホームマネジメント研究所
 公表：とうきょう福祉ナビゲーション

4. 広報委員会 (PR)

(1) 職員親睦会中止に伴う QUO カードの職員配布

(2) ボランティア表彰記念品及び
永年勤続表彰記念品としてノベルティ立案・製作



(3) 広報誌「ひびき」の発行

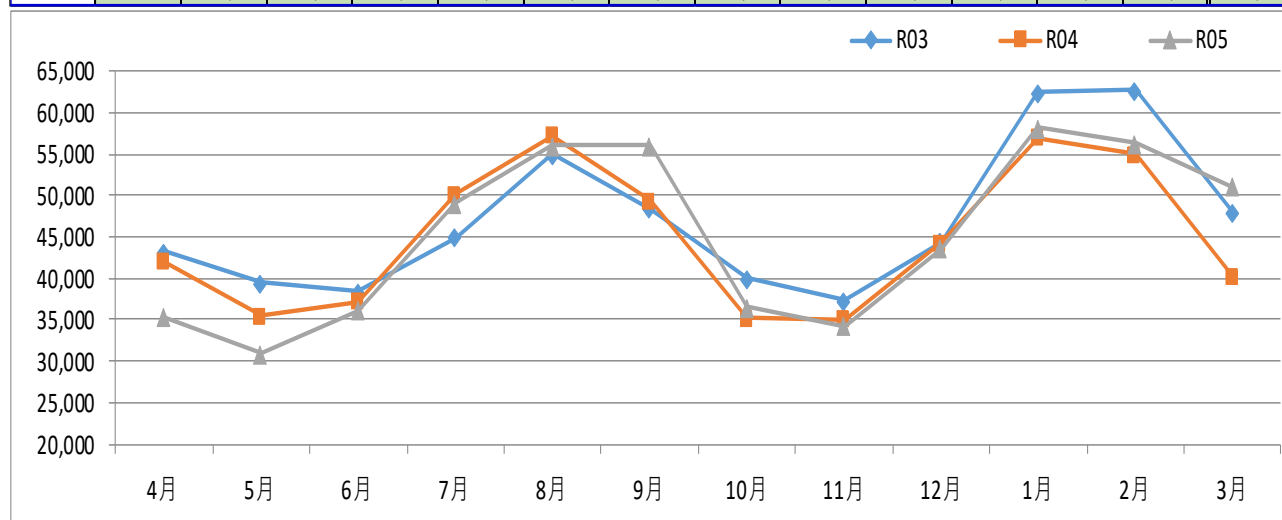
- ・ 年4回発行 (4月「創立25周年特別号(77号)」 7月「78号」
10月「79号」 1月「80号」)

(4) ホームページ

- ・ 響会公式 YouTube 法人紹介動画
(地域包括支援センター作成・公開)
- ・ ホームページの更新
(職員紹介・数字で知る響会・働く環境を知る・研修制度・動画で見る響会)
- ・ 月次更新 (職員採用・月間予定表・献立等・シニアステーションニュース)
- ・ ブログ更新 (日々是好日・特養の窓・デイサービスの窓・包括の窓)

(5) Fun to Share

4. CO2排出量		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(m ³)
電気	R03	27,569	23,222	27,009	32,092	41,835	35,809	27,236	24,085	31,383	46,169	49,652	34,616	400,677	
	R04	26,603	21,459	24,591	38,006	46,251	38,354	23,439	22,916	31,962	41,055	43,478	26,342	384,458	
	R05	20,520	18,323	22,883	35,882	44,679	44,297	25,338	22,464	30,606	41,812	42,768	37,938	387,512	
ガス	R03	15,205	15,838	11,016	12,539	12,789	12,194	12,366	12,893	12,702	15,930	12,765	13,034	159,272	
	R04	14,958	13,594	12,248	11,854	10,684	10,693	11,373	11,734	12,005	15,524	11,227	13,553	149,447	
	R05	14,464	12,237	12,867	12,890	10,979	11,437	10,832	11,505	12,668	15,963	13,176	12,815	151,833	
水道	R03	378	360	354	356	363	366	349	351	359	423	343	338	4,339	
	R04	390	377	357	347	330	333	346	345	317	389	294	344	4,170	
	R05	386	336	370	372	351	365	352	347	351	406	346	316	4,297	
合計	R03	43,152	39,420	38,380	44,986	54,986	48,369	39,951	37,328	44,444	62,522	62,761	47,988	564,288	
	R04	41,951	35,429	37,197	50,208	57,265	49,380	35,158	34,995	44,284	56,969	54,998	40,239	538,074	
	R05	35,370	30,895	36,120	49,145	56,009	56,099	36,522	34,316	43,626	58,181	56,290	51,069	543,642	



IV 安全対策

1. 災害対策推進チーム（STST）4回開催
2. 「避難所運営ゲーム HUG（社会福祉施設バージョン）」机上訓練
1回目：令和5年8月8日（火）13：00～16：00
2回目：令和6年1月11日（木）13：00～16：00
3. 大規模防災訓練
令和5年9月24日（日）9：00～12：30
BCP(事業継続計画)に基づく初動確認と福祉施設避難所開設のあと、BCP説明研修の3部制
4. 自衛消防訓練審査会
令和5年9月6日（水）1隊2名参加
5. 衛生管理委員会の開催（全12回）
安全確認（労働環境・衛生）・職員健康診断・腰痛予防・ストレスチェック・感染症対策

V 苦情処理

【法人受付】

日付	種別	内容	改善対策
5/16	ケア内容	特養入居者リハビリ希望	申立人と共にサービス担当者会議開催し、個別機能訓練開始
8/8	その他	ショートステイ送迎時の運転マナー	謝罪と今後の対応説明
3/27	ケア内容	デイ送迎時に職員の対応が、介護者に対しての配慮がなく、態度・言動が悪い	謝罪と今後の対応説明
合 計			3

VI 地域交流及び公益的取組

1. 「ひびきほっとサロン」

開催日	内 容	会場
5月21日(日)	ボッチャ大会／上池台障害者福祉会館お菓子詰め合わせ	好日苑
7月16日(日)	ボッチャ大会／上池台障害者福祉会館お菓子詰め合わせ	シニアステーション 南馬込
11月19日(日)	職員有志演奏会／上池台障害者福祉会館お菓子詰め合わせ	シニアステーション 東嶺町
1月21日(日)	ボッチャ大会／上池台障害者福祉会館お菓子詰め合わせ	好日苑
3月17日(日)	ボッチャ大会／上池台障害者福祉会館お菓子詰め合わせ	六郷地域力 推進センター

2. 令和5年度 おおた福祉ネット調布地区連絡会活動

(1) 調布地区幹事法人打合せ等（響会・池上長寿園・大田社協）

- ① 令和5年8月23日（水）15：30～17：00
- ② 令和5年9月27日（水）15：30～17：00
- ③ 令和5年12月5日（火）13：00～14：00
- ④ 令和6年3月25日（月）14：00～15：10

(2) 調布地区全体連絡会

令和5年10月19日（水）14時30分～15時45分

「フードパントリー」「フードドライブ」について

「おおたフード支援ネットワーク」事業について

「調布地区 おおた福祉ネット フードパントリー企画(案)」について

「大田区重層的支援体制整備事業について」

(3) 幸せのおすそ分け会【 調布地区法人協フードパントリー 】

1回目

日時：令和6年1月20日(土) 13:30-15:00

場所：田園調布西シニアステーション

来場者数：39世帯(50名以上)

アンケート回収：36世帯(92%)

運営・見学：24名

(大田社協、池上長寿園、響会、いまいずみ、地域福祉課、民生委員、フードバンクおおた)



2回目

日時：令和6年2月14日(水) 13:00～15:00 (まちかど相談室同時開催)

場所：地域包括支援センター嶺町(嶺町特別出張所2階)

来場者数：50名

アンケート回収：50名(100%)

運営・見学：16名

(大田社協、響会、池上長寿園、フランススコ姉妹会、地域福祉課)



3. 第26回 好日苑まつり

(1) 実行委員会 全6回(5/18・6/7・6/22・8/10・9/6)

(2) 実施内容

日時：令和5年8月20日(日) 11：30～14：30

参加者：特養入所者及びご家族1名付き添い可

内容：第26回は「笑」をテーマに実施しました。地域への模擬店等の提供は出来ませんでしたが、それ以外にご家族参加、外部団体の参加等、通常開催となり、また響会職員によるヒビキターズを結成し、入居者様へ近い存在である職員が「笑」をご提供したことで、好日苑まつりが盛り上がり、より楽しんで頂くことができました。

Ⅶ 理事会・評議員会

1. 理事会及び評議員会 等

(1) 理事会議案

第1回 令和5年5月26日(金)	
第1号議案	令和4年度 事業報告(案)
第2号議案	令和4年度 決算報告(案) / 監事監査報告
第3号議案	社会福祉充実計画
第4号議案	次期役員候補者推薦(案)
第5号議案	令和5年度定時評議員開催
報告事項①	特養介護報酬請求システムエラー処理報告
報告事項②	新型コロナウイルス感染症対応状況
第2回 令和5年6月16日(金)	
第1号議案	役員就任
第2号議案	理事長選任
第3号議案	役員等賠償責任保険契約について
報告事項①	大田区実地指導 特養「好日苑」予定
第3回 令和5年10月27日(金)	
第1号議案	「契約職員就業規則」一部改正(案)
第2号議案	パソコンリース機器入替計画
第3号議案	好日苑本館内装仕上げ大規模改修工事計画
報告事項①	理事長の業務執行報告
報告事項②	大田区特養好日苑 実地指導 結果報告
報告事項③	馬込地区・嶺町地区中間評価結果
報告事項④	事務業務IT化に伴うIT導入補助金報告
報告事項⑤	次世代介護機器導入支援事業費補助申請報告
第4回 令和6年1月26日(金)	
第1号議案	好日苑本館内装仕上げ大規模改修工事入札基準について
第2号議案	社会福祉法人 響会『借り上げ宿舎管理規程』(案)
報告事項①	特定技能1号者の受入れについて
報告事項②	換気設備更新工事完了報告
報告事項③	車椅子のレンタルパック契約について
報告事項④	令和6年能登半島地震の被災福祉施設等への義援金について
第5回 令和6年3月29日(金)	
第1号議案	本館内装仕上げ大規模改修工事 入札結果
第2号議案	令和5年度 第1回 補正予算(案)
第3号議案	令和6年度 事業計画(案)
第4号議案	令和6年度 当初予算(案)
第5号議案	年額1,000万円を超える業務委託契約
第6号議案	介護職員処遇改善支援補助金の活用について
報告事項①	理事長の職務執行状況報告
報告事項②	令和5年度 特養第三者評価結果報告
報告事項③	地域包括支援センター南馬込の受託地域の拡大について

(2) 評議員会議案

定時評議員会 令和5年6月16日(金)	
第1号議案	令和4年度 事業報告(案)
第2号議案	令和4年度 決算報告(案) / 監事監査報告
第3号議案	社会福祉充実計画について
第4号議案	次期役員選任(案)
第5号議案	役員等賠償責任保険契約
報告事項①	新型コロナウイルス感染症対応状況

(3) 役員及び評議員（令和6年3月31日現在）

役職名	氏名	備考
理事	小林 信正	理事長
理事	梶原 憲彦	施設長
理事	戸金 隆三	
理事	海老澤 信吉	
理事	門倉 友子	
理事	常安 雅彦	
監事	谷塚 秀男	
監事	秋元 雪絵	
任期 R5. 6. 16～R7-定時評議員会まで		

役職名	氏名	備考
評議員	杉山 鈴子	
評議員	鈴木 壽子	
評議員	星野 勝世	
評議員	森井 郁夫	
評議員	海老澤 幸子	
評議員	玉井 直仁	
評議員	中野 眞木夫	
評議員	大字 久美子	
任期 R3. 6. 18～R7-定時評議員会まで		

2. 本部会議等

(1) 幹部会

上半期開催	主な内容	下半期開催	主な内容
4月6日	部門報告・行政等通知・規定改定	10月5日	部門報告・行政等通知・法人食負担
4月13日	部門報告・行政等通知・事業報告書	10月5日	部門報告・行政等通知・職宿舍規定
4月20日	部門報告・行政等通知・適正な超勤	10月19日	部門報告・行政等通知・第二種計画
4月27日	部門報告・行政等通知・防災訓練	10月26日	部門報告・行政等通知・法人協
5月1日	部門報告・行政等通知・社章ワッペン	11月2日	部門報告・行政等通知・特定技能1
5月11日	部門報告・行政等通知・好日苑まつり	11月9日	部門報告・行政等通知・功労者表彰
5月18日	部門報告・行政等通知・PR委員会報告	11月16日	部門報告・行政等通知・ホワイ-修理
5月25日	部門報告・行政等通知・事務IT化	11月22日	部門報告・行政等通知・ブ-ス装飾
6月1日	部門報告・行政等通知・職員の肖像権	11月30日	部門報告・行政等通知・給与規定
6月8日	部門報告・行政等通知・就業規則	12月6日	部門報告・行政等通知・老施協入会
6月15日	部門報告・行政等通知・区実地指導	12月14日	部門報告・行政等通知・大田福祉フェス
6月22日	部門報告・行政等通知・サイボウズクラウド	12月21日	部門報告・行政等通知・R6事業計画
6月29日	部門報告・行政等通知・まつり案内状	12月28日	部門報告・行政等通知・BCP研修
7月6日	部門報告・行政等通知・実地指導結果	1月4日	部門報告・行政等通知・理事会議案
7月13日	部門報告・行政等通知・物価高騰補助	1月10日	部門報告・行政等通知・入札基準
7月20日	部門報告・行政等通知・響会YouTube	1月18日	部門報告・行政等通知・義援金対応
7月27日	部門報告・行政等通知・宿舍借り上げ	1月25日	部門報告・行政等通知・介報酬改定
8月4日	部門報告・行政等通知・換気設備工事	2月1日	部門報告・行政等通知・改善補助金
8月10日	部門報告・行政等通知・送迎バス安全	2月8日	部門報告・行政等通知・介護ワ-ト移行
8月17日	部門報告・行政等通知・上睦会神輿	2月15日	部門報告・行政等通知・高齢協報告
8月24日	部門報告・行政等通知・宿舍アンケート	2月22日	部門報告・行政等通知・R5補正予算
8月31日	部門報告・行政等通知・来客用スリッパ	2月29日	部門報告・行政等通知・PC入れ替え
9月6日	部門報告・行政等通知・厨房床工事	3月6日	部門報告・行政等通知・R6当初予算
9月14日	部門報告・行政等通知・IT補助金結果	3月14日	部門報告・行政等通知・応援協定
9月21日	部門報告・行政等通知・車イスレンタルパック	3月22日	部門報告・行政等通知・Instagram
9月28日	部門報告・行政等通知・無期転換特例	3月29日	部門報告・行政等通知・人財確保
全52回開催			

(2) 経営会議

開催日	経営会議議題
4月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和4年度第4回理事会決議報告 令和4年度事業報告（案）について 処遇改善関係計画書について 新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応 響会資格取得支援制度規程 一部改正 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
5月10日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和5年度第1回理事会開催案内 防災訓練【職員安否確認報告】事前告知 「令和5年度前期」特養申込2次評価者数 第19回ひびきほっとサロン開催について 家族会（新館）開催について 新館居室電気温水器更新工事（57台） 類型変更後の新型コロナウイルス感染症対応について 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
6月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 理事会決議報告及び評議員会等予定 令和5年度夏期賞与等支給 防災訓練【職員安否確認報告】結果報告 粗大ごみ回収及び書類廃棄について 申請書類の押印（本人印）について 入職時の職員【誓約書】更新及び再提出について 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
7月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 理事会・評議員会決議報告 大田区【特養】実地指導結果 個人情報の取り扱い確認・同意書兼委任状更新 ハイポイントの希釈について 第26回好日苑まつりSD 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
8月8日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和5年度合同慰霊祭開催 和4年度 介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算 介護職員等ベースアップ等支援加算実績報告書 厨房床夜間工事 換気設備更新工事 防災訓練（自然災害BCP）実施について 第20回『ひびきほっとサロン』実施報告 令和5年度【馬込地区】大田区地域包括支援センター及びシニアステーション中間評価の結果について（通知） 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
9月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 介護職員等ベースアップ等支援加算【9月処遇改善手当】の増額について 令和5年10月1日 響会最低賃金改定 第26回好日苑まつり実施報告 ストレスチェック実施（10月実施） 第6次中期経営計画中間評価 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」

開催日	経営会議議題
10月6日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和5年度第3回理事会開催案内 地域包括支援センター嶺町及びシニアステーション東嶺町中間評価結果 職員親睦会から職員懇親会中止に伴う対応について 防災訓練（自然災害BCP）実施報告 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
11月8日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和5年度第3回理事会決議報告 令和5年度冬期賞与等支給 サイボウズ クラウド化 ストレスチェック実施（10月実施）結果 特養優先入所申込状況 非常灯更新工事 職員親睦会より 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
12月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和6年1月人事 令和6年度基本方針と事業計画作成 東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金内示 令和5年度物価高騰等支援金（東京都・大田区） 次世代介護機器導入促進支援事業補助金決定 正月（2024/1/1～2024/1/3）の勤務職員の年始手当の増額について 響会地域包括支援センターPR動画完成 第21回ひびきほっとサロン in シニアステーション東嶺町開催報告 粗大ごみの回収 講評：「施設長」「理事長」
1月11日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和5年度第4回理事会開催報告 社会福祉法人 響会『借り上げ職員宿舍管理規程』（案） 特定技能外国人の受入れについて 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
2月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和5年度第4回理事会決議報告 特養車椅子レンタルパックの導入 介護職員処遇改善支援補助金について① PC入替スケジュール 第22回ひびきほっとサロン開催報告 調布地区法人協の活動につて 令和5年度物価高騰等に対する補助金予定額 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」
3月7日	前月の実績報告（部門報告含む） 令和6年4月人事 令和5年度第4回理事会開催案内 令和6年度 永年勤続表彰者 調布地区法人協の活動につて 感染症対策に活用したパーティション撤去 パソコン入替について 介護職員等ベースアップ等支援加算の調整額（R5.10～R6.3）支給 介護職員処遇改善支援補助金（R6.2～R6.5）について② 好日苑本館内装仕上げ大規模改修工事入札について 令和5年度ボランティア表彰について 心の小箱（苦情・意見等）について 講評：「施設長」「理事長」

事務部門

経営及び介護現場に関するサポートを迅速かつ正確に行い、最新の情報を継続して維持・保管ができるように努め、老朽化した建物・設備整備・修繕を行い、法人事務分野を含め、適切な事務処理を行いました。

経理・労務担当を2名として、適正な処理及びチェック体制を強化、また、業務の効率化・適正化を図るため、IT導入補助金を活用して、経理・給与会計のクラウドシステムを導入しました。

また、老朽化したサーバー2台、パソコン85台を入替、同時に介護現場における作業負担軽減及び多機能連携のできる介護支援ソフトに変更を行いました。

1. 主な規程改正

	規 程	備 考
1	契約職員就業規則	定年・更新上限年齢を規定
2	借り上げ宿舎管理規程	新規設置

2. 職員数

令和6年3月31日現在（在籍者）

法人合計			正 規			非正規		
計	女性	男性	計	女性	男性	計	女性	男性
211	144	67	148	95	53	63	49	14

3. 育児休業取得者数／出産者数

法人合計			女 性			男 性		
取得者	対象者	取得率	取得者	対象者	取得率	取得者	対象者	取得率
5	5	100%	5	5	100%	0	0	0.0%

4. 役員及び管理的地位にある者に占める女性の割合

令和6年3月31日現在

役員	管理監督職（係長以上）
25.0%	55.0%

5. 年次有給休暇消化率

法人全体
73.5%

※ 年度内消化日数 ÷ 4/1現在の有給日数

6. IT化によるシステム導入

(1) 課題

- ① 経理・労務が担当者1名のため、緊急時には担当業務内容が分からず業務が停止する恐れがあり、2名体制とした。
- ② システム化・一元化されていないため、重複作業が多く、我流になりやすい状況から、クラウドシステムを導入した。
- ③ 業務ソフトインストールPCのみで作業が可能（PC故障＝業務停止）の環境からクラウドシステムに変更したことにより、課題解決となった。

(2) システム構築

- ① 一元化・クラウド化することで円滑・効率的に業務を行い、事務処理の軽減化。
- ② データベースの共有化することで、情報活用を円滑にする。

【構築案】

	現状	新規
財務会計	PCA 社会福祉法人会計	PCA 社会福祉法人会計クラウド
給与会計	弥生給与	PCA 給与クラウド
固定資産管理	PCA 固定資産	PCA 固定資産クラウド
勤務システム	ADBANCE 勤怠	ADBANCE 勤怠

※ 株式会社古田土経営の協力で、クラウドシステムを導入

7. 建物・設備整備（老朽化対応）

【主な修繕等】

	名称	金額	完了日
1	ブレンダー(調理ミキサー)	131,780	5/9
2	電気温水器(新館57室)	9,900,000	5/24
3	馬込LAN工事	129,800	6/27
4	厨房床修繕	9,801,000	9/1
5	室外機防雪フード設置	176,000	9/5
6	厨房食洗器ポンプ故障	219,340	9/8
7	本館機械室貯湯槽ポンプ	242,000	9/26
8	ブレンダー(調理ミキサー)	111,650	10/5
9	換気設備更新工事 9・10月工事	26,290,000	11/1
10	8月消防点検是正改修	550,000	11/14
11	新館ボイラー配管破損修理	999,614	11/15
12	移乗ロボットSarFlex 2台	2,019,600	11/27
13	非常灯LED化機器更新(177台)	2,640,000	11/30
14	スリッパ滅菌庫(2台)	733,700	12/19
15	移乗ロボットSASUKE 2台	1,960,000	12/22
16	新館食堂ドライエリアの雨水槽ポンプ2台	858,000	12/27
17	厨房冷蔵庫	673,200	1/17
18	新館汚物処理機 3台	3,140,500	1/19
19	介護ベッド 17台	5,080,416	1/31
20	サーバー 2台・パソコン入替 85台	33,465,916	3/12
21	新館ボイラー配管修繕	968,000	3/27
		100,090,516	

8. 実習受入

学校等	実習区分	実習先	人数
東京都	TOKYO かいごチャレンジ	特養・デイ	5
城南職業能力開発センター	介護実務者実習	特養	6
昭和大学歯学部	歯科実習	特養	52
東京都立荏原看護専門学校	看護実習	各包括	8
東京工科大学	看護実習	各包括	15
東邦大学看護学部	公衆衛生実習	各包括	9
東京都福祉保健財団	介護支援専門員実務研修	ケアプラン	1
大田区社会福祉協議会	夏体験ボランティア	特養・デイ	2
大田桜台高校	体験学習	特養	67(延べ)
貝塚中学校	職場体験学習	デイ	3
雪谷中学校	職場体験学習	デイ	3
石川台中学校	職場体験学習	デイ	3
大森第七中学校	職場体験学習	シニア東嶺町	2

特養部門（特別養護老人ホーム 好日苑）

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、社会的に通常の生活に戻る流れとなってきた中で、高齢者施設として、どのようにコロナ以前の日常を取り戻せるか検討し、予約制面会の制限を感染状況に合わせてながら緩めていきました。その結果、予約を受けた面会者の件数としては延べ1,834件、月平均153件の面会者を受け入れることができました。しかしながら、感染症が収束した訳ではなく、当苑でも1月上旬から2月にかけて両館にて新型コロナウイルス、インフルエンザとノロウイルス感染症が発症し、一時的に面会中止とする結果となりました。

そのような状況下ではありましたが、次世代介護機器導入促進支援事業を活用し、見守りセンサー付ベッド（エスパシア）17台及び移乗アシストロボット（SASUKE）2台、立位補助・移乗支援機器（サラ・フレックス）2台を導入し、入居者様が安心して快適に過ごす事が出来るよう設備投資を行う事で、次世代介護の実践に大きく貢献致しました。

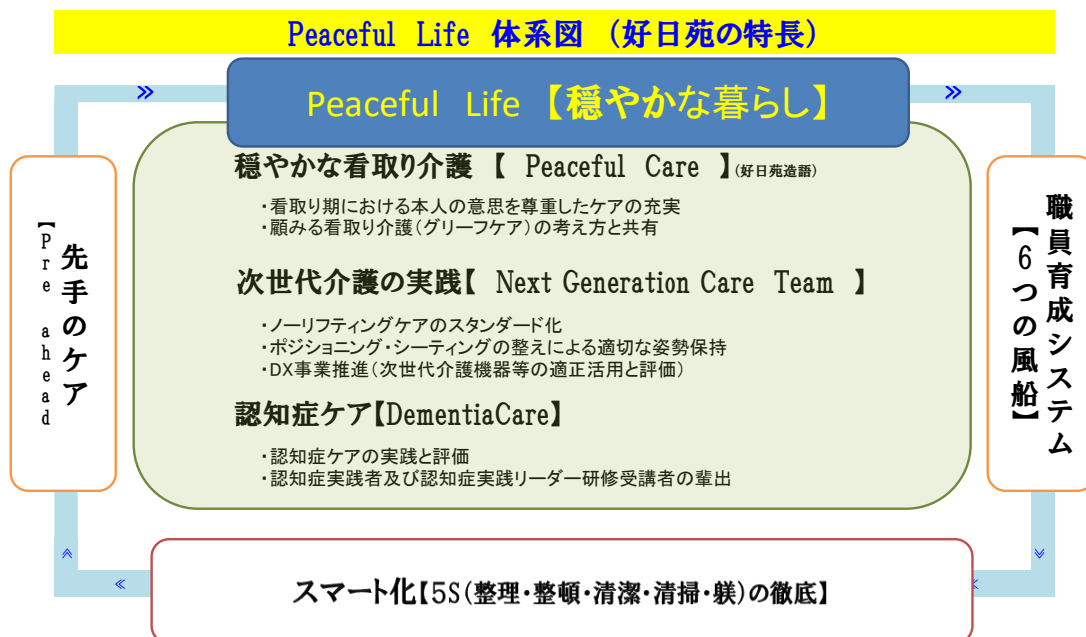
職員の資格取得に関しては、外部研修がオンライン化した事で、以前より受講しやすい環境が整い、東京都認知症介護実践者研修を4名の職員が受講、ユニットリーダー研修も実地研修を含めて4名の職員が受講する事が出来、専門性を高めた職員を各フロアに配置する事が出来ました。

【 重点目標 】 の評価

(9) 好日苑（特養・ショート） ≧ 第6次中期経営計画を踏まえた令和5年度事業計画の重点施策	
利用者	① Peaceful Care（看取り介護）の実践 ② ノーリフティングケアの標準化及び個別機能訓練加算の適正な算定 ③ 認知症実践者及び認知症実践リーダー研修受講者の輩出
職員	④ 職員育成システム構築 ⑤ 先手のケアの「可視化」と「浸透」 ⑥ スマート化（業務マニュアルの公式選定と更新） ⑦ 介護ロボットのプラットフォームの構築
経営	⑧ 響会 大規模防災訓練の実施 ⑨ 地域との現状の関りの継続 ⑩ 入院日数 1,200 日／年 ≧ 施設稼働 97.5% （ 特養 96%、 SS108% ）

I 本館・新館 目標 「Peaceful Lifeの実現」

～Peaceful Lifeの実現に向けて～



「職員育成システム」

【6つの風船】

「洞察力」「コミュニケーション」「知識」「技術力」「専門的意識」「好日苑の特長」この6つの風船をバランスよく膨らませる事が出来る人財を育てていきます。

「職員育成システム」をPDCAサイクルに沿って適切な実施と評価を行い無資格・未経験の新入職員育成を順調に育成する事が出来ました。次年度は特定技能外国人材の入職も決まっておりますので、今まで実施してきた「職員育成システム」を適切に活用し、好日苑の求める人財となるよう指導、育成に努めて参ります。

「スマート化」

【スマート化】

好日苑でいう「スマート化」とは、余計な肉を取り必要な部分は残すために、筋トレとしての研修や、共通書式等による事務作業の簡素化、職員協働による業務の効率化を図ることを目的としています。

本館では入浴体制の見直しを行い業務の効率化を図る事が出来ました。新館ではユニットケアリーダー研修受講者を各ユニットに排出できた事で、長年実施してきた「ユニットケア」の見直しを行う事が出来ました。来年度も更なる業務のスマート化を図り、効率よく且つ丁寧な介護が行えるよう努めて参ります。

「先手のケア」

【Pre ahead care】

気付きの重要性を他職種で共有し先の生活を見越した支援（先手のケア）をする事で、入居者の安心した暮らしを支援していくと共に、介護サービスの質の向上を図る観点から、介護サービスの質の評価と科学的介護の取組を推進しケアプランを通してエビデンスの可視化に努めていきます。

入居者様の安心した暮らしの提供を目的に、提携病院の嘱託医の先生方のご協力の下、看護・介護・相談・栄養・理学療法士・ご家族様と密に連携を図る事で、入居者様の意向に沿った形で、早めの対応を心掛け、入院に至る重篤な症状を未然に防ぐ取り組みを実践し入院日数を年間1200日以内の目標に対し669日と目標を達成する事ができました。

「次世代介護実践チーム（NGCT）」

【Next Generation Care Team】

次世代介護の実践として、次世代介護機器やノーリフティングケアの浸透を図る事で、入居者様、職員双方に優しいケアを実現していきます。

「次世代介護ケアチーム」と名称を変え、ノーリフティングケアの考え方を基本として、委員会を中心に、次世代介護機器の浸透を目指しました。特に移乗用機器(Hug、SASUKE、サラフレックス)を各階で適切な方に使用し入居者様、職員双方に優しいケアの実現ができた事は大きな成果でした。また腰痛予防を目的として、職員の「就業前ラジオ体操」を開始しました。その結果は、「職員腰痛アンケート結果」からも一定の効果を得ることができました。また1月からは、「車椅子レンタルパック」を導入。入居者様に清潔で適正な車椅子を使用していただけようになりました。さらに、年間を通して介護機器だけでなく、基本の介護(ボディメカニクスやポジショニング等)を学びました。そして次世代介護が浸透していく中で、浴室での介護方法が新たな課題として挙がってきました。次年度は、今年度学び得た知識と技術を更に発展、拡大し、日常業務の生産性の向上を目指していきます。

『 認知症ケア委員会 』

【Dementia Care】認知症ケア検討会

認知症介護実践者研修及び認知症介護実践リーダー研修を受講し、パーソンセンタードケアの考え方を通して、認知症についての理解を深めていくと共に、「その人らしさ」を尊重した支援を施設全体で取り組む事を目的に、実践者が講師となり内部研修を開催していく事で、認知症についての基本的知識を有する職員を育成していきます。

東京都認知症介護実践者研修及びリーダー研修受講を終了した職員が先頭に立って研修で学んだ事を活かしながらフロア全体で認知症支援を実践してきました。専門性のある支援を行う事で根拠が理解できたり、データを取る事で結果が見えやすくなったりと支援の質を上げることができました。年度の最後には1年間取り組んできた事を「N1グランプリ」と称して発表し審査員による採点方式で優勝者を決定、アクティブ福祉IN 東京へチャレンジできる権利を頂きました。

各階での取り組みを発表する場を作る事や目標を持つことでやる気にも繋がり、好日苑全体でのチームワーク向上にも繋がりました。

【 係長会議(3C) 】

① 利用者：入院日数削減への提案・取組

1,200日/年の目標に対して、「先手のケア」の取り組みで早期発見・早期対応を心掛けていく事で、1月～2月にかけて感染症の発症がありましたが、669日と目標を達成する事が出来ました。

② 職員：人財確保対策

令和5年度は、新型コロナの5類への移行に伴い、対面での就職フェアが再開されました。オンラインと違い、求人者と直接顔を突き合わせながら対話を行う事で、3名の職員採用を行う事が出来ました。

採用活動の実績としては、東京都の介護職員就業促進事業にて1名の職員採用及びホームページや職員紹介による直接応募や、紹介会社を通じての採用面接も実施し、令和5年度は8名の正規職員採用に繋げる事が出来ました。

就職フェア	
令和5年7月12日	おおた介護のお仕事就職相談・面接会 1名 CW 採用
令和5年10月29日	大田区 ふくしのしごと市 2名採用
令和5年12月10日	おおた福祉フェス2023
令和6年2月16日	ふれあいナースバンク就職相談会
令和6年3月19日	第1回特別養護老人ホーム等就職相談会

採用状況	正規職員		非常勤職員		派遣職員	
	入職	退職	入職	退職	入職	退職
介護職員	4	10	0	0	2.8 (3)	0
看護職員 理学療法士	4	1	0.8 (1)	0.8 (1)	0.6 (1)	3.6 (4)

* ()内は実数

③ 経営：特養 138床 特養稼働目標 96.0%

ショートステイ 19床 ショート稼働目標 108%

施設稼働目標 97.5% 入院日数 1,200日/年

令和5年度稼働実績

特養 97.5% ショートステイ 114.4%

施設稼働 99.5%、入院日数 669日/年(前年度比較-835日)

【 看護師会議 】

- ① 先手のケア(Pre ahead care)
 - ・入院日数 1,200 日/年
 - ・他職種との連携強化(介護・看護・PT・栄養・相談)
 - ・医療との連携
- ② スマート化
 - ・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底
 - ・看護業務の効率化
 - ・業務マニュアルの更新
- ③ 穏やかな看取りケア【Peaceful Care】
 - ・看取り期における本人の意思を尊重したケアの充実
 - ・看取り前段階からの他職種とのケアの連携、医療との連携

【 本館会議 】

- 重点目標 1 : 「職員育成システム」
 - 重点目標 2 : 「スマート化」
 - 重点目標 3 : 「先手のケア」
 - 重点目標 4 : 「穏やかな看取り介護」
 - 重点目標 5 : 「次世代介護の実践」
 - 重点目標 6 : 「認知症ケア」
- 「好日苑における 6 つの取り組み×SDGs」

【 新館会議 】

- ① 利用者: ”専門性“と”思い“を汲んだケア(当たり前の生活)
 - ・新館全体でのカバー体制構築に向けて
 - ・「24時間の暮らしの継続」に向けて
 - ・スマート化から利用者視点への変化

II 生活支援

1. 情報の共有化を図り、多職種協働のケアを提供します。

(1) ケアプランの質の向上について

令和 5 年度は退居者 41 名、入居者 38 名と入退居が過去最高に多い年となりました。

昨年と比べると看取り介護で旅立たれた方の割合が増えており、好日苑で最期まで支援させていただいた方が増えております。

ご入居者様の QOL の維持・向上させる事が出来るのかを考える中で、理学療法士が加わり次世代介護機器の導入が順調に進むことで、入居者様、職員ともに負担の少ないケアが行えるようになり、従来の枠にとらわれないサービスの提供に繋がっております。介護業界も ICT 化が進んでいる中で、好日苑が培ってきた良い面は継続しながら、時代に順応した広い視点を持ちケアの質の向上に向けて、取り組んで行きたいと思っております。

(2) 本館業務改善と職員育成

R5 年度は、本館従来型の特徴を理解した上で、よりシンプルにするようスマート化を目指しました。上半期は 4 年度から検討していた入浴体制を「安心入浴」と称し 5 月から変更しました。今までの経験を活かし「個別ケアを知ってるからこそできる集団入浴＝安心入浴」を目指しました。安心入浴を開始して、欠勤等発生しても、入浴業務に滞りがなくなり、利用者還元できるようになりました。また不随して各階での協力体制が生まれるようになりました。下半期にかけては、形骸化していたチューターユニット制度の再構築に取り組みました。職員チームを小単位化することで、職員育成、チームワークの強化、それをするための役職者の管理機能の強化を目指しました。まだ機能はしていませんが、次年度も好日苑従来型の特徴を活かして、生産性の向上に努めてまいります。

(3) 新館業務改善と職員育成

令和5年度は、「好日苑ユニットケアの実践」を目標に掲げました。令和4年度はユニットケアを知ることから学びに時間をかけました。令和5年度も引き続き学びの場を作りながら、実践を意識しました。各階の特性を考慮しながら、目標を立て、ゆっくりではありましたが、前進したと感じています。利用者様の「望む暮らし」になるため、目の前で「ご飯をよそう」ことから始めました。24時間シフトの一覧化から職員が急ぎ足になっているところはないか点検を行いました。些細なことの積み重ねながら、「暮らしの継続」ができるようにこれからも取り組んでいきます。

ユニットリーダー研修受講者も新館会議メンバー7名中、6名と増え、職員にユニットケアの目的を広めていきます。

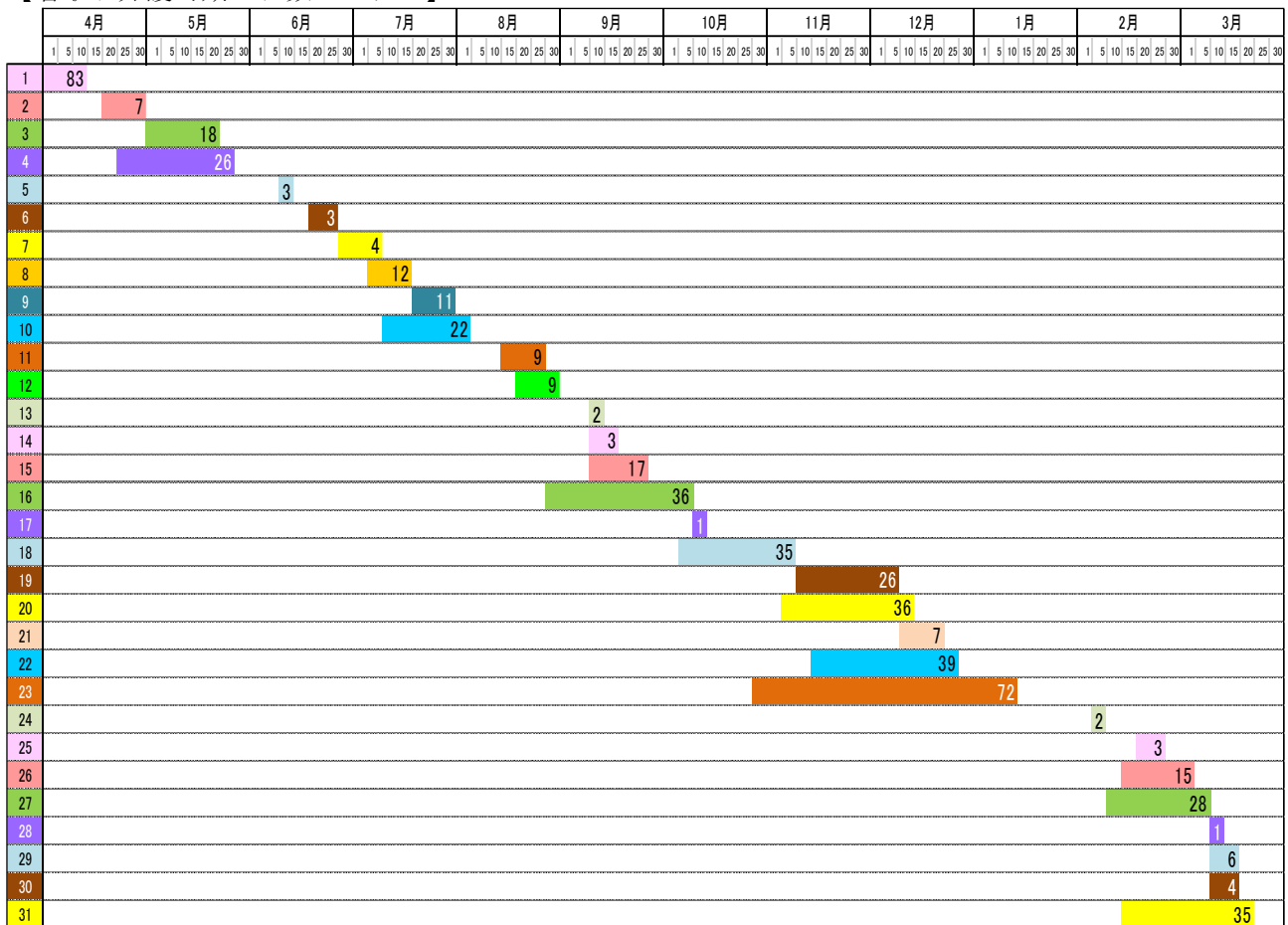
2. 「安心と暖かさ」を感じられる看取り介護を目指します。

嘱託医によるご家族への病状の説明を行い、苑での看取り介護についての説明と同意を経て実施いたしました。令和5年度は退居者41名のうち31名の方(76%)を苑にて看取ることができました。

令和4年度の61%に比べ大幅に看取り介護を実施した方が増えました。好日苑での看取り介護の取り組みが定着してきた結果と考えております。尚、令和5年度の看取り介護実施期間の合計は575日間で、看取り介護期間の平均は18.5日間でした。平成18年度から令和5年度までの18年間で、看取り介護を実施した方の総数は310名となりました。

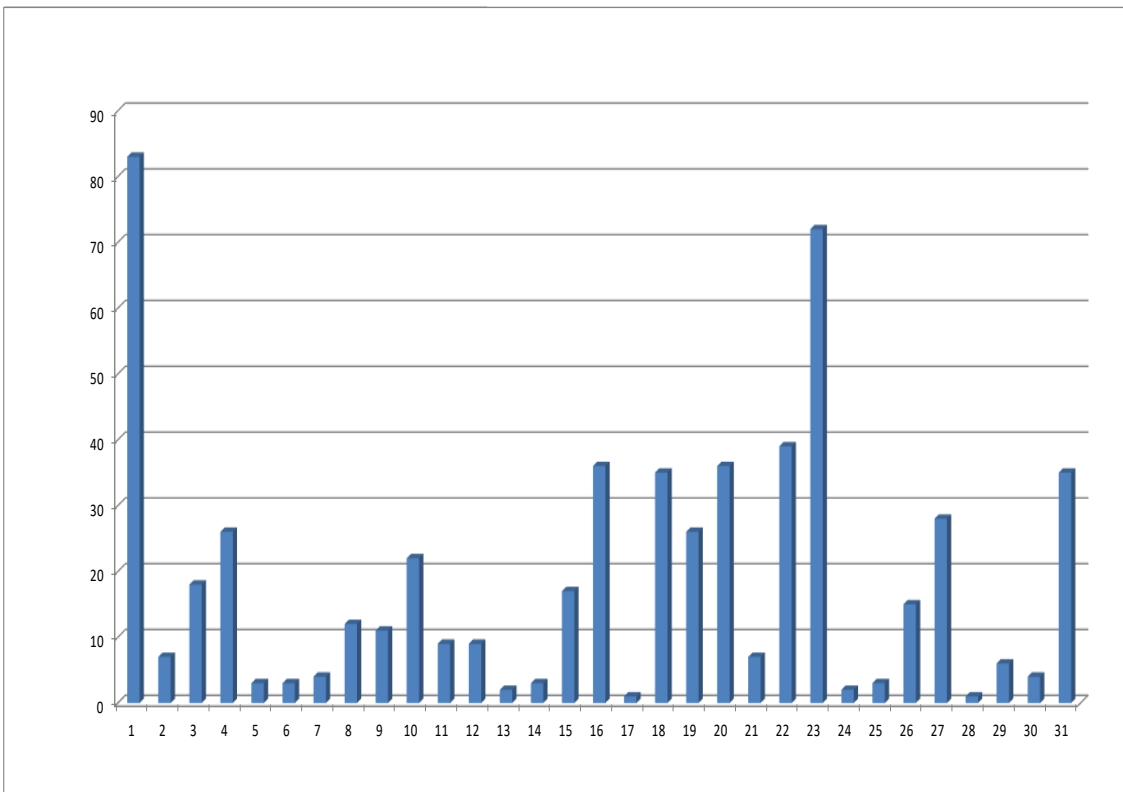
今後も、Peaceful Careの体系図『図1』に基づいて、出来る限り長く経口摂取が出来る支援、看取る側、看取られる側の立場に立った支援を心がけていきたいと思っております。

【看取り介護時期と日数のグラフ】



【看取り介護期間】

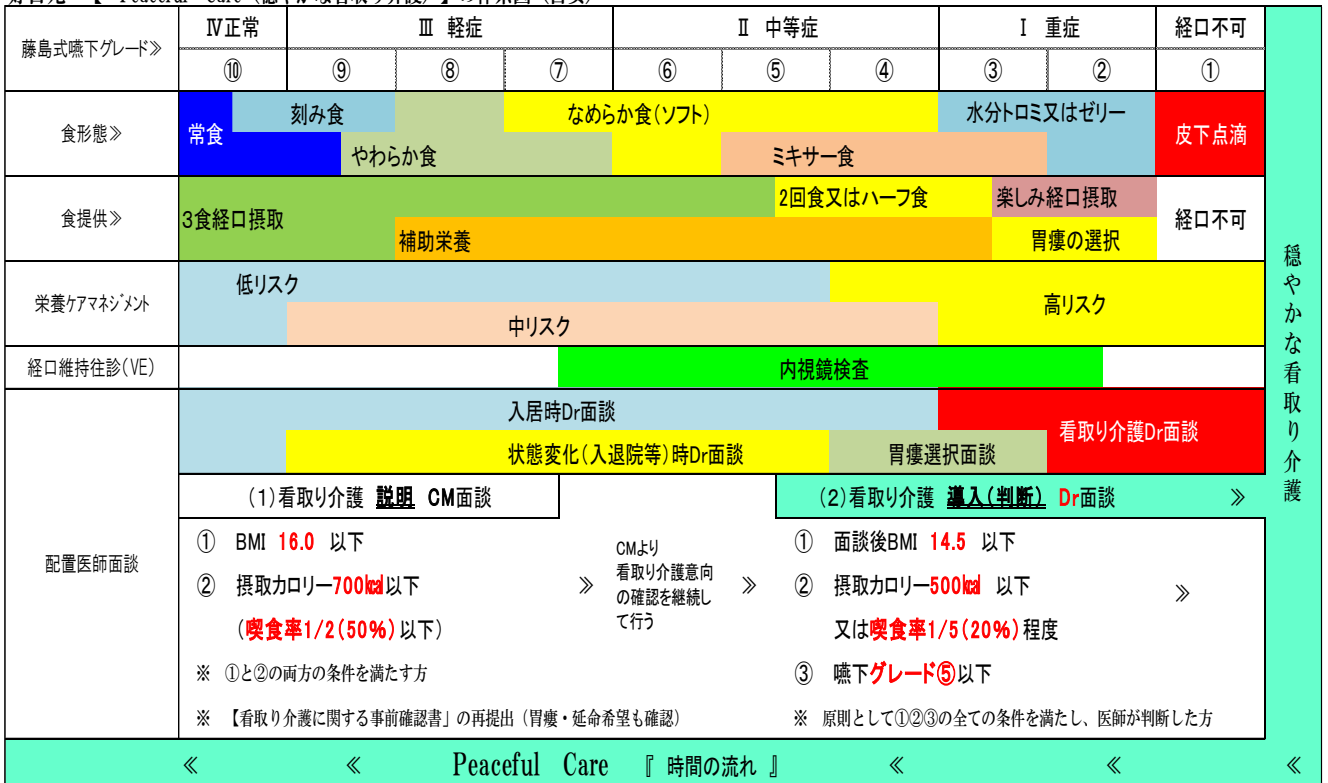
対象者	看取り介護期間
1	83
2	7
3	18
4	26
5	3
6	3
7	4
8	12
9	11
10	22
11	9
12	9
13	2
14	3
15	17
16	36
17	1
18	35
19	26
20	36
21	7
22	39
23	72
24	2
25	3
26	15
27	28
28	1
29	6
30	4
31	35
合計日数	575
平均	19



※ 令和5年度に看取り介護で退居された方は31名となり、平均看取り介護期間は18.5日間でした。

『図1』

好日苑【Peaceful Care (穏やかな看取り介護)】の体系図(目安)



(1) 顧みる看取り介護

令和5年度は、Peaceful Careの考え方を基に本館で19名の方、新館で12名の方の看取り介護を実施しました。また、看取り介護にはならなくてもご家族と状況の共有を行いながら、看取り介護に準じた対応を行い好日苑でお見送りさせて頂いた方も3名とご家族の意向に寄り添った対応が行えたかと思えます。34名（準看取り介護3名含む）の方を看取らせて頂いた背景には好日苑での看取り介護が定着している事他に、ご入居時や状態の変化時に主治医と面談を行い、最期をどこで迎えたいか、ご本人やご家族のご意向を確認させていただくことで、職員がご本人やご家族と同じ方向を見て支援を行っていることも要因と考えられます。

看取り介護に限らず、入居者様のお見送りの経験の少ない職員も増えている中で、入居者様やご家族様が最期まで安心して過ごしていただける施設となるよう、専門職としての姿勢はもちろんのこと、人として温もりのある関わりとご本人を中心にした自然な支援が行えるようにPeaceful Careの実践に取り組んでいきたいと思えます。

3. 安全なサービス提供をします。

令和5年度は事故報告書提出が301件（特養235件78%、ショートステイ66件22%）でした。令和4年度295と比較すると6件増で横ばいの状態でした。（①表） 要介護度の内訳では、要介護4と要介護5の方が51%を占め、要介護3を加えると85%となっており、令和4年度と同様に8割以上を占めています。（②表）

事故内容では「転倒滑落」67%、「投薬過誤」が22%で全体の89%となっており、転倒滑落の事故及び投薬過誤の事故を減らす事が毎年の課題となっております。（③表）

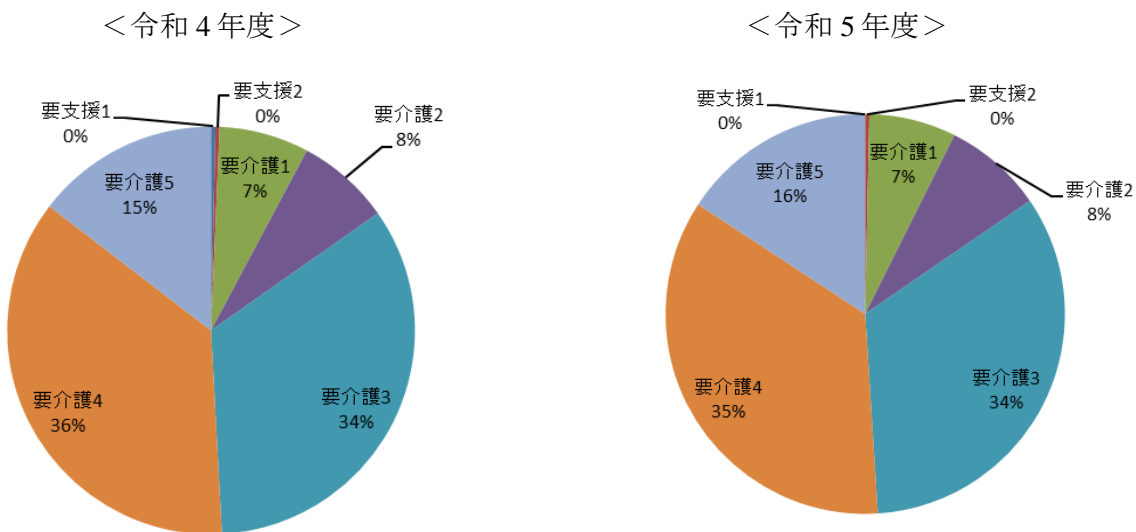
① <令和4年度>

合計	特養	ショート	明け方	早朝	日中	夜間	深夜	本館	169	57%
295	229	66	18	46	123	49	59	新館	126	43%
割合	78%	22%	6%	16%	42%	17%	20%			

<令和5年度>

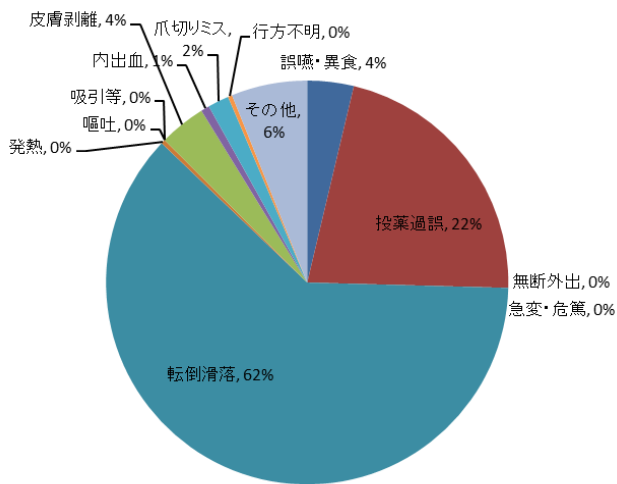
合計	特養	ショート	明け方	早朝	日中	夜間	深夜	本館	174	58%
301	235	66	20	43	137	45	56	新館	127	42%
割合	78%	22%	7%	14%	46%	15%	19%			

○ 事故報告書【要介護度別】 ②



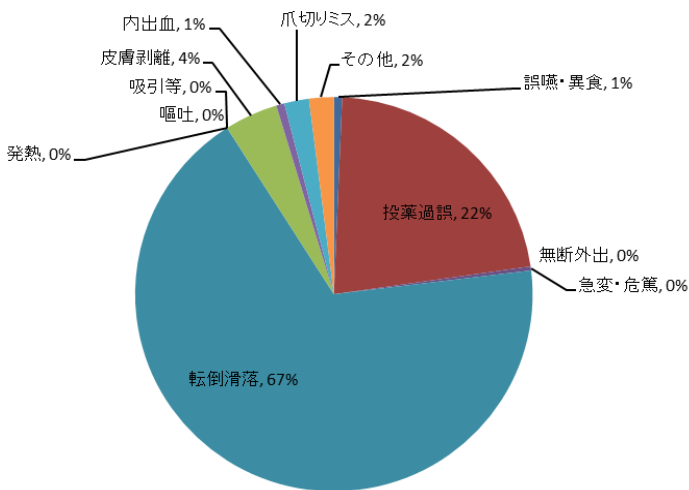
● 事故報告書【事故内容内訳】③

<令和4年度>



発生事項		
誤嚥・異食	4%	11
投薬過誤	22%	64
無断外出	0%	0
急変・危篤	0%	0
転倒滑落	62%	182
発熱	0%	1
嘔吐	0%	0
吸引等	0%	0
皮膚剥離	4%	11
内出血	1%	2
爪切りミス	2%	5
行方不明	0%	1
その他	6%	18
合計		295

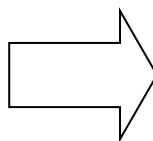
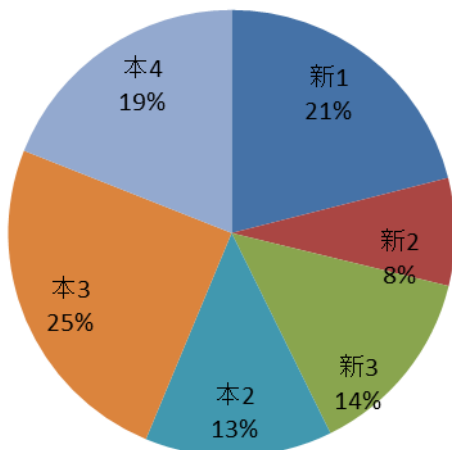
<令和5年度>



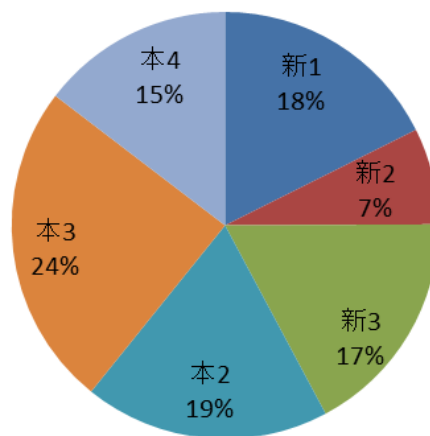
発生事項		
誤嚥・異食	1%	2
投薬過誤	22%	66
無断外出	0%	0
急変・危篤	0%	1
転倒滑落	67%	203
発熱	0%	0
嘔吐	0%	0
吸引等	0%	0
皮膚剥離	4%	13
内出血	1%	2
爪切りミス	2%	6
その他	2%	6
合計		299

事故報告書【事故報告書のフロア別割合】④

<令和4年度>



<令和5年度>



● 事故報告書【フロア別割合の前年度比較】⑤

令和3年度		令和4年度		増減	
新1	53	新1	62	17%	6%
新2	12	新2	23	92%	
新3	54	新3	41	-24%	
本2	48	本2	40	-17%	-22%
本3	95	本3	73	-23%	
本4	64	本4	56	-13%	

令和4年度		令和5年度		増減	
新1	62	新1	53	-15%	1%
新2	23	新2	22	-4%	
新3	41	新3	52	27%	
本2	40	本2	56	40%	3%
本3	73	本3	74	1%	
本4	56	本4	44	-21%	

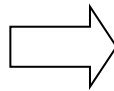
【転倒滑落事故について】

転倒事故報告件数は203件と、令和4年度と比較して21件増加し、変わらず件数が多い結果となりました。(⑥表) 事故報告301件の中で最も多かった転倒事故(全体の67%)の傾向をみると、昨年度と同様に、特定の入居者様の繰り返しでの転倒事故が多く、その方々の転倒事故発生リスクをリスク管理委員会等において分析し、個別に対策を立てていますが、事故を減らすには至りませんでした。また限られた職員の中で転倒を防ぐには、職員の気付き(配慮)が必要であると考えています。

令和6年度も転倒へのリスクに対し、個別ケア視点でのリスクマネジメントおよび出来る限りの余暇活動(レクリエーション等)や個別機能訓練を実施し身体を動かす機会を支援する事で、少しでも生活のリズムを整えていく事で、事故再発防止に努めていきます。

⑥ <令和4年度転倒滑落件数>

本館2階	特養	12	21	94	52%		
	SS	9					
本館3階	特養	37	37				
	SS	0					
本館4階	特養	36	36				
	SS	0					
新館1階	特養	13	44			88	48%
	SS	31					
新館2階	特養	13	13				
	SS	0					
新館3階	特養	27	31				
	SS	4					
合計(転倒滑落)			182				



<令和5年度転倒滑落件数>

本館2階	特養	21	37	107	53%		
	SS	16					
本館3階	特養	47	48				
	SS	1					
本館4階	特養	22	22				
	SS	0					
新館1階	特養	12	40			96	47%
	SS	28					
新館2階	特養	18	18				
	SS	0					
新館3階	特養	38	38				
	SS	0					
合計(転倒滑落)			203				

4. 生活の場としての空間を提供します。

(1) 本館

令和5年度は、4年度からの継続で、自動変換機能付き超低床ベッドの入れ替えを行いました。一入居者様がより快適に過ごしていただくとともに、皮膚トラブルの軽減にも繋がっていくと考えています。また移乗介助ロボットを各階に設置することができ、日常の風景の中に介護機器が存在するようになりました。入居者様の自立支援を促すとともに、職員腰痛予防にも繋がっています。様々なところで、老朽化が進んでおりますが、本館ならではの「古くても落ち着いて過ごしやすい」空間づくりを目指していきたくと考えております。

(2) 新館

令和5年度ベッドが一新されました。より安全な移乗介助ができるように、次世代介護機器の移乗介助ロボットも活用しております。移乗介助ロボットにより利用者様の負担軽減やいつまでもトイレに行ける環境が作れるようになりました。また、職員の腰痛予防にも繋がっております。

5. 生活に変化を創り、健康増進を図ります。

(1) 本館

令和5年度も、日常生活に彩を与えられることを目的として、「彩活動クラブ」を継続して本館全体で協力しながら余暇活動の充実を図ってまいりました。イベントを企画したり、入居者様に季節や

花の匂い、風を感じて頂き、QOLの向上、自立支援への意欲向上に繋がりました。6年度も、季節に合わせたイベント、また日常の中の隙間を見つけて余暇の提供に努めさせていただきます。

(2) 新館

職員の腰痛予防の一環で行い始めた「ラジオ体操」が入居者様も一緒に行う、「朝の体操」になりました。また、毎月「イベント湯」の開催も始め、月ごとに香りを楽しみながら、リラックスした気持ちで入浴時間を過ごしていただき、入浴後の一杯(乳酸飲料)も楽しんでいただきました。日常に彩れるよう、これからも工夫していきます。

6. 生活リハビリ (ALCT)

令和5年度は、「次世代介護支援チーム(NGCT)」の委員会を中心に、ボディメカニズムを生かした介護や介護機器、次世代介護機器の普及と効果判定を実施。入居者様の機能維持や日常生活動作の維持・改善、職員の負担軽減に繋がっています。

また、入居者様が快適に過ごせることを目的に、レンタル車椅子を45台(モジュラー式車椅子20台、チルト・リクライニング式車椅子25台)導入。理学療法士を中心に、入居者様それぞれの体型に合うように調整。車椅子座位姿勢の崩れや誤嚥性肺炎の軽減につながっています。

今後も介護機器や次世代介護機器の普及と効果判定を継続し、レンタル車椅子の課題抽出と改善を図っていきます。また、個別機能訓練を介護士と連携し日常生活の中で実施し入居者様の自立支援を図っていきます。

Ⅲ 相談支援

1. 入居希望者の情報を把握し、迅速な入居手続きを行います

令和5年度は①表のとおり、退居者数は44名となり、退居率は32%で前年度の退居率45%と比較して13%退居率が下降しました。この内2名が本館から新館へ、1名が新館から本館へ居室移動をされた方となりますので、実際は41名の退居となります。本館では28名の方が退居され退居率32%、新館では13名の方が退居され退居率26%で、本館では3人に1人、新館では4人に1人の入居者様が入れ替わったこととなります。

令和6年度は134名の在籍者でスタートとなりました。大田区から受理した待機者リストは③表のとおり92件で、そのうち54件(59%)は入居に結びつけることは出来ませんでした。その理由は④表のとおりとなっており、殆どが家族都合で在宅介護を継続したいという理由が一番多く、次いで老健・療養型の入所継続の理由で全体の44%となっています。尚、待機中にご逝去された方が3名おりました。また施設都合での入居できなかった方も13名おりました。主な理由としては医療行為の対応が困難な方でした。

<令和5年度 入退居実績> ①

年度当初	本館			新館			合計			入居前					退居後			
	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	自宅	老健	病院療養	有料H 宿泊費	GH 経費 小多機	病院 逝去	苑内 逝去	看取 介護	病院 療養
—	—	88	—	—	49	—	—	137										
4月	4	4	88	1	1	49	5	5	137	1	1		2			2	2	
5月	0	1	87	1	1	49	1	2	136		1						2	
6月	1	0	88	1	2	48	2	2	136	1		1					2	
7月	2	2	88	1	1	48	3	3	136	2	1							3
8月	2	4	86	2	1	49	4	5	135	2	2					2	3	
9月	4	3	87	1	0	50	5	3	137	4	1						3	
10月	3	3	87	1	1	50	4	4	137	1	1	1	1		1	1	2	
11月	3	2	88	0	0	50	3	2	138			1		2	1		1	
12月	2	4	86	3	3	50	5	7	136	1			2		1		4	
1月	2	1	87	0	0	50	2	1	137	1	1						1	
2月	2	2	87	0	1	49	2	3	136		1			1		1	2	
3月	2	4	85	3	3	49	5	7	134			2	2	1	1		6	
合計	27	30		14	14		41	44		13	9	5	7	4	4	6	31	0

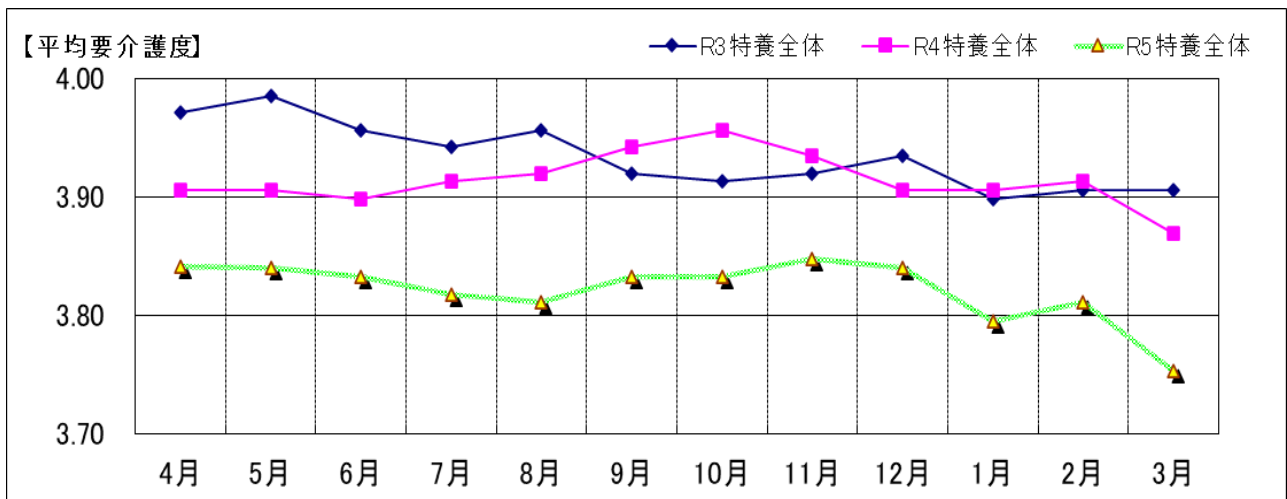
令和5年度《特養入居リスト受理実績》

③		
本館	受理	56
	入居可	26
	不可	30
① リスト受理から入居可までの割合		46%
② 不可になったケースの割合		54%
新館	受理	36
	入居可	12
	不可	24
① リスト受理から入居可までの割合		33%
② 不可になったケースの割合		67%
全館受理リスト数		92
全館入居受入可数		38
全館調査段階終了数		54
① 全館リスト受理から入居可までの割合		41%
② 全館不可になったケースの割合		59%

令和5年度《特養入居不可の理由》

④		理由	件数
家族都合		有料ホームに入所継続	4
		個室希望	2
		老健・療養型入所継続	10
		他特養への入居	1
		在宅生活を継続	14
		経済的に困難	0
		その他	7
施設都合		経済的に困難	0
		契約者が居ない	0
		医行為対応不可(鼻腔・吸引回数・IVH)	6
		入院中	4
		その他	3
	待機中に逝去	3	
合 計			54

【特養全体】 令和5年度平均要介護度の推移 ⑤



⑥	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
R3特養全体	3.97	3.99	3.96	3.94	3.96	3.92	3.91	3.92	3.93	3.90	3.91	3.91	3.93
R4特養全体	3.91	3.91	3.90	3.91	3.92	3.94	3.96	3.93	3.91	3.91	3.91	3.87	3.91
R5特養全体	3.84	3.84	3.83	3.82	3.81	3.83	3.83	3.85	3.84	3.80	3.81	3.75	3.82
本館	3.89	3.85	3.85	3.81	3.83	3.85	3.86	3.88	3.86	3.80	3.82	3.74	3.84
新館	3.76	3.82	3.80	3.84	3.78	3.80	3.78	3.80	3.80	3.78	3.80	3.78	3.79

【本館・新館】 令和5年度新規入居者の要介護度 4.5 割合

本館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/月平均
要介護1～3	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	4
①要介護4～5	3	0	1	2	2	4	3	2	0	2	2	1	22
②新規入居者計	4	0	1	2	2	4	3	3	1	2	2	2	2
①÷②新規入居者70%	75%		100%	100%	100%	100%	100%	67%	0%	100%	100%	50%	81%
6ヶ月平均70%	70%	65%	67%	67%	75%	90%	92%	100%	93%	87%	87%	87%	
1年平均70%	74%	73%	74%	76%	75%	79%	79%	79%	80%	78%	81%	88%	

新館	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/月平均
要介護1～3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
①要介護4～5	0	1	1	1	2	1	1	0	1	0	0	3	11
②新規入居者計	0	1	1	1	2	1	1	0	2	0	0	3	2
①÷②新規入居者70%		100%	100%	100%	100%	100%	100%		50%			100%	94%
6ヶ月平均70%	58%	50%	60%	63%	63%	100%	100%	100%	100%	86%	83%	75%	
1年平均70%	75%	75%	76%	75%	74%	74%	72%	71%	75%	73%	71%	90%	

令和5年度は平均要介護度 3.84 でスタートし令和5年度末には 3.75 と、▲0.09%介護度が軽減しました。また、令和5年度の要介護度4と5の新規入居者の方の割合の平均は、本館では81%、新館では94%で、日常生活継続支援加算の条件を満たす事が出来ております。(⑥表)

2. 利用者が安心して過ごせる相談援助をします。

令和5年度も、1日最低2回のラウンドを行い、入居者の声に耳を傾け、必要に応じて個別に話を聞き、入居者の悩みや相談に対する援助を行なってきました。また入居者の重度化に伴い、ご家族からの相談機会も増えてきました。お話を伺う時間を都度調整し、じっくり相談に耳を傾けることで、ご家族からの相談援助も行なえたと思えます。

ケアプラン作成の際には、各専門職種によるサービス担当者会議を開催し、ケアプランの説明には入居者本人がご理解を得られる状況の場合は、積極的にご家族と同伴で説明機会を造り、入居者本人が自身の支援について納得頂ける様努めました。

3. 家族との交流を促進します。

(1) 本館

令和5年度は、予約制での面会を行ってきました。来苑時に日々のご様子を都度お伝えしながら、ご家族様と交流を図ってきました。また本館では初めて合同家族会を開催して、好日苑での取り組みを共有させていただきました。今後も、ご家族様とともに、利用者様の生活の向上を構築していきます。

(2) 新館

数年ぶりに合同家族会を開催することができました。また、日々の面会も予約制ながら、多くのご家族が来苑していただき、日ごろのご様子やご相談を直接することができました。

利用者様に安心して暮らしていただくには、やはりご家族の力が必要不可欠であることを感じた1年でした。

4. 地域の交流を促進します。

(1) ボランティア受け入れ

令和5年度も4年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により積極的なボランティアの受け入れが出来ない一年でしたが、好日苑まつりの際に、子供たちによる太鼓の演奏やマジックショーなどを行っていただきました。次年度は、地域交流の一環としてボランティアの方の受け入れを積極的に行っていきたいと思えます。

(2) 実習生受け入れ

実習施設にとっては、様々な養成施設から実習生を受け入れ指導することで、職員自らの介護技術等の再認識の機会を得られ、サービスの質の向上にも繋がるというメリットがあります。

介護福祉士の倫理綱領に後継者の育成があげられているように、実習施設として、実習生が実習から様々な事を学べる環境を整備し、指導者側の意識を高めていくことが必要となります。

令和5年度は、感染症の影響で、受け入れをお断わりすることもありましたが、出来る範囲での受け入れを行いました。傾向としては、以前よりも、介護福祉士の実習が少なくなっており、大学生の教職課程、職業訓練校からの実習が多くなってきています。

働き手が多様化している中、実習生の受け入れも多様化してきており、指導する側の育成も課題となってきており、限られた時間の中で有意義な実習が行えるようにしていく工夫も必要に感じています。

す。実習をすることで、働くことのイメージを持ち「介護に更なる興味」と「好日苑で働いてみたい」と思えるような、魅力ある介護施設を目指していきたいと考えております。

5. オンブズパーソン相談日

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響により一度も開催する事ができませんでしたが、令和5年度は5月より再開することができました。毎月1回の相談日を儲け、本館・新館で延べ20名の方々の相談を受けて頂きました。法人に対する勧告はありませんでしたが、入居者様からの個別の相談については、事実確認・改善を行い、入居者様に安心して生活をして頂けるよう取り組みました。オンブズパーソン相談日があることを、ご存じない方も多くおりますので、いつでも相談できることを周知していきたいと思っております。

またオンブズパーソンは、法人の苦情に関する第三者委員も兼務して頂いておりますので、法人全体の投書箱（苦情や要望等の受付）である「こころの小箱」での受付内容もご報告させていただきます。

『 令和6年度 オンブズパーソン委員会 』

日時：令和6年5月18日

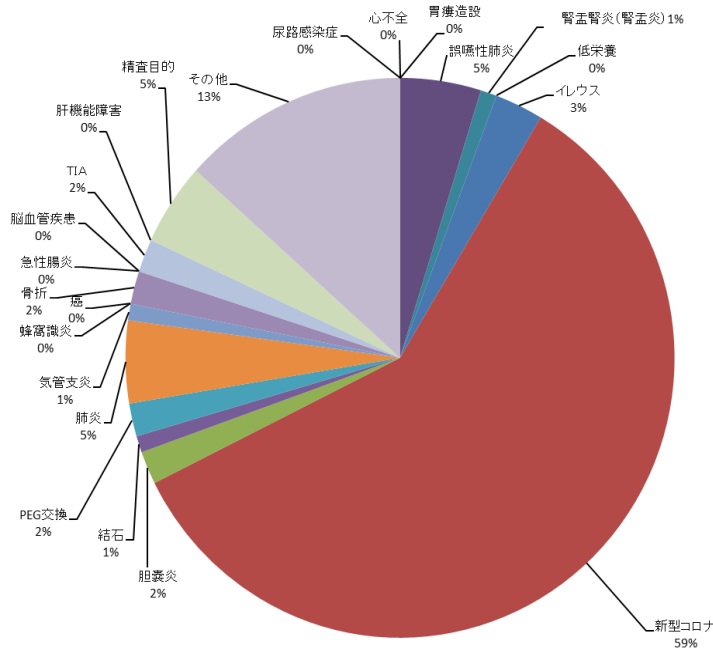
- 内容：① 施設長挨拶
② 職員紹介・委員紹介
③ オンブズパーソン相談報告
④ 虐待防止についての取り組み説明
⑤ 新型コロナウイルス対応状況報告
⑥ 令和6年度のオンブズパーソン相談日程について

IV 健康管理

1. 入院の必要のない生活をしていただく取り組みをします。

令和5年度の入院日数は、令和4年度の入院日数1,504日に対し669日となり、835日減少し年間1,200日以内の入院目標を達成する事が出来ました(①②表)。なお、入院された方は、令和4年度の103人に対し、令和5年度は37人に抑えることが出来ました。ただし1人当たりの入院日数は14.1日間から17.6日間と約3.5日間増加した結果となりました。

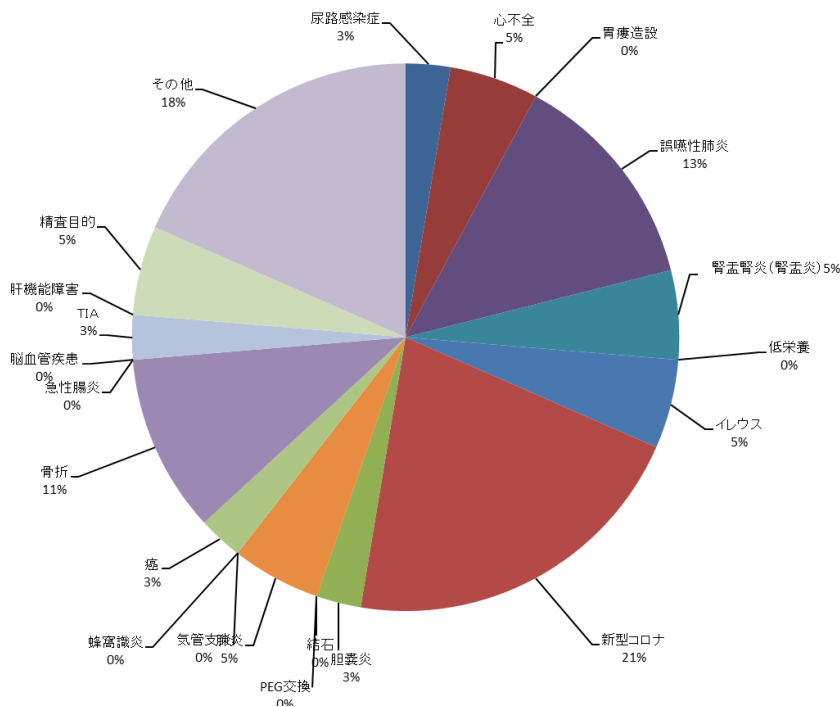
① 【令和4年度入院に至る疾病別割合】



【令和4年度入院日数】

疾病	入院日数
尿路感染症	0
心不全	0
胃腸造設	0
誤嚥性肺炎	102
腎盂腎炎	4
低栄養	0
イレウス	122
新型コロナウイルス	559
胆嚢炎	38
結石	11
PEG交換	11
肺炎	126
気管支炎	7
蜂窩織炎	0
癌	0
骨折	45
急性膵炎	0
脳梗塞	17
TIA	2
肝機能障害	0
精査目的	141
その他	319
合計	1,504

② 【令和5年度入院に至る疾病別割合】



【令和5年度入院日数】

疾病	入院日数
尿路感染症	14
心不全	70
胃腸造設	0
誤嚥性肺炎	96
腎盂腎炎	14
低栄養	0
イレウス	15
新型コロナウイルス	51
胆嚢炎	38
結石	0
PEG交換	0
肺炎	62
気管支炎	0
蜂窩織炎	0
癌	20
骨折	144
急性膵炎	0
脳血管疾患	0
TIA	3
肝機能障害	0
精査目的	53
その他	89
合計	669

R4	一人当たりの入院日数	14.1 日
----	------------	--------

⇒

R5	一人当たりの入院日数	17.6 日
----	------------	--------

	R5 入院日数	R4 入院日数	増減	%
尿路感染症	14	0	14	0%
心不全	70	0	70	0%
胃瘻造設	0	0	0	0%
誤嚥性肺炎	96	102	-6	94%
腎盂腎炎	14	4	10	350%
低栄養	0	0	0	0%
イレウス	15	122	-107	12%
新型コロナ	51	559	-508	9%
胆嚢炎	38	38	0	100%
結石	0	11	-11	0%
PEG交換	0	11	-11	0%
肺炎	62	126	-64	49%
気管支炎	0	7	-7	0%
蜂窩織炎	0	0	0	0%
癌	20	0	20	0%
骨折	144	45	99	320%
急性腸炎	0	0	0	0%
脳梗塞	0	17	-17	0%
TIA	3	2	1	150%
肝機能障害	0	0	0	0%
精査目的	53	141	-88	38%
その他	89	319	-230	28%
合計	669	1,504	-835	44%

『 入院疾病別日数前年度比較 』

【前年度と比較して増加した入院日数】

- ① 骨折 99日増
- ② 心不全 70日増
- ③ 癌 20日増
- ④ 尿路感染症 14日増

【入院に至る疾病順位（前年度増減）】

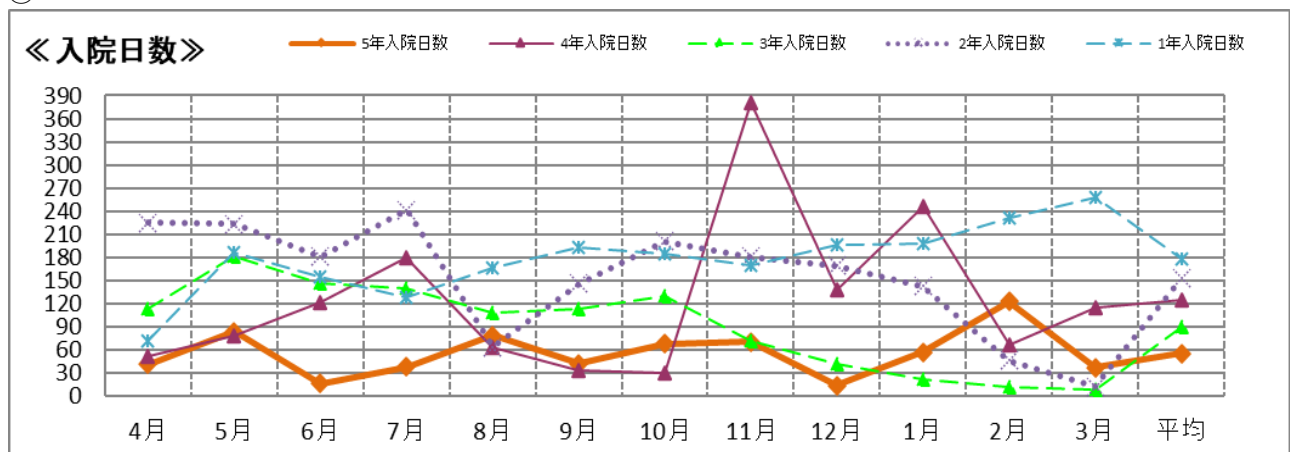
- ① 骨折 144日（+99日）
- ② 誤嚥性肺炎 96日（-6日）
- ③ 心不全 70日（+70日）
- ④ 肺炎 62日（-64日）
- ⑤ 精査目的 53日（-88日）
- ⑥ 新型コロナ 51日（-508日）
- ⑦ 胆嚢炎 38日（0日）

令和5年度も嘱託医との連携の下、定期通院や臨時通院、また専門医への受診を延べ458回（前年度比+153回：⑨表）重ねました。延べ入院日数は669日（前年度比44%減）となり、月平均入院日数では、前年度の125日に対して56日（69日減）となり、年間入院日数1,200日以内の目標を達成する事が出来ました。（⑤表）

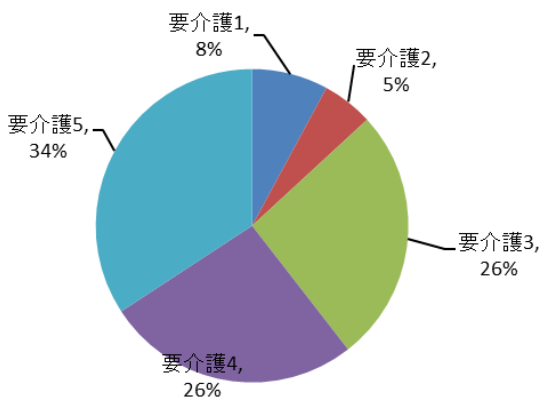
入院された入居者は、要介護4と要介護5の方が全体の60%（④表）で、やはり要介護の重い方の入院リスクが高いと言えます。

本館での入院日数は、R4年度1,148日がR5年度421日で前年度と比べ▲727日間（▲37%）減少、新館での入院日数は、R4年度356日がR5年度248日で前年度と比べ▲108日間（▲70%）減少しました（⑤表）。

③



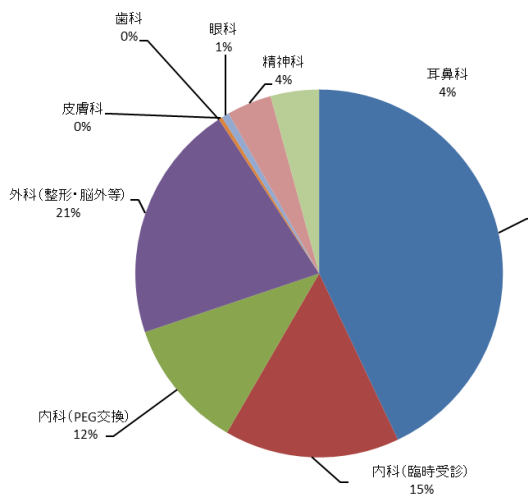
④ 要介護度別入院率



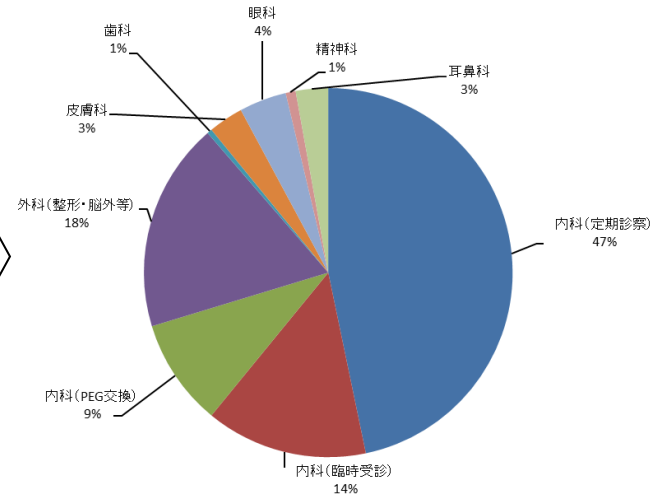
⑤ 入院者と入院日数

	本館			新館			合計		
	入院者	退院者	延日数	入院者	退院者	延日数	入院者	退院者	延日数
4月	3	2	31	1	1	10	4	3	41
5月	1	2	28	1	0	56	2	2	84
6月	0	0	0	0	2	16	0	2	16
7月	2	1	35	1	0	3	3	1	38
8月	1	2	79	0	0	0	1	2	79
9月	4	3	42	0	0	0	4	3	42
10月	4	4	62	1	0	6	5	4	68
11月	1	3	37	1	1	33	2	4	70
12月	1	1	4	1	1	10	2	2	14
1月	1	0	1	2	2	56	3	2	57
2月	6	7	67	2	4	56	8	11	123
3月	2	1	35	1	1	2	3	2	37
合計	26	26	421	11	12	248	37	38	669

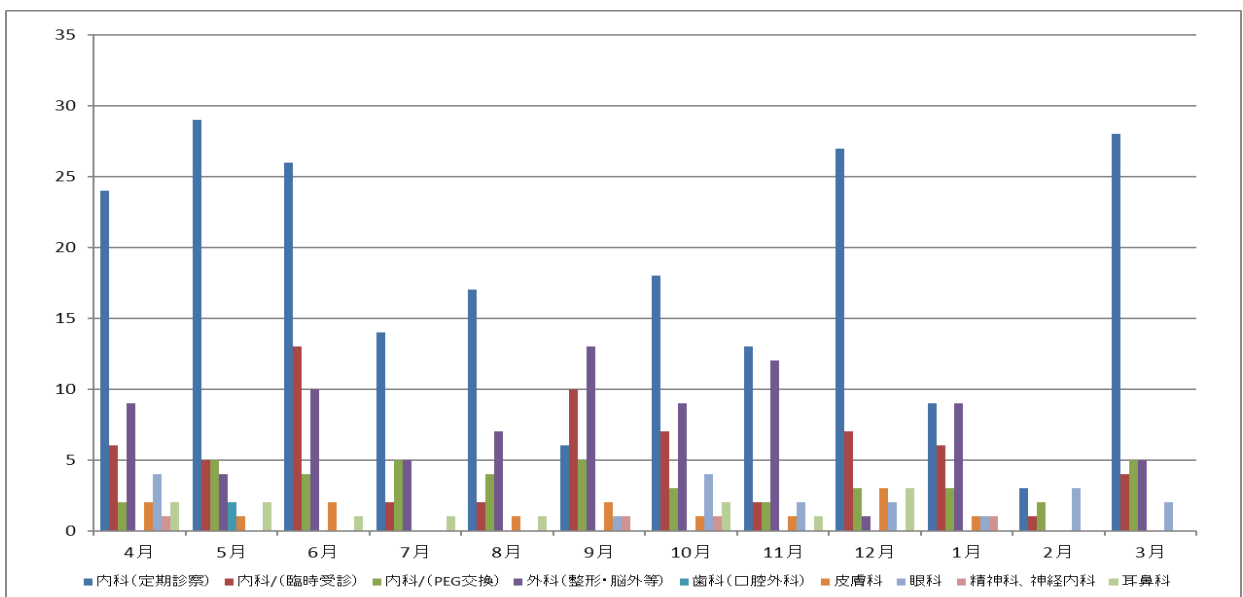
⑥ 【施設通院対応（診療科別）割合】
<R4年度>



<R5年度>



⑦ 『令和5年度月別受診回数』



⑧ 令和4年度【通院対応回数（苑送迎等対応分）月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(定期診察)	11	13	9	0	7	23	22	4	12	6	8	16	131
内科/(臨時受診)	3	5	12	0	3	1	3	1	5	2	8	4	47
内科/(PEG交換)	2	3	2	2	3	6	5	0	3	2	2	5	35
外科(整形・脳外等)	8	5	8	0	2	2	5	3	13	3	8	7	64
歯科(口腔外科)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
眼科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
精神科、神経内科	0	1	2	0	1	1	0	1	1	3	0	2	12
耳鼻科	1	1	2	0	2	1	1	1	1	1	0	2	13
	25	28	35	2	18	35	36	10	35	17	28	36	305



令和5年度【通院対応回数（苑送迎等対応分）月別件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(定期診察)	24	29	26	14	17	6	18	13	27	9	3	28	214
内科/(臨時受診)	6	5	13	2	2	10	7	2	7	6	1	4	65
内科/(PEG交換)	2	5	4	5	4	5	3	2	3	3	2	5	43
外科(整形・脳外等)	9	4	10	5	7	13	9	12	1	9	0	5	84
歯科(口腔外科)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
皮膚科	2	1	2	0	1	2	1	1	3	1	0	0	14
眼科	4	0	0	0	0	1	4	2	2	1	3	2	19
精神科、神経内科	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	4
耳鼻科	2	2	1	1	1	0	2	1	3	0	0	0	13
	50	48	56	27	32	38	45	33	46	30	9	44	458

⑨	R5	R4	±
内科(定期診察)	214	131	83
内科(臨時受診)	65	47	18
内科(PEG交換)	43	35	8
外科(整形・脳外等)	84	64	20
歯科	2	0	2
皮膚科	14	1	13
眼科	19	2	17
精神科	4	12	-8
耳鼻科	13	13	0
	458	305	153

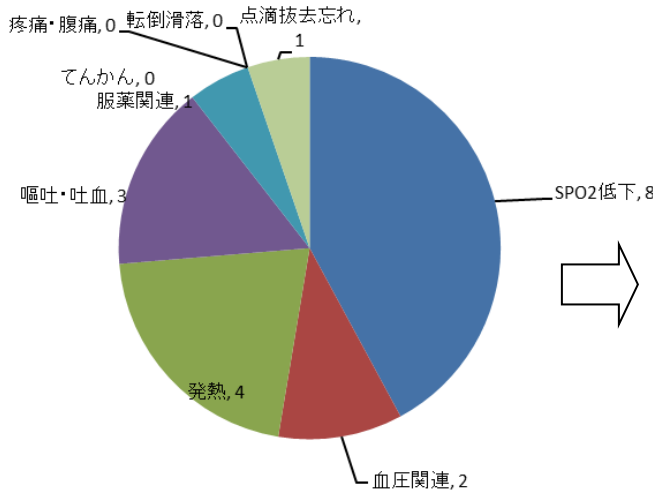
＜令和5年度の通院の特徴＞
 通院回数全体では、458回で前年度比+153回増加（150%）しました。おおきな要因は感染症の影響により受診できていなかった定期診察を通常通りに実施できた事が挙げられます。
 (⑧⑨表)

2. 緊急連絡体制の継続と対応の確認をします。

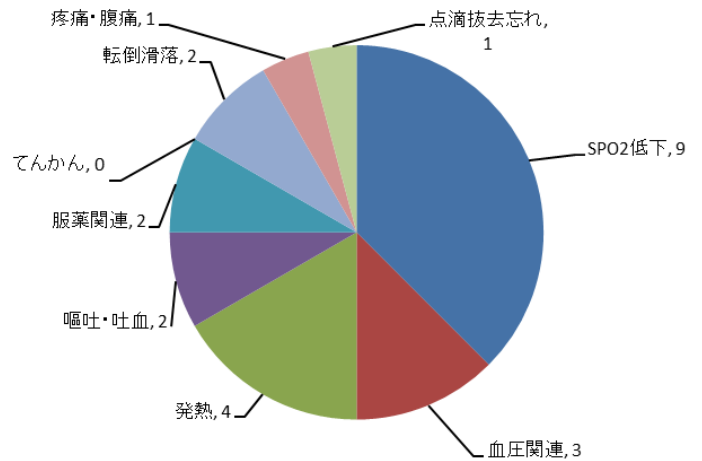
令和5年度のオンコール回数は22件で、令和4年度の24件と比較して-2件となっています。オンコール内容は、昨年同様にSPO2低下が7件と多く、次いで服薬関連、発熱が続きました。オンコール前対応マニュアル等の整備と介護・看護の申し送り体制強化により、ギリギリまで施設で療養できるようになった結果、このようなオンコールが増えたと考えます。(①②③表)

① 【特養オンコール内容】

<令和4年度>

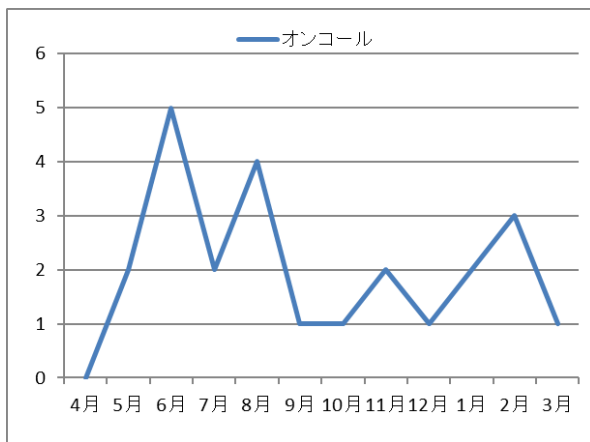


<令和5年度>

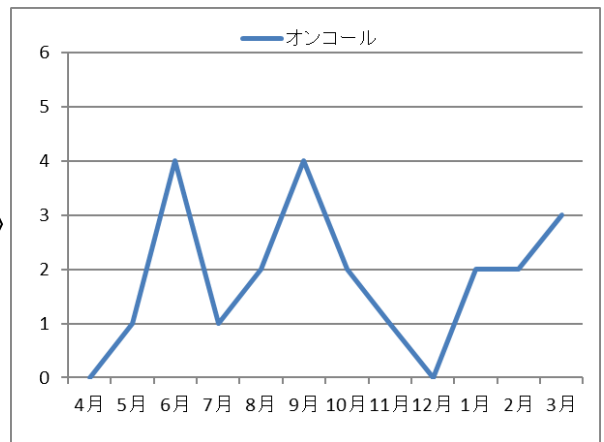


② 【オンコールの月別回数】

<令和4年度 (24件)>



<令和5年度 (22件)>



③ 令和5年度 月別オンコール件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
SPO ₂ 低下			1			1				1	1	3	7
血圧関連							1						1
発熱			1		1	1				1			4
嘔吐・吐血			1			2							3
服薬関連		1			1		1	1			1		5
てんかん													0
転倒滑落			1										1
疼痛・腹痛				1									1
点滴抜去忘れ													0
合計	0	1	4	1	2	4	2	1	0	2	2	3	22

V 栄養管理

1. おいしい食事の提供をします。

食事は入居者様にとって楽しみのひとつであり、「食べる」ことは生きていく上でとても大切です。「食」を通じて生き甲斐や楽しみに繋がるように、環境づくりに心がけ、安心して安全な食事が提供できるように努めました。また今年度も感染症対策しながら、デイサービスでは『イベント食』を楽しんで頂けるように内容の見直しを給食委託業者の調理師、栄養士と相談しながら行うことができました。また入居者様においても少しでも口から食べることができて、また楽しい食事が出るように行事食(表①)、選択食(表②)、おやつバイキングを実施しました。おやつバイキングについては、今まで開催していた多種多様な洋菓子や和菓子を選ぶバイキングと、毎年好評である利用者様が自らおやつ作りに参加できる夏期は「クリームあんみつ」、秋期は「フレンチトースト」を特養でも各フロア1回ずつ開催しました。「クリームあんみつ」では普段のおやつではなかなかお出しできないアイスクリームを用いて懐かしい甘味に笑顔が多くみられました。「フレンチトースト」においても甘い香りがフロアに広がり、出来上がりを楽しみにされる様子が見られました。入居者様・利用者様の声に耳を傾けながら、また献立内容もマンネリ化しないように今後も努めて参ります。

【栄養摂取基準 (令和5月3月末日現在)】

エネルギー	1369kcal
蛋白質	55.5g
カルシウム	476mg
レチノール当量	622 μ g
ビタミンB1	0.63mg
ビタミンB2	0.78mg
ビタミンC	63mg
穀類エネルギー比	59.5%
脂質エネルギー比	24.3%
蛋白質エネルギー比	16.2%
食塩相当	8.8g
食塩相当	g

① 令和5年度 行事食一覧

<p>4月 お花見弁当</p>	<p>5月 江戸前ちらし寿司</p>	<p>6月 ビビンバ丼</p>
		
<p>7月 そうめん (七夕)</p>	<p>8月 うなぎちらし</p>	<p>9月 敬老のお祝い膳</p>
		
<p>10月 松茸ごはん</p>	<p>11月 秋のちらし寿司</p>	<p>12月 (クリスマス)</p>
		
<p>1月 お正月御膳 (1日)</p>	<p>1月 お正月御膳 (2日)</p>	<p>1月お正月御膳 (3日)</p>
		
<p>2月 恵方巻き (節分)</p>	<p>3月ちらし寿司(雑まつり)</p>	<p>握り寿司</p>
		

② 令和5年度 選択食一覧 (上段:Aメニュー 下段:Bメニュー)

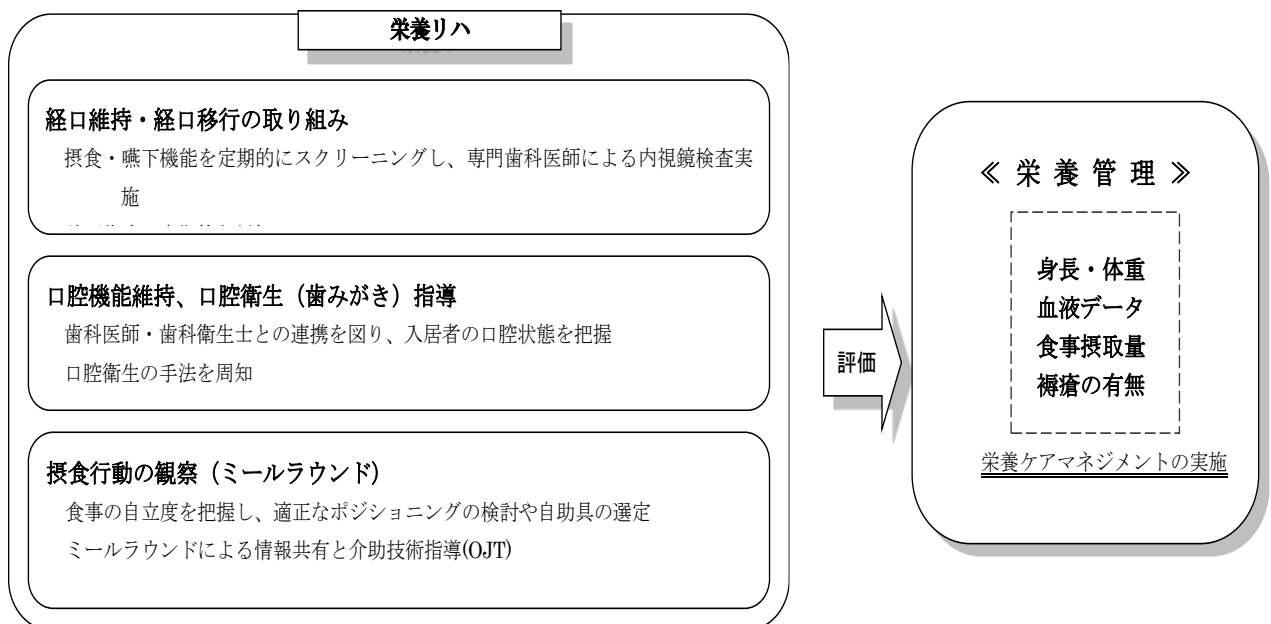
4月	4/2 夕食時 豚肉のピリ辛炒め	4/9 夕食時 白身魚のスープ煮	4/16 夕食時 サバの煮付	4/23 夕食時 鶏肉のはちみつ マスタード焼
	カレイのちり煮	鶏南蛮そば	牛肉とキャベツの 味噌炒め	エビとブロッコリー のクリームパスタ
	4/30 夕食時 サワラの香味焼			
	豚肉のソテー わさびソース			
5月	5/7 夕食時 白身魚のフライ	5/14 夕食時 五目卵焼き	5/21 夕食時 サワラの生姜焼	5/28 夕食時 サワラの 和風ステーキ
	コロッケ	親子うどん	豚肉のネギ味噌焼	山菜そば
6月	6/4 夕食時 ホキの田楽	6/11 夕食時 カレイの煮付	6/18 夕食時 サワラの七味焼き	6/25 夕食時 タラのおろし煮
	ナポリタン	鶏肉のピーナツ ソースかけ	鶏肉のはちみつ照焼	けんちんうどん
7月	7/2 夕食時 白身魚の幽庵焼き	7/9 夕食時 白身魚の バター醤油焼き	7/16 夕食時 牛肉と南瓜の甘辛煮	7/23 夕食時 タラの粕漬焼き
	胡麻だれ 冷やしうどん	冷しゃぶ梅ソース	ソース焼きそば	牛肉の野菜炒め
	7/30 夕食時 白身魚の山芋蒸			
	きのこのバター醤油 スパゲティ			
8月	8/6 夕食時 ホキの田楽	8/13 夕食時 牛肉の生姜焼き	8/19 夕食時 野菜オムレツ	8/27 夕食時 牛肉と南瓜の煮物
	ちゃんぽん	タラの煮付	たらこスパゲティ	赤魚の 香味ソースかけ
9月	9/3 夕食時 鶏肉のカレー風味焼	9/10 夕食時 アジの胡麻だれ漬	9/17 夕食時 サワラ和風ステーキ	9/24 夕食時 白身魚の梅照焼
	タラの タルタルソース焼	醤油ラーメン	豚肉のべっこう煮	ミートソース
10月	10/1 夕食時 牛肉のカレーソテー	10/7 夕食時 タラのパン粉焼	10/15 夕食時 ブリの照焼	10/22 夕食時 豚肉のもろみ味噌焼
	きつねそば	ハンバーグ	鶏肉のおろし煮	ホタテと野菜の 中華炒め
	10/29 夕食時 白身魚の 野菜あんかけ			
	あんかけ焼きそば			
11月	11/5 夕食時 豚肉のスタミナ焼き	11/12 夕食時 酢豚	11/19 夕食時 鶏肉のはちみつ焼き	11/26 夕食時 白身魚の 和風ステーキ
	蒸魚のおろしあん	カレーうどん	豆腐と 野菜の旨煮	塩ラーメン

12月	12/3 夕食時 牛肉の柳川風煮	12/9 夕食時 マスのバター焼	12/17 夕食時 コロッケ	12/24 夕食時 ポークチャップ
	ホタテとアスパラの 中華炒め	きのこのバター醤油 スパゲティ	ホキの中華風照焼	味噌ラーメン
1月	1/7 夕食時 鶏肉とコーンの クリームシチュー	1/14 夕食時 サバの塩焼	1/21 夕食時 オムレツの茸ソース	1/28 夕食時 赤魚の煮付
	醤油ラーメン	牛肉の甘辛煮	カレーコロッケ	月見そば
2月	2/4 夕食時 赤魚の煮付	2/11 夕食時 ブリの田楽	2/18 夕食時 ホキの韓国風照焼	2/25 夕食時 サバの味噌煮
	かに玉	スープ パスタ	汁なし担々麺	ネギ塩チキン
3月	3/10 夕食時 サワラの香味焼	3/17 夕食時 焼き豆腐の卵とじ	3/24 夕食時 タラのさらさ蒸し	3/31 夕食時 豚肉のピリ辛炒め
	牛肉とごぼうの しぐれ煮	ブリの南部焼	味噌煮込みうどん	塩焼きそば

2. 栄養マネジメントを適切に実施します。

「1回食」または「2回食」「ハーフ食」での食事提供、個別水分アセスメントによる適正水分量やOS-1(経口補水液)の活用、経口摂取と経管栄養の併用などにより、これまでよりも入居者様のライフステージに合わせた栄養ケアマネジメントの設定が益々求められるようになりました。これは好日苑が“最期を看取れる施設”として、健康増進や栄養改善のみならず、体力に合わせた負担のない食事を効率よく摂取することや、本人の食べられるだけを中心とした苦痛のない食事、味わう程度の楽しみとしての食事など、入居者様のライフステージが多様化してきていることによります。

令和3年度の介護報酬改定から「栄養マネジメント強化加算」が新たに創設されました。「食と栄養」がより重要となり、専門職として栄養マネジメントやミールラウンドの強化、低栄養状態の改善に向けた取り組み、維持に努めることができました。またその指標としてLIFE(科学的介護情報システム)に情報を提供し、PDCAサイクルに沿ったサービスの質の向上に繋げることができ、個別性のある栄養マネジメントの設定、モニタリングを行うことへ繋げています。また以前より使用している「栄養リハカルテ」については、継続して経口維持往診の際に情報共有のツールとして活用しています。



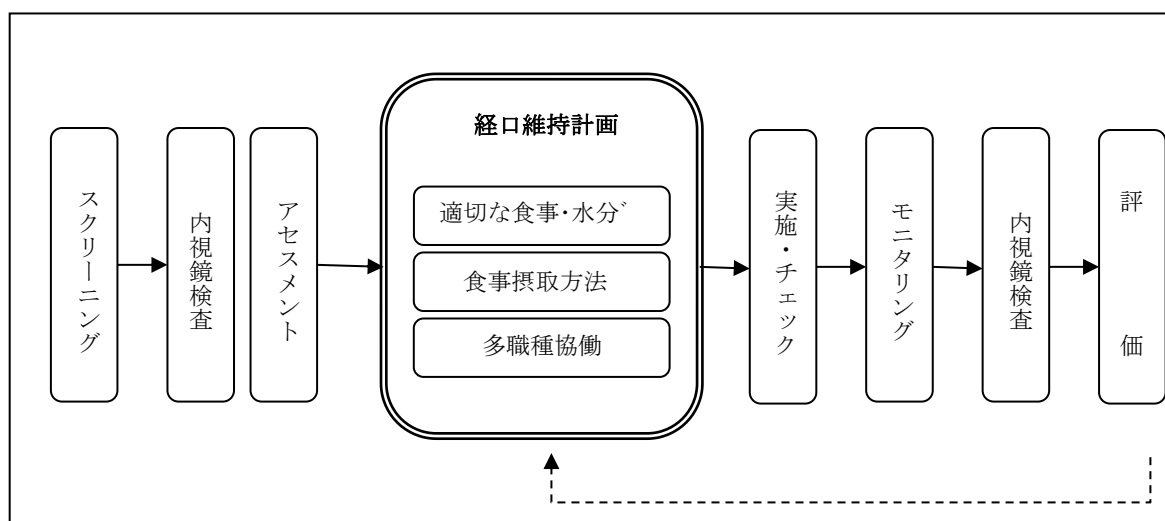
3. 経口維持計画、経口移行計画を適切に実施します。

経口維持計画の取り組みを始めて17年目となりました。昭和大学歯科病院歯科医師のご協力のもと、経口摂取への取り組みを円滑に維持することができました。今後も専門医の助言を頂きながらPeaceful Careの実現に向けて取り組んで参ります。

令和5年度は延べ16名の方に受けて頂くことができました。16名のうち、6名(38%)の方が新規受診されました。また、胃瘻利用者1名(6%)の方が、経口維持往診にて専門医による内視鏡検査を行い、現状の摂食・嚥下機能状態の評価を行いました。吸引の必要性やお楽しみの経口摂取が望めるかを評価して頂きました。平成22年度より『藤島式嚥下グレード』による機能評価法を導入し、内視鏡検査の度に摂食・嚥下機能のグレード付けを歯科医師にして頂き、どの程度の食事(内容や量)が食べられるのかを時間の流れと共に段階的に評価することで、その方のライフステージに合った【食】を提案できるように努めました。また感染症対策しながら16名のうち3名(19%)の家族が経口維持往診の立会いをされています。実際の食事の様子や専門の歯科医師に直接、ご本人の状態について説明をして頂くことで、より具体的に現状の課題や支援方法を共有して頂けるように取り組んでいます。また、栄養リハカルテには歯磨き指導の助言内容や摂食・嚥下機能評価、入院歴等を記載し、医療に係わる情報を集約することで総合的な栄養ケアマネジメントの運営を目指しました。

また今年度も継続して「経口維持加算」への取り組みを行っています。専門医の助言のもと多職種で情報共有しながら、その方に合わせた食事形態や内容、リハビリ的な取り組みを行いました。少しでも長く口から食べることができるよう支援しています。

『 経口維持計画 』



内視鏡検査の様子

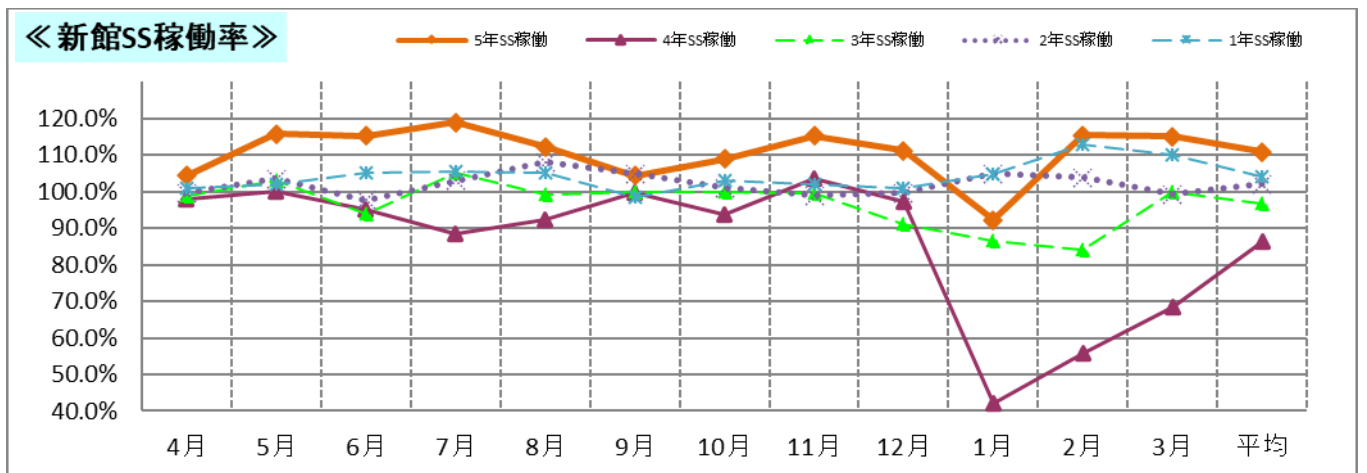
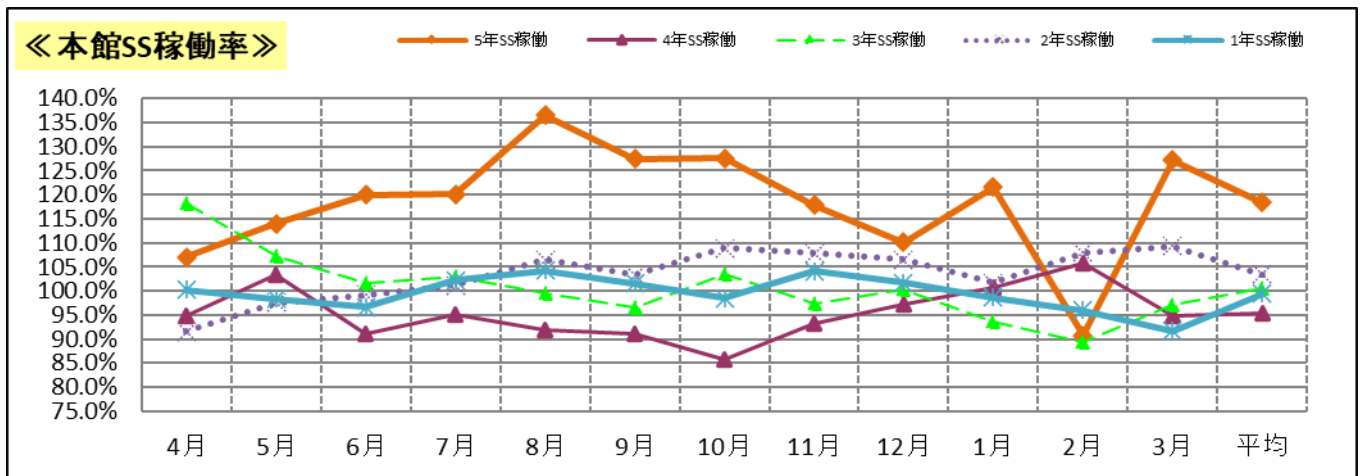
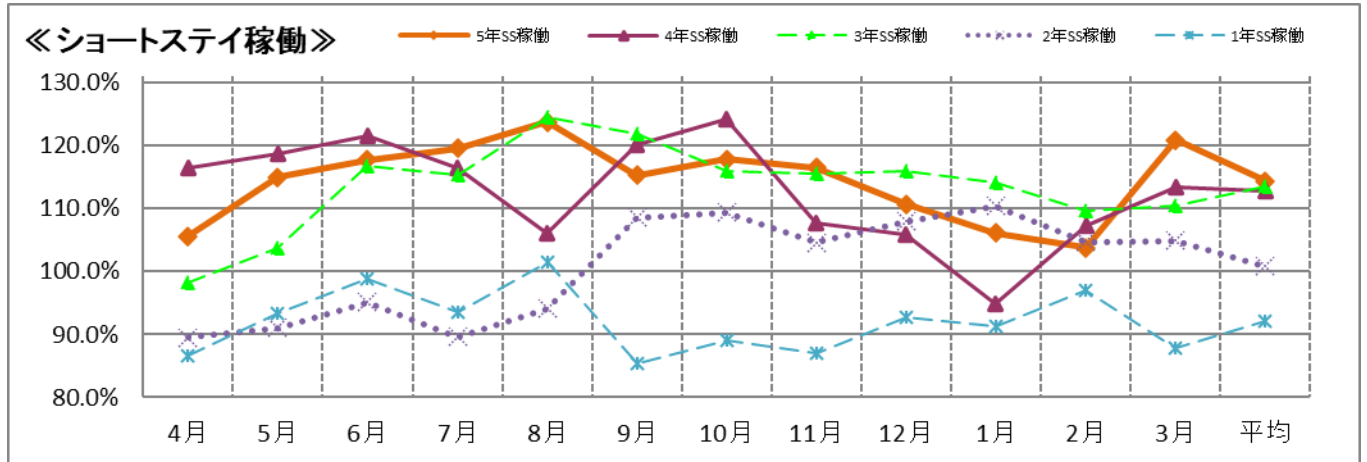


VI 短期入所生活介護

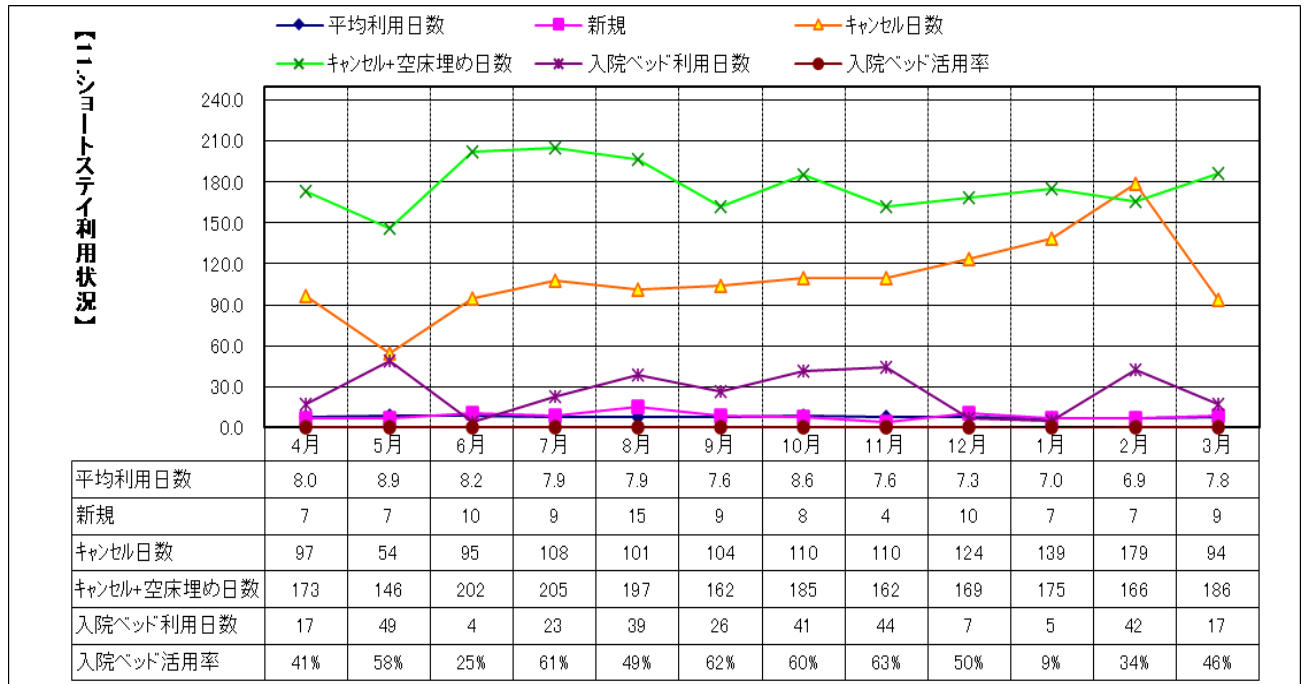
令和5年度は、平均年間稼働率114.4%と目標達成できました。医療ニーズが高い方や認知症の周辺症状で在宅介護が難しくなってきた方を、ご家族様や在宅の医療機関等にもご協力いただき、「断らないショートステイ」を実現したことが大きな要因と考えています。

次年度も、ご家族様、担当CMに選ばれる好日苑ショートステイを目指してサービス提供に努めていきたいと考えております。

① 令和5年度【ショートステイ稼働率】



② 令和5年度【ショートステイ平均利用日数等】



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月当初予約日数	525	569	569	621	673	653	668	630	640	635	642	657	624
(%)	92.1%	96.6%	99.8%	105.4%	114.3%	114.6%	113.4%	110.5%	108.7%	107.8%	120.7%	111.5%	108.0%

Ⅶ 人財育成（研修）

社会福祉法人響会

令和5年度 第1回「新入職員基礎研修(BS)内容」

特別養護老人ホーム 好日苑

9:00～18:00 勤務（3日間）

No.	日付	時間	場所	内容	研修担当職員
1	1日目	9:00 ~ 9:15	相談室1.2	施設長挨拶	施設長
				オリエンテーション	特養課長
9:20 ~ 9:50		【事業運営方針】 ・第6次中期経営計画 ・令和5年度事業計画 ・事業継続計画（BCP）～自然災害・感染症～		特養課長	
		【大田区の介護保険制度の現状】 ・制度全般（保険料・要介護度等） ・優先入所制度 ・特養の現状（要介護度・料金等）			
9:50 ~ 10:50		1:00		【法人組織や事業・各種規定】 ・倫理綱領・就業規則・給与規定 ・運営規定（特養・デイ・ヘルパー） ・オンブズパーソン委員会設置要綱 ・苦情解決の取組に関する実施要綱 ・個人情報保護規定 ・各種サービス指針 ・各種申請書含む	事務主任
12:05 ~ 13:05		1:00		休憩	
13:05 ~ 14:05		1:00		館内設備・防災研修	事務主任
14:15 ~ 14:47		0:32		動画研修 ・「心が伝わる」 ビジネスマナーの基本 Part1 企業人・社会人として働くという事 Part2 笑顔・あいさつ・言葉遣い	介護係長
14:55 ~ 15:51		0:56		動画研修 ・【新版】社会人 やっていいこと・悪いこと	
16:00 ~ 16:44		0:44		動画研修 ・新入社員のための「社会人のルール」	
16:50 ~ 17:40		0:50		動画研修 ・新入社員のための「報連相の基本」	
17:40 ~ 18:00	0:20	報告書作成			

1	2日目		9:00	～	10:30	1:30	相談室1.2	好日苑の特徴～6つの風船～ 相手の気持ちを大切に	介護係長
2			10:40	～	12:00	1:20		ICF的考え方入門	相談係長
3			12:00	～	13:00	1:00		休憩	
4			13:00	～	14:30	1:30		【Peaceful Care】研修 ～穏やかな看取り介護～ 顧みる看取り介護	相談係長
5			14:45	～	15:45	1:00		介護記録	
6			15:55	～	16:55	1:00		虐待防止・身体拘束廃止	相談係長
7			17:00	～	17:30	0:30		介護現場におけるハラスメント対策について	介護係長
8			17:30	～	18:00	0:30		報告書作成	

1	3日目		9:00	～	10:20	1:20	相談室1.2	好日苑の食事～人を良くする食事～ 食形態・食中毒予防	管理栄養士
2			10:20	～	11:20	1:00		栄養ケア計画	
3			11:20	～	12:20	1:00		好日苑でいう『栄養リハ』とは 経口維持計画/経口移行計画 口腔ケア	
4			12:20	～	13:20	1:00		休憩	
5			13:20	～	14:50	1:30		医療研修～先手のケア研修～ 「健康管理」	看護係長 看護主任
6			15:00	～	16:40	1:40		「感染予防」「胃腸管理」 「吸引等の医行為（実技含む）」 「褥瘡予防」	
7			16:50	～	17:30	0:40		動画研修 働く人のメンタルヘルス①②	介護係長
8			17:30	～	18:00	0:30		振り返り・報告書作成	

令和4年度《【本館】内部研修》

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
9月	28日	職員食堂	コミュニケーション研修	5名
2月	22日	職員食堂	健康管理表研修	8名

令和5年度《【両館】合同内部研修》

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
4月	11日	職員食堂	令和5年度事業計画説明	22人
5月	12日	職員食堂	東京都 高齢者入所施設向け 新型コロナ対策 即応支援チーム 「平時の感染対策研修」	24人
6月	7日	相談室①②	自然災害における事業継続計画(BCP)に基づく机上訓練	13名
7月	21日	職員食堂	リスクマネジメント研修「緊急時対応」	16名
8月	8日	相談室①②	福祉避難所運営ゲーム「HUG」実地研修	20名
8月	31日	職員食堂	虐待防止研修～不適切なケアとは～	11名
9月	24日	職員食堂	自然災害発生時における事業継続計画(BCP)研修	20名
10月	20日	職員食堂	感染症対策リーダー研修受講終了者による感染症対策研修	12名
10月	20日～30日	各フロア	介護現場改革推進等事業 令和5年度 リーダー層向け人材育成セミナー ～リーダーの役割やOJTのノウハウを学ぼう～	12名
11月	8日	相談室①②	感染症対策リーダー研修受講終了者による感染症対策研修	13名
11月	24日	職員食堂	リスク管理(緊急時対応)研修	16名
12月	15日	職員食堂	虐待防止(認知症ケア)研修	9名
1月	11日	相談室①②	福祉避難所運営ゲーム「HUG」実地研修	19名
2月	23日	職員食堂	次世代介護研修(ノーリフティングケア研修)	13名
3月	22日	職員食堂	Peaceful Care(穏やかな看取り介護)研修	17名

令和5年度≪【看護職員】自主勉強会≫

開催月	開催日	場 所	内 容	参加人数
4月	9日	医務室	安全な胃ろうケア	6名
4月	24日	職員食堂	ピースフルケア	10名
5月	22日	吹き抜け	フットケア	6名
5月	31日	医務室	緊急時の流れ・報連相・看護師の役割	6名
6月	25日	医務室	心肺蘇生(人形使用)	6名
7月	15日	医務室	特養看護師の役割・アセスメント看護師の役割	5名
8月	6日	医務室	水泡の処置	6名
8月	9日	医務室	PTによるボディメカニクス	7名
11月	5日	医務室	感染症予防(PPE着脱・手指消毒)	6名
12月	6日	医務室	老年予防医学	6名
1月	30日	医務室	5つの見るについて(医務室目標「みる」を深める)	6名
2月	28日	医務室	施設内リーダー研修 内容報告	8名
3月	27日	医務室	胆石症・胆のう炎の先手のケアと予防	6名

令和5年度《【外部】研修》

開催日	主催	研修名	参加者
6月1日	パラマウントベッド	床ずれ対策用具の上手な選定・活用方法	理学療法士
6月14日	大田区人材育成交流センター	第1回福祉従事者フォローアップセミナー	介護職員
6月15日	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	介護副主任
6月22日	東京都福祉保健財団	令和5年度 公開見学会(介護ロボット)	介護係長
6月30日	パラマウントベッド	高齢者施設で取り組む褥瘡管理	理学療法士
7月3日	東京都高齢者福祉施設協議会	福祉施設におけるDXに必要なネットワーク環境整備のポイント	特養課長
7月7日	東京都社会福祉協議会	令和5年度 高齢者福祉施設におけるチームマネジメントを学ぶ研修会	介護主任
7月11日	高齢者福祉施設部会	栄養士の為の情報交換会	栄養主任
7月18日	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	介護主任
7月19日	東京都福祉人材センター	認知症実践者研修	介護主任
8月4日	東京都社会福祉協議会	ICFと褥瘡予防の観点に基づいたポジショニング・シーティング	理学療法士
8月25日	東京都社会福祉協議会	令和5年度ショートステイWeb情報交換会	介護係長
9月19日	大田区介護保険課	認定調査新規研修	相談係長
9月20日	東京都福祉人材センター	認知症実践者研修	介護副主任
9月26日	ユニットケア推進センター	ユニットリーダー研修	介護主任
9月27日	福祉新聞	福祉新聞フォーラム 高齢者のリハ実践講座	理学療法士
10月1日	東京都福祉保健局	感染症対策リーダー研修	看護係長
10月12日	東京都福祉保健局	外国人介護従事者受け入れマッチング支援ミーティング	特養課長
10月14日	総合健康推進財団	東京都季語支援専門員専門研修Ⅱ	相談係長
10月19日	大田区保健所	感染症予防講演会	看護係長
10月20日	東京都福祉保健局	感染症対策リーダー研修 2日目	看護係長
10月24日	東京都社会福祉協議会	令和5年度 高齢者福祉施設におけるチームマネジメントを学ぶ研修会 グレードアップ研修	介護主任
10月24日	東京都高齢者福祉施設協議会	城南ブロック会 生活相談員連絡会	介護係長
11月7日	大田区介護保険課	身体拘束の防止に向けての取り組み	介護職員
11月13日	テクノエイド協会	介護ロボット活用ミーティング	特養課長
11月24日	東京都	科学的介護情報システムによる科学的介護の推進	相談係長
12月13日	大田区福祉管理課	大田区福祉人材育成スキルアップセミナー	介護係長
12月14日	東京都社会福祉協議会	KIZUNA～災害想定ゲーム 研修参加	介護主任
12月22日	安全な介護	高齢者施設の災害対策BCPと避難計画	特養課長
1月17日～2月16日	東京都福祉保健財団	令和5年度東京都高齢者権利擁護推進事業「施設内リーダー職員研修(看護実務者研修)」	看護職員
1月9日	東京都社会福祉協議会	押さえておきたい 2024年介護報酬改定のポイント	特養課長
2月6日	東京都社会福祉協議会	生活相談員リスクマネジメント研修	相談係長
2月16日	大田区介護保険課	利用者とのコミュニケーションの取り方	介護職員
3月1日	東京都社会福祉協議会	施設ケアマネジメントの本質について	相談係長
3月4日	厚生労働省	2024年度科学的介護情報システム研修会	相談係長
3月14日	東京都高齢者福祉施設協議会	人材育成・定着に必要なメンタルトレーニング	介護係長
3月15日	大田区介護保険課	外国人人材の受け入れに向けた法人・事業所の環境作り	特養課長

会議・委員会

令和5年度《特養会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【特養会議】 内容の概要
特養会議	4月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 感染症発症状況確認
	5月	10日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 新型コロナ大田区巡回接種について
	6月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 家族会開催報告
	7月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 大田区 実地指導について
	8月	8日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 好日苑まつりについて
	9月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 いきいき通販評価 響会 大規模防災訓練について
	10月	6日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 インフルエンザ・コロナワクチン接種について
	11月	8日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 虐待の芽チェックリストについて
	12月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 第三者評価訪問調査結果について
	1月	11日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 車いすレンタルバック導入について
	2月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 感染症発症状況確認
	3月	7日	前月の実績報告 各会議・各委員会決定事項 継続審議事項報告 大田区保健所による実地指導結果

参加者

理事長・施設長・特養課長
本新館介護係長・本新館CM・看護係長
管理栄養士・本新館主任

会議レジュメ

1. 特養部門の前月実績分析
2. 各会議報告
(3C・本館会議・新館会議・看護師会議・食事会議)
3. 各委員会報告
(リスク・NPTF・認知症・本新館合同排泄・吸引等安全対策)
4. 各専門職種から
5. 検討課題

今年度を振り返って

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類への移行を受けて、高齢者施設としてどのように日常の生活に戻していくか検討していきながらの運営となりました。通常運営を行っていくうえで、特養会議が施設運営の核となる会議ですので、各会議・各委員会での検討事項の方向性を確認・調整を行うとともに、特養の方向性を周知する重要な会議として位置づけて検討を進めていきました。

令和5年度《特養係長会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	特養主任会議(3C)内容
特養係長会議(3C)	4月	6日	利用者状況、職員状況、コロナ感染状況
		14日	利用者状況、職員状況、人財育成の考え方共有
		21日	利用者状況、職員状況、人事考課評価結果について
		28日	利用者状況、職員状況、職員安否訓練
	5月	12日	利用者状況、職員状況、実務者研修受講について
		19日	利用者状況、職員状況、新館家族会について
		26日	利用者状況、職員状況、コロナ巡回接種について
	6月	2日	利用者状況、職員状況、職員の肖像権について
		9日	利用者状況、職員状況、契約職員就業規則改正
		16日	利用者状況、職員状況、特養職員交換研修
		23日	利用者状況、職員状況、大田区実地指導
	7月	30日	利用者状況、職員状況、虐待の芽チェックリスト
		5日	利用者状況、職員状況、コロナ感染状況
		6日	利用者状況、職員状況、好日苑まつり
		14日	利用者状況、職員状況、職員個人情報保護誓約書提出について
	8月	21日	利用者状況、職員状況、いきいき通販開始
		28日	利用者状況、職員状況、リスクマネジメント研修
		4日	利用者状況、職員状況、消防機関との連絡の整理
		10日	利用者状況、職員状況、面接評価項目評価表について
	9月	17日	利用者状況、職員状況、緊急時対応マニュアル
		25日	利用者状況、職員状況、生活支援員業務日誌
		1日	利用者状況、職員状況、中期経営計画の中間評価
		8日	利用者状況、職員状況、響会大規模防災訓練
	10月	15日	利用者状況、職員状況、内部研修について
		22日	利用者状況、職員状況、第三者評価合議用資料
		29日	利用者状況、職員状況、アクティブ福祉報告
		5日	利用者状況、職員状況、感染症対策リーダー研修1回目受講報告
	11月	12日	利用者状況、職員状況、係長課題整理
		20日	利用者状況、職員状況、本館家族会について
		27日	利用者状況、職員状況、ワクチン接種について
		2日	利用者状況、職員状況、特定技能1号契約
	12月	9日	利用者状況、職員状況、大田区介護サービス功労者表彰等実施要綱について
		16日	利用者状況、職員状況、「新館B1ボイラーの給湯管亀裂による漏水」について
		24日	利用者状況、職員状況、事業計画作成について
		1日	利用者状況、職員状況、働きやすい職場環境について
		8日	利用者状況、職員状況、介護ロボット導入状況
	1月	15日	利用者状況、職員状況、車いすレンタルパック
		22日	利用者状況、職員状況、介護現場における生産性向上eラーニング研修
		29日	利用者状況、職員状況、災害対策BCPと避難計画
		1日	利用者状況、職員状況、個人目標
	2月	5日	利用者状況、職員状況、避難所運営ゲームHUG開催
		12日	利用者状況、職員状況、集団指導の実施について
19日		利用者状況、職員状況、令和6年度介護報酬改正のポイント	
26日		利用者状況、職員状況、虐待の芽チェックリスト実施報告	
3月	2日	利用者状況、職員状況、第三者評価評価結果報告	
	9日	利用者状況、職員状況、ユニ・チャームメンリツケ取組報告	
	16日	利用者状況、職員状況、大田区感染対策課感染状況訪問指導	
	22日	利用者状況、職員状況、特養介護職員の3月勤務について	
3月	1日	利用者状況、職員状況、PC入替	
	6日	利用者状況、職員状況、N1グランプリ開催	
	15日	利用者状況、職員状況、好日苑内装仕上げ大規模改修工事	
	24日	利用者状況、職員状況、重要事項説明書及び別紙の更新	
	29日	利用者状況、職員状況、令和6年度介護報酬改定について	

参加者
施設長・特養課長 本館介護係長・新館介護係長 相談係長(CM)・看護係長・PT

会議レジュメ
1. 前回の議事確認 2. 好日苑利用者状況(台帳)確認 3. 特養「組織図」と「人財」確認 4. 今日現在の稼働率状況確認 5. 特養(AP)検討課題 6. 新型コロナウイルス対応について 7. 報告事項 8. 3C来週の予定確認

今年度を振り返って
特養係長会議(3C)を特養の主要会議とし、特養部門の現状(コロナ発生状況確認・入居者状況・人財・組織・運営・課題・方向性等)を調整し協働を図るため、週1回(通算53回)開催いたしました。 特養においては、常に24時間365日動いていますので、1週間前の状況が殆ど変化している状態であり、情報の共有化と他職種協働の重要性を改めて認識いたしました。 また新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴う中で、高齢者施設としてどのような対応が求められるか検討し、少しずつ日常生活が取り戻せるよう検討していきました。来年度も引き続き緊張感を持って対応していきます。

令和5年度〈本館会議開催内容〉

会議名	開催月	開催日	【本館会議】 内容の概要
本館会議	4月	11日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画説明 ・安心入浴へ向けて好日苑従来型の特徴を知る ・年間内部研修検討
	5月	15日	<ul style="list-style-type: none"> ・安心入浴開始後の一時評価 ・彩活動クラブ方向性共有 ・年間内部研修検討
	6月	13日	<ul style="list-style-type: none"> ・各階KYTトレーニング実施へ向けて ・安心入浴課題整理 ・各階課題抽出、検討 ・本館内部研修担当決め
	7月	10日	<ul style="list-style-type: none"> ・内服事故振り返り ・安心入浴開始後の横断業務整理 ・各階進捗状況報告 ・入浴研修へ向けて
	8月	17日	<ul style="list-style-type: none"> ・安心入浴課題整理 ・入浴研修へ向けて ・好日苑まつり開催へ向けて
	9月	15日	<ul style="list-style-type: none"> ・安心入浴課題整理 ・健康管理表研修へ向けて ・各階進捗状況報告
	10月	12日	<ul style="list-style-type: none"> ・チューターユニット制再構築へ向けて ・浴室内イス使用の介助方法の検討 ・上半期振り返り
	11月	12日	<ul style="list-style-type: none"> ・配薬業務担当統一 ・チューターユニット制ユニットメンバー編成 ・健康管理表研修へ向けて
	12月	12日	<ul style="list-style-type: none"> ・6年度基本方針共有 ・チューターユニット制目的再共有 ・健康管理表研修へ向けて
	1月	16日	<ul style="list-style-type: none"> ・本館チームケア役割分担（臥床対応等）再検討 ・チューターユニット性再構築へ向けて ・中期経営計画共有 ・横断業務研修へ向けて
	2月	15日	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度「一文字目標」発表 ・チューターユニット性再構築へ向けて ・感染症対応整理
	3月	11日	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度委員会内容、メンバー検討 ・安心入浴評価 ・チューターユニット性評価 ・内部研修評価

参加者
本館係長・本館CM 本館主任・本館副主任

会議レジュメ
1. 前月の提案事項の進展状況確認 2. 法人伝達事項 3. 特養会議でのポイント確認 4. 各階運営状況報告&課題提起 5. 本館全体の検討課題 6. 5S委員会

今年度を振り返って
令和5年度は、本館が従来型であることを理解した上で、よりシンプルにするよう努めました。上半期は4年度から検討していた入浴体制を5月から変更しました。今までの経験を活かし「個別ケアを知ってるからこそできる集団入浴＝安心入浴」を目指しました。安心入浴を開始して、欠勤等発生しても、滞ることがなくなりました。また不随して各階での協力体制が生まれるようになりました。下半期にかけては、形骸化していたチューターユニット制度の再構築に取り組みました。職員チームを小単位化することで、職員育成、チームワークの強化、それをするための役職者の管理機能の強化を目指しました。まだ機能はしていません、次年度も継続して取り組んでいき、生産性の向上に努めてまいります。

令和5年度〈新館会議開催内容〉

会議名	開催月	開催日	【新館会議】 内容の概要
新館会議	4月	11日	・4月 各階「ユニットケア施設として、年度末にはこうなっています」宣言 ・浴室ハード、ソフト
	5月	13日	・情報の整理 ・浴室ハード
	6月	12日	・浴室ソフト ・申し送りの基本～申し送りの達人～ ・いいこと発表
	7月	10日	・浴室ソフト(イベント湯)共有 ・NEXTの役割 ・リーダーBS研修報告進捗確認
	8月	10日	・ユニットリーダー研修参加報告 ・好日苑祭り当日の動き方 ・マニュアル整理
	9月	9日	・リーダーBS研修～居担力～ ・マニュアル整理 ・夜勤休憩中のサブの役割共有
	10月	12日	・NEXTBS研修内容確認 ・ユニットリーダー研修参加報告 ・ユニット費の考え方
	11月	9日	・NEXTBS研修内容確認 ・リーダーBS研修～居担力～ ・24時間シート
	12月	11日	・ユニット計画 ・中期計画策定に向けてアイデア ・伝達週間
	1月	13日	・ユニット計画 ・2月勤務状況共有 ・ユニットミーティングについて ・アセスメント担当NSとの連携
	2月	9日	・感染症状況共有 ・ユニットミーティングについて(メールミーティング)
	3月	8日	・4月 各階「ユニットケア施設として、年度末にはこうなっています」宣言 ・ユニットミーティングについて ・令和6年度委員会&保メンバー

参加者
新館係長 新館主任・新館副主任

会議レジュメ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前月の提案事項の進展状況確認 2. 法人伝達事項 3. 特養会議でのポイント確認 4. 各階運営状況報告&課題提起 5. 新館全体の検討課題 6. 新館内部研修計画検討

今年度を振り返って
<p>令和4年度には「好日苑ユニットケアの確立」を目指し、新館会議メンバーにて年間かけて「学び」を行いました。令和5年度は「好日苑ユニットケアの実践」を掲げ、各階「ユニットケア施設として、年度末にはこうなっています」宣言を行い、見える形にしてきた1年になりました。ユニットケアの柱である、24時間シートの作成も進めてまいりましたが、継続使用が課題となっているなど、実践してきた中で見えてきた課題も出ています。ユニットリーダー研修受講者も新館会議メンバー7名中6名となりました。令和6年度更にユニットケアが進められるように取り組んでいきたいと思ひます。</p>

令和5年度《看護師会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【看護師会議】 内容の概要
看護師会議	4月	27日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・看護師業務のスマート化 ミーティング・会議の活性化（自分の意思を相手に伝える） ・新型コロナワクチン接種について
	5月	25日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・看護師業務のスマート化 ミーティング・会議の活性化（自分の意思を相手に伝えるの評価） ・体調不良時の対応・医療連携について
	6月	30日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・看護師業務のスマート化 ミーティング・会議の活性化（気づき、考え、動く）
	7月	18日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・好日苑式チームナーシング案の共有 ・先手のケアがもたらすメリットとは ・ハイポライト原液濃度の変更について
	8月	30日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・看護師業務のスマート化 ミーティング・会議の活性化（気づき、考え、動くの評価） ・薬セットミス対策
	9月	18日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・カルテファイリング順番の表記について ・好日苑式チームナーシング進捗状況確認
	10月	18日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・SS薬表評価 ・新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン同時接種について
	11月	27日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・新館インフルエンザ対応の振り返り
	12月	22日	・看取り介護振り返り ・看護師業務のスマート化 ミーティングの進行について
	1月	25日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・看護師業務のスマート化 業務マニュアルの修正 ・特養発熱時ルーチン対応の見直し
	2月	28日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・看護師業務のスマート化 業務マニュアルの修正、業務チェックリスト案、 感染症対応・準備物品バス案
	3月	28日	・オンコール対応・看取り介護振り返り ・看護師業務のスマート化 業務チェックリスト案、感染症対応・準備物品バス案の進捗状況確認 ・6年度担当 アセスメント・委員会 ・感染症物品について 嘔吐処理セット・経管物品など

参加者
特養課長・看護係長・看護職員

会議レジュメ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営会議・特養会議報告 2. 利用者状況報告 3. ターミナルケア対応 4. 感染症等予防対策 5. 褥瘡等予防対策 6. 提案事項

今年度を振り返って
<p>令和5年度の平均稼働率は99.5%と高稼働を維持することができ、入院日数は669日に抑えることができました。その要因として、新型コロナ感染症での入院者の減少と「先手のケア」の実践が挙げられます。</p> <p>6年度も引き続き「先手のケア」で悪化を防ぎ適切な医療連携を行いながら、理念である「安心と暖かさ」をご利用者様・ご家族様に体感していただけるよう務めます。</p> <p>新しいメンバーの入職もあり、看護師間での活気的な意見交換も一層増え、利用者ケアに反映することもできてきました。看護業務のスマート化は現在も進行中であり、これを継続しながら、6年度も引き続き緊張感を持って専門職としての役割を果たしていきます。</p>

令和5年度《食事会議開催内容》

会議名	開催月	開催日	【食事会議】 内容の概要
食事会議	4月	14日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ「蒸しパン」 ・令和5年度非常食入れ替え一覧表 ・感染症報告
	5月	11日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・異物混入について ・害虫駆除について ・異物混入について ・感染症報告
	6月	15日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ「クリームあんみつ」 ・好日苑まつりの内容確認 ・感染症報告
	7月	20日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ(特養) 「クリームあんみつ」 ・好日苑まつりの内容確認 ・感染症報告
	8月	17日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・異物混入について ・わくわく手作りおやつ(特養含む) 「クリームあんみつ」 ・厨房床改修工事について ・好日苑まつりの内容最終確認 ・感染症報告
	9月	17日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・厨房床改修工事報告 ・防災訓練について ・感染症報告
	10月	19日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・わくわく手作りおやつ(特養含む) 「フレンチトースト」 ・感染症報告
	11月	16日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・食材大きさについて(食事形態別) ・わくわく手作りおやつ(特養) 「フレンチトースト」 ・感染症報告
	12月	21日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程確認 ・わくわく手作りおやつ(デイ) 「クロカンブッシュ」 ・わくわく手作りおやつ(特養) 「フレンチトースト」 ・お正月の食事について ・感染症報告
	1月	17日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・正月三が日の振り返り ・来年度のイベント内容案 ・感染症報告
	2月	15日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・感染症報告
	3月	21日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者会議報告(利用者の声) ・イベント食日程、内容確認 ・提供違いについて ・わくわく手作りおやつ「おはぎ」 ・クックチル導入に向けて ・感染症報告

参加者
特養課長・在宅課長 本館主任・新館主任・在宅主任 ・管理栄養士 委託事業者マネージャー 委託事業所好日苑所長
会議レジュメ
1. 前回の議事確認と進行状況確認 2. 前月の食事関係報告と検討事項 3. 今月・来月以降の検討課題の整理 4. 委託事業所より意見・要望等

今年度を振り返って
感染症においては施設療養という形で食事に関しても再開や内容、ディスプレイ食器の使用など、厨房も含め多職種で情報共有しながら進めました。また皆様が楽しみにされている【握り寿司】においても、感染症対策しながら職人さんが来苑しての開催を委託業者の協力のもと、開催することができました。目の前で握って頂くことで普段とは違う雰囲気での食事、人気のお寿司ということもありとても楽しんで召し上がって頂くことができました。また日々のメニューに関してもマンネリ化しないように新しいメニューを入れながら少しずつ変化させてます。今後も食を通じて喜んで頂ける食事を提供することができるように、給食委託業者と協力して行きたいと思っております。

令和5年度《リスク管理委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【リスク管理委員会】 内容の概要
リスク管理委員会	4月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 各フロアー状況共有 令和4年度事業計画説明
	5月	11日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの B-(緊急性は大きいけど仕方がない)事故について
	6月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 医務 オンコールについて
	7月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの コロナ発症での振り返り(パート①)
	8月	5日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 感染症対応中の課題
	9月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 第三者評価説明
	10月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 事故報告書の書き方
	11月	8日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 「アクティブ福祉'22」「PHP 5S」動画
	12月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 「虐待の芽チェックリスト」結果報告
	1月	11日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの コロナ対応について
	2月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 新型コロナBCPの机上訓練(研修)
	3月	7日	前月の事故報告状況(統計) 前月事故報告書からみるA+ ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの 第三者評価結果報告

参加者
施設長・特養課長 本館介護係長・新館介護係長 本館CM・新館CM 看護係長・新館主任・本館主任
会議レジュメ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の議事確認と進行状況 2. 先月の事故報告状況(統計) 3. 先月の事故報告書からみるA+ 4. ヒヤリ・はっと及び事故報告から見えるもの (気になる事故等) 5. その他

今年度を振り返って
利用者様のリスク回避は日々の安全対策の視点だけではなく、感染予防も重要であることをコロナウイルスを通じて感じる事ができた1年でした。日々の事故予防力を上げるとともに、きちんと振り返りをし、学んだことを無駄にしない取り組みを来期も継続していきたいと思います。

令和5年度《次世代介護実践チーム(NGCT)開催内容》

会議名	開催月	開催日	【次世代介護ケアチーム】 内容の概要
次世代介護実践チーム(NGCT)	4月	25日	・メンバー紹介 ・5年度目標共有 ・事業計画説明 ・次世代機器活用状況
	5月	23日	・5年度具体的取組内容共有 ・次世代介護機器活用状況 ・腰痛アンケート配布 ・ラジオ体操開始に向けて
	6月	27日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操状況報告 ・腰痛アンケートについて ・HUG使用方法をマスターしよう
	7月	25日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操状況報告 ・腰痛アンケートについて ・ボディメカニクスをマスターしよう
	8月	22日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操状況報告 ・次世代介護機器マエストロを目指そう ・ポジショニングをマスターしよう ・サラフレックスお試し使用
	9月	19日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操状況報告 ・次世代介護機器マエストロを目指そう ・各階ポジショニング見直し ・入浴時のトランスファーの基本を学ぶ
	10月	24日	・次世代介護機器活用状況 ・ラジオ体操状況報告 ・次世代介護機器マエストロを目指そう ・各階ポジショニング事例発表
	11月	28日	・次世代介護機器活用状況 ・次世代介護機器マエストロを目指そう ・リフティピーヴォ、タタミピーヴォ(入浴用)を知る ・レンタル車椅子開始に向けて ・入浴介助椅子活用の検討
	12月	27日	・次世代介護機器活用状況 ・次世代介護機器マエストロを目指そう ・サスケ活用方法を学ぶ ・レンタル車椅子活用マニュアル共有
	1月	23日	・次世代介護機器活用状況 ・次世代介護ケアテスト ・次世代介護機器マエストロを目指そう ・動画撮影担当振り分け ・NGCT内部研修へ向けて
	2月	27日	・次世代介護機器使用動画撮影 ・移乗機器洗濯用フローチャート ・NGCT内部研修報告
	3月	26日	・今年度の振り返り ・メンバーから一言

参加者
介護係長・理学療法士・新館主任(1名)・本館主任(1名)・各階介護職員(6名)・看護師

会議レジュメ

1, 各階進捗状況 2, ノーリフティングケアの浸透についての検討課題
--

今年度を振り返って

令和5年度は、「次世代介護実践チーム」と名称を変え、ノーリフティングケアのポリシーのもと機能訓練指導員を中心として、次世代介護機器の浸透を目指しました。特に移乗用機器(HUG、SASUKE、サラフレックス)を各階で稼働させることができました。今まで違和感があった介護機器が、生活空間の中で「日常」に変化しました。また腰痛予防を目的として、職員のラジオ体操を開始しました。職員腰痛アンケート結果からも一定の効果を得ることができました。また1月からは、レンタル車椅子の導入をすることで、常に不具合がなく適正な車椅子を使用していただけようになりました。また年間を通して、介護機器だけでなく、基本の介護(ボディメカニクスやポジショニング等)を学びました。そして次世代介護が浸透していく中で、浴室での次世代介護が新たな課題として挙がってきました。次年度は、次世代介護が日常になってきたなか、更なる生産性の向上を目指していきます。

令和5年度《認知症ケア検討会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【認知症ケア委員会】 内容の概要
認知症ケア検討会	5月	10日	今年度の認知症検討会の内容、目的共有 計画書作成
	7月	7日	各階進捗状況確認
	11月	18日	各階進捗状況確認
	10月	15日	各階進捗状況確認
	1月	11日	各階進捗状況確認
	3月	7日	N1グランプリ(研究発表会)

参加者
認知症介護実践者研修及びリーダー研修 受講者
会議レジュメ
1. 勉強会資料
今年度を振り返って
令和5年度は東京都認知症介護実践者研修及び リーダー研修受講を終了した職員が先頭に 立って研修で学んだ事を活かしながらフロア一全 体で認知症支援を実践してきました。 専門性 のある支援を行う事で根拠が理解できたり、デー タを取る事で結果が見えやすくなったりと支援の 質を上げることができました。 年度の最後には1 年間取り組んできた事を「N1グランプリ」と称して 発表し審査員による採点方式で優勝者を決定、 アクティブ福祉IN東京へチャレンジできる権利を 頂きました。 各階での取り組みを発表する場を 作る事や目標を持つことでやる気にも繋がり、好 日苑全体でのチームワーク向上にも繋がりました。

令和5年度「身体的拘束適正化に伴う委員会開催内容」

会議名	開催月	開催日	【身体拘束廃止委員会】 内容の概要
身体的拘束適正化委員会	4月	21日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・新人BS研修予定
	5月	19日	・前月の身体拘束者確認(特養1名) ・6月の新人BS研修予定
	6月	23日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・新人BS研修報告 ・「虐待の芽チェックシート」実施に向けて
	7月	21日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・大田区実地指導報告
	8月	25日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・今月の「虐待防止研修」予定確認
	9月	15日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・「虐待防止研修」報告
	10月	13日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・「認知症の方への服薬」の考え方の共有
	11月	17日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・感染症発生時の振り返り
	12月	15日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・今月の内部研修予定
	1月	20日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・先月の研修報告 ・感染症対応による不適切ケア予防への確認
	2月	22日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・感染症対策中におけるストレスマネジメントの必要性について
	3月	15日	・前月の身体拘束者確認(特養0名) ・隔離対応時の行動制限への意識

参加者
施設長・特養課長・在宅課長・看護係長・ 本館CM・新館CM・本館介護係長・新館介 護係長・理学療法士

会議レジュメ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の議事確認・経過報告等 「拘束の種類」「現在の状況」 「今後の方向性」 2. その他

今年度を振り返って
<p>令和5年度は4月に自傷行為から咬傷受傷されたご入居者に対して、治癒までの約2週間拘束を行った方がいらっしゃいました。「一時的」での拘束開始となりましたが、各職種でしっかりと目的と解除に向けての考え方を共有できた事で、速やかな解除に繋がったと考えます。</p> <p>また、令和5年度も感染症に追われた一年間でした。新型コロナが5類に移行したことで、施設内で療養される方が増えて、「行動の制限」を強いられる状況もありましたが不適切なケアの考え方も浸透しており、拘束実施に至ることはありませんでした。引き続き定期的な研修の実施を行い、職員の意識の向上を図ってきたいと思います。</p>

令和5年度「虐待防止委員会開催内容」

会議名	開催月	開催日	【虐待防止委員会】 内容の概要
虐待防止委員会	4月	15日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ)
	5月	20日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 新人BS研修について
	6月	17日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 新人BS研修報告 「虐待の芽チェックシート」実施に向けて
	7月	15日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 大田区実地指導報告
	8月	26日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 虐待防止研修について
	9月	16日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 虐待防止研修報告
	10月	21日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 「認知症の方への服薬」の考え方の共有
	11月	18日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 虐待の芽チェックシートについて
	12月	18日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 虐待の芽チェックシート評価結果
	1月	20日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) ・感染症対応による不適切ケア予防への確認
	2月	17日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 感染症対策中におけるストレスマネジメントの必要性について
	3月	17日	不適切ケアについての共有 (特養・SS・デイ) 隔離対応時の行動制限への意識

参加者
施設長・特養課長・在宅課長・看護係長・ 本館CM・新館CM・本館介護係長・新館介 護係長

会議レジュメ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の議事確認 2. 不適切ケアについて 3. その他

今年度を振り返って
<p>令和5年度は虐待防止委員会にて、日々の業務に潜む「不適切ケア」を事前に他職種にて検討し、フィードバックしていく事で、各職員が自身のケアの点検を行い、「不適切なケア」から「虐待」に至らないよう小さな芽を摘む取り組みを行ってまいりました。この委員会の取り組みにより、会議や研修等で「不適切ケア」について考える機会が増えたと感じています。また10月に「虐待の芽チェックシート」を活用したアンケート結果を分析し、そこから見えてきた傾向と対策をリスク管理委員会等を通じて現場にフィードバックする事が出来ました。</p>

令和5年度《本館・新館合同排泄委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【本館・新館 排泄委員会】 内容の概要
本館・新館合同排泄委員会	4月	18日	・事業計画の説明 ・H社製品の説明 配布。 →メール内 評価
	6月	15日	・スマート化に関して（業者との連携方法について） 今後、好日苑が望む業者連携を検討してく ・A社お試し
	8月	17日	・委員長変更 ・A社使用状況 評価 ・排泄本 スマート化開始
	10月	19日	・U社お試し ・排泄本 スマート化検討 ・テナー取り組み説明
	12月	21日	・U社お試し評価 ・テナー取り組み 状況確認 ・排泄本 スマート化 ・他社製品お試し、テナー取り組みの総合評価
	3月	28日	・製品評価 ・振り返り、来期に向けて

参加者
本館4階：1名(委員長) 本館2階、3階：各1名 新館1階、2階、3階：各1名
会議レジュメ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の議事確認と進行状況確認 2. 排泄物品検討 3. 視点共有 4. その他
今年度を振り返って
<p>令和4年度に引き続き、製品について検討をしてきた一年でした。他社製品を試してみた結果、どの製品も良さがあつたが、特出して良いという製品はなかった。</p> <p>現在使用している道具の良さを活かしていないことにも気づけた。</p> <p>結局は道具の使いよう。何を使うかよりも、どう使うかが大事ということにたどりついた。</p> <p>「基本を確実に」を目指すため原点に戻り、快適な排泄ケアに取り組んでいきます。</p>

令和5年度「褥瘡予防委員会開催内容」

会議名	開催月	開催日	【褥瘡予防委員会】 内容の概要
褥瘡 予 防 委 員 会	4月	24日	褥創発生者4名、発症者状況報告 マットレス2タイプ購入について 褥瘡ミーティング（褥瘡会議前のミーティング） について 創部洗浄のポイント
	5月	22日	褥創発生者0名、発症者状況報告 ポジショニング・シーティングについて ジェルクッション（ハンドメイド）の活用周知
	6月	15日	褥創発生者2名、発症者状況報告 マットレス選択のポイント
	7月	24日	褥創発生者2名、発症者状況報告 亜鉛化軟膏除去のポイント共有 複数軟膏による重層塗付のポイント共有
	8月	30日	褥創発生者0名、発症者状況報告 マットレス評価 ジェルクッション（ハンドメイド）評価
	9月	19日	褥創発生者4名、発症者状況報告 浮腫対策（靴下選択のポイント） ギャジアップ手順の共有
	10月	16日	褥創発生者1名、発症者状況報告 褥瘡ミーティング評価
	11月	22日	褥創発生者0名、発症者状況報告 褥瘡発症者減の要因について
	12月	15日	褥創発生者0名、発症者状況報告 褥瘡悪化予防策共有
	1月	31日	褥創発生者7名、発症者状況報告 軟膏選択のポイント PTとの連携強化
	2月	19日	褥創発生者0名、発症者状況報告 皮膚トラブル予防策
	3月	27日	褥創発生者1名、発症者状況報告 栄養と皮膚状態との関連について

参加者
施設長・特養課長 看護主任・本館主任 新館主任・本館CM・新館CM 管理栄養士・看護職員

会議レジュメ
<ol style="list-style-type: none"> 1. 関係通知確認 2. 褥瘡（疑い含む）発生状況確認 3. 予防対策 4. その他検討事項

今年度を振り返って
<p>4年度に導入した褥瘡往診対象者2名は、治癒には至らないものの改善著しく一旦往診介入が終了となり、その後も悪化なく経過しています。これまでの受診や往診での経験がケアに活かされ、看護師間での意見交換から対応変更までの時間も短縮され、利用者ケアに反映できていると考えます。また、褥瘡会議の活性化を目的に、事前に褥瘡ミーティングを行い状態共有することで、早期の処置内容の変更やケアの見直しに繋がり、結果、会議の進行も円滑になり、効果的な意見交換・情報共有の場に繋がっています。</p> <p>6年度も多職種で参加する意義を有効に活かし、専門職目線での意見交換ができる会議を目指します。</p>

令和5年度《感染症対策委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【感染症対策委員会】 内容の概要
感染症対策委員会	4月	28日	感染症関連通知等7件確認 感染症等発症状況確認 特養利用者・職員新型コロナワクチン接種
	5月	26日	感染症関連通知等8件確認 感染症等発症状況確認 類型変更に伴う法人イベントの再開について
	6月	30日	感染症関連通知等6件確認 感染症等発症状況確認 ハイポライト原液濃度変更検討
	7月	28日	感染症関連通知等7件確認 感染症等発症状況確認 入浴中のフェイスシールドの使用について
	8月	25日	感染症関連通知等1件確認 感染症等発症状況確認 ハイポライト原液濃度変更決定（M6）
	9月	29日	感染症関連通知等5件確認 感染症等発症状況確認 東京都高齢者施設向け感染症対策リーダー研修申し込み（4名）
	10月	27日	感染症関連通知等1件確認 感染症等発症状況確認 東京都高齢者施設向け感染症対策リーダー研修受講（4名）
	11月	24日	感染症関連通知等1件確認 感染症等発症状況確認 特養利用者新型コロナ・インフルエンザワクチン同時接種について
	12月	28日	感染症関連通知等1件確認 感染症等発症状況確認 特養利用者新型コロナ・インフルエンザワクチン同時接種事故報告
	1月	26日	感染症関連通知等3件確認 感染症等発症状況確認 適正な消毒液の使用について
	3月	1日	感染症関連通知等1件確認 感染症等発症状況確認 大田区感染対策課実地調査指導内容報告 感染症マニュアルの適宜更新について
	3月	29日	感染症関連通知等6件確認 感染症等発症状況確認 大田区感染対策課実地調査指導後の経過確認 6年度感染症対策委員会体制について

参加者
施設長・事務長 特養課長・地域課長・在宅課長 看護係長・管理栄養士 デイ係長・本新館係長・本新館CM
会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 感染症（疑）発生状況確認 3. その他検討事項 4. 施設長から
今年度を振り返って
5年度後半は新型コロナ感染症・インフルエンザウイルス・ノロウイルスの発症があり、2月には大田区感染対策課による実地調査・指導を受けました。その指導内容をもとに対策を講じ、感染対応がスムーズにできるよう感染症マニュアルの適時更新に努めて参ります。
前年度に引き続き新型コロナ感染症に対する感染状況の把握を中心に、響会として地域にどのような貢献が出来るか、施設内感染を発症を防ぎながら、面会制限緩和についての考え方を東京都や大田区の感染状況を踏まえながら検討していきました。6年度から新型コロナ感染症に関しては、医療体制も通常の対応となります。感染を予防し感染状況を確認しながら、通常の対応の実現ができるよう、今後も感染症対策委員会を中心に情報共有を図り、感染症蔓延防止に努めて参ります。

令和5年度《吸引等安全対策委員会開催内容》

会議名	開催月	開催日	【感染症対策委員会】 内容の概要
吸引等安全対策委員会	6月	23日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 事故報告の確認 医行為に関する書面整理状況
	9月	22日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 事故報告の確認 医行為に関する書面整理状況
	12月	22日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 事故報告の確認 医行為に関する書面整理状況
	3月	22日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度東京都介護職員等によりたんの吸引等の実施のための研修(不特定多数の者対象)SD確認。 事故報告の確認 医行為に関する書面整理状況

参加者
施設長・特養課長 看護係長・ 本館介護係長・新館介護係長 本館CM・新館CM
会議レジュメ
1. 関係通知確認 2. 吸引等に関する安全対策課題等 3. その他検討事項 4. 施設長から
今年度を振り返って
令和5年度の事故報告は年間を通して2件でした。予防策により事故を未然に防ぐことができました。 医行為研修に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実地研修のみの受講として年間2～3名の介護職員等によるたんの吸引研修を受講できるよう調整を行いました。来年度も引き続き受講を予定していきます。

Ⅸ 活動計画

令和5年度≪【本館】年間行事・レクリエーション≫

開催月	場 所	内 容
4月	稲荷坂公園	お花見 近くの公園で桜を楽しみました。
5月	各階食堂	端午の節句 男性利用者中心に、玄関の鯉のぼりを鑑賞、外気浴も楽しみました。
	本館4階	カーネーション作り 母の日にちなんで、カーネーション作りをしました。
6月	玄関	紫陽花鑑賞 正面玄関に咲いてる紫陽花に水をやり、鑑賞しました。
	本館3階	手作りゼリー 果物も添えて、色鮮やかなゼリーを作りました。
7月	本館2階	おしゃれイベント メイク、ネイルをして記念写真を撮りました。
8月	3F吹抜け	好日苑まつり 「テーマ：笑」職員出し物、雪谷太鼓、手品ショーなどを楽しみました。
	各階食堂	すいか割り 各階で、すいか割りをして、みんなでいただきました。
	本館2階	うちわ作り うちわを作成し、涼を演出しました。
9月	3F吹抜け	スナックイベント アルコール、ノンアルそれぞれ楽しみました。
	3F吹抜け	太鼓遊び 太鼓を用意して、自由に叩いてもらいました。
10月	ダイルーム	秋の大運動会 玉入れ、パン食い競争、応援合戦など行い、盛り上がりました。
11月	3F廊下	個展 塗り絵等の作品を飾り、美術館風にして、芸術の秋を感じました。
12月	本館2階	クリスマス会 飾り付けで雰囲気作り、ケーキを楽しみました。
	本館3階	忘年会 出前を頼み、一年間の出来事を振り返りました。
1月	各階食堂 3階吹き抜け	新年会 絵馬を書いたり、好日苑神社でお参りをしたり、お正月気分を味わいました。
	4階食堂	書初め 新たな気持ちで書初めを行いました。
2月	本館2階	節分 職員が鬼となり、豆まきを行いました。
	玄関	雪だるま 雪が降ったので小さな雪だるまを作りました。

毎月、第2日曜日を誕生日会の日と設定し、おやつにはショートケーキがです。
誕生日の方のご希望に添えるようなお祝いを担当職員が企画して、お誕生日お祝いしております。

令和5年度《【新館】年間行事・レクリエーション》

開催月	場 所	内 容
4月	ベランダ	「お花見」 各階にて数名ずつ、ベランダに出て桜見学されそれぞれ桜を味わいました。桜色のデザートも楽しんでいただきました。
5月	玄関	「端午の節句」 玄関の鯉のぼりとともに、記念写真をとりました。
	リビング	「母の日」 日頃の感謝を込めて、ささやかではありましたが、いつもと違ったごはんを作りました。
6月	玄関	「あじさい見学」 今年も玄関前のあじさいがきれいに咲きました。
7月	各フロアー	「七タイイベント」 短冊に願いを込めました。
	リビング	「ラーメン屋」 利用者様のご要望を受け、ユニットで1日限りのラーメン屋をオープン
8月	ベランダ	「足湯(冷や)」 夏の暑さを楽しみました。
	ユニット	「パフェ」 いつもよりも豪華なおやつの時間になりました。 「野球観戦」 高校野球を枝豆を食べながら応援。
	好日苑祭り	「好日苑祭り」 今年のご家族様もお呼びすることができました。
9月	敬老会	「本・新館合同敬老会」 日々の感謝を伝える場にさせていただきました。
10月	フロアー	「ハロウィン」 いつもとちょっと違ったおやつや食事を楽しみました。
11月	ベランダ	「外気浴」 気候も良い中で、ベランダに出て外気浴を行いました。
12月	各フロア	「クリスマス会&忘年会」 クリスマスツリーへの飾りつけを行い、皆でケーキを食べました。ピザなど普段食べることがないものを注文し、1年の締めくくりをみなさんで楽しみました。
1月	各フロア	「新年会」 職員からの年賀状が届きました。1年の願いを絵馬に書きました。
2月	各階フロア	「節分」 鬼めがけ、おもいっきり豆を投げました。
	玄関	「外気浴」 暖かい日に外に出て季節を感じました。
3月	ベランダ	「お花見」 桜の開花が遅く、各階でベランダに出て桜の蕾を見ました。

毎月、第2日曜日を誕生日会の日と設定し、おやつにはお誕生日ケーキがです。
誕生月の方のご希望に添えるようなお祝いを担当職員が企画して、お誕生日お祝いをしております。
特に節目の白寿、百寿などには、ユニットみなさんでおめでとを伝えていきます。

令和5年度《本館クラブ活動実績》

今年度を振り返って	
<p>R5年度は「彩活動クラブ」も3年目となり、継続して日常生活に彩を与えられることを目的として、季節を感じたり、自然を感じられる余暇活動を行うよう努めました。また内容に応じて、本館全体で取り組んだり、各階にて取り組んだりしてきました。（季節レク、おしゃれイベント、運動会、個展など）活動を通してやりがいを感じ、自立支援への意欲向上へ繋げることができました。次年度も、利用者様の生活に彩をあたえられるよう工夫をし、またすきま時間の有効活用も図っていきたいと考えています。</p>	

令和5年度《新館クラブ活動実績》

今年度を振り返って	
<p>イベント的に行っていたラジオ体操も毎朝の日課になるなど、活動が日常になっていきました。また、書道が得意な利用者様を中心に、書道の時間ができたり、カードゲームの時間ができたりなど、利用者様がやりたいと思ったことを実践できる環境作りを意識してきた1年になりました。</p>	

令和5年度《【本館】理髪実績》

実施日	場 所
4月	7日 3階吹き抜け
	11日 2. 4階団らんコーナー
5月	5日 3階吹き抜け
	16日 2. 4階団らんコーナー
6月	2日 3階吹き抜け
	13日 2. 4階団らんコーナー
7月	7日 3階吹き抜け
	11日 2. 4階団らんコーナー
8月	4日 2. 4階団らんコーナー
	8日 2. 4階団らんコーナー
9月	1日 3階吹き抜け
	12日 2. 4階団らんコーナー
10月	6日 3階吹き抜け
	10日 2. 4階団らんコーナー
11月	3日 3階吹き抜け
	14日 2. 4階団らんコーナー
12月	1日 3階吹き抜け
	12日 2. 4階団らんコーナー
1月	5日 3階吹き抜け
	9日 2. 4階団らんコーナー
2月	2日 3階吹き抜け
	13日 2. 4階団らんコーナー
3月	1日 3階吹き抜け
	12日 2. 4階団らんコーナー

令和5年度《【新館】理髪実績》

実施日	場 所
4月11日	各階セミパブリックスペース
5月16日	各階セミパブリックスペース
6月13日	各階セミパブリックスペース
7月11日	各階セミパブリックスペース
8月8日	各階セミパブリックスペース
9月12日	各階セミパブリックスペース
10月10日	各階セミパブリックスペース
11月14日	各階セミパブリックスペース
12月12日	各階セミパブリックスペース
12月12日	各階セミパブリックスペース
1月16日	各階セミパブリックスペース
2月13日	各階セミパブリックスペース
3月12日	各階セミパブリックスペース

令和5年度 家族会開催報告

新型コロナウイルスの5類への移行を受けて、令和5年5月28日（日）に新館での家族会を開催。11月19日（日）には本館で初の家族会を開催しました。感染対策を講じながらの開催となりましたので、1家族1名のみでの参加と制限のある開催となりましたが、新館では11名のご家族様が参加。本館でも8名のご家族様が参加して下さいました。新型コロナウイルス感染症にて面会も制限がかかっており、施設での取り組みを知って頂く機会がなかった為、家族会では事業計画説明や日々の活動報告、次世代介護機器の体験会等で、好日苑の取り組みをご理解いただく良い機会となりました。



令和5年度予約制面会実施報告

令和5年度は5月に新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、感染対策を講じながら6月より予約制面会の面会頻度を月1回程度から週1回程度に軽減をさせて頂きました。その結果、年間を通じて延べ1834件の予約をお受けすることが出来ました。月の平均でみると毎月153件ほどの予約を受け付けたこととなります。

令和5年度【予約制面会 面会回数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館2階	17	14	17	21	24	20	24	19	25	26	12	26	245
本館3階	20	31	32	34	31	33	38	42	51	47	9	50	418
本館4階	17	35	29	26	30	31	30	29	41	35	19	29	351
新館1階	8	7	8	11	11	11	15	12	13	15	24	24	159
新館2階	20	23	34	29	20	32	37	38	45	34	18	40	370
新館3階	16	16	21	24	24	40	31	26	30	23	14	26	291
	98	126	141	145	140	167	175	166	205	180	96	195	1834

令和5年度 自衛消防訓練審査会・響会 大規模防災訓練

田園調布消防署主催の集合型自衛消防訓練が令和5年9月6日（水）に開催されました。本館・新館から1名ずつの職員が訓練に参加し、消火訓練、放水体験、通報訓練を実施しました。また9月24日（日）には、響会全体で大規模防災訓練を実施し、万が一の大災害に備えて震災発生時の初動動作確認から、震災後3日間の行動訓練を行いました。今後は夜間の震災時の対応等も視野に訓練を実施していきたいと考えています。

大規模防災訓練開始アナウンス



各フロアにて職員の安否確認を実施



本部へ安否確認及び被害状況報告



設備関係の被害状況確認作業



震災発生後の水・食料の確認作業

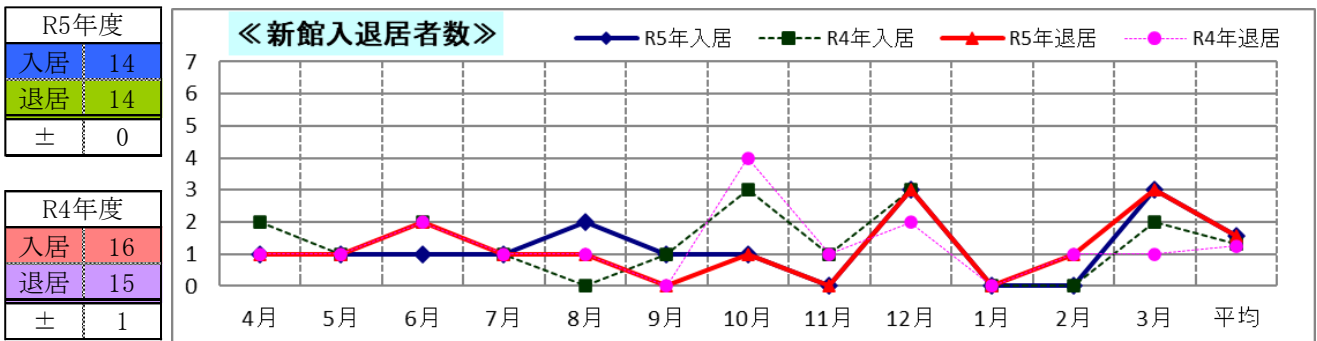
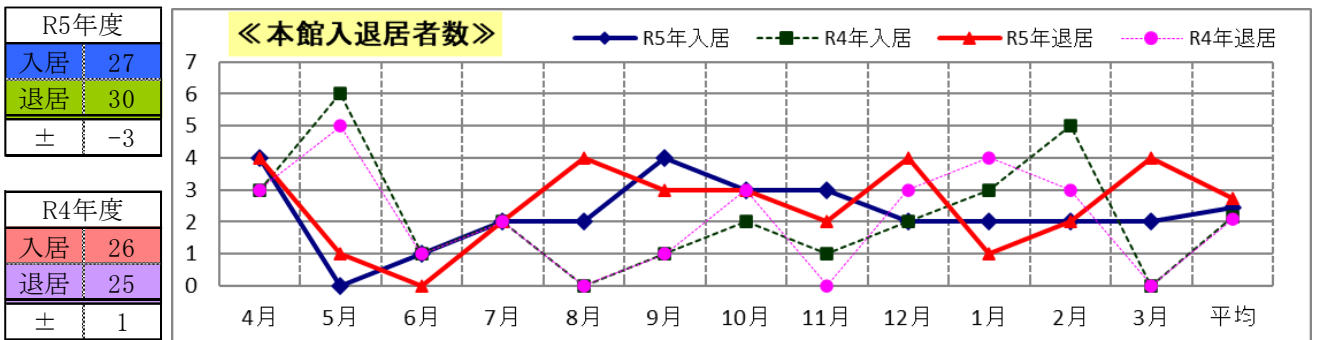
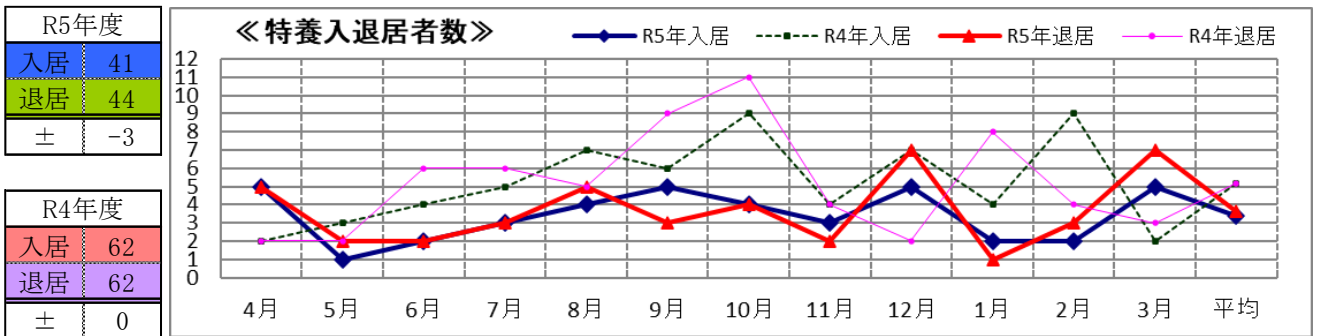


給水タンクの操作方法確認



◆ 令和5年度 特養入退居者状況

年度当初	本館			新館			合計			入居前					退居後			
	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	入居	退居	在籍	自宅	老健	病院療養	有料H 宿泊 ₁	GH 経費 小多機	病院 逝去	苑内 逝去	看取 介護	病院 療養
—	—	—	88	—	—	49	—	—	137									
4月	4	4	88	1	1	49	5	5	137	1	1		2			2	2	
5月	0	1	87	1	1	49	1	2	136		1						2	
6月	1	0	88	1	2	48	2	2	136	1		1					2	
7月	2	2	88	1	1	48	3	3	136	2	1						3	
8月	2	4	86	2	1	49	4	5	135	2	2					2	3	
9月	4	3	87	1	0	50	5	3	137	4	1						3	
10月	3	3	87	1	1	50	4	4	137	1	1	1	1		1	1	2	
11月	3	2	88	0	0	50	3	2	138			1		2	1		1	
12月	2	4	86	3	3	50	5	7	136	1			2		1		4	
1月	2	1	87	0	0	50	2	1	137	1	1						1	
2月	2	2	87	0	1	49	2	3	136		1			1		1	2	
3月	2	4	85	3	3	49	5	7	134			2	2	1	1		6	
合計	27	30		14	14		41	44		13	9	5	7	4	4	6	31	0



◆ 特別養護老人ホーム好日苑 利用状況

令和6年3月31日 現在

【年齢】

	本館	新館	合計
最高齢	100	101	
100以上	4	2	6
90以上	29	20	49
85以上	27	9	36
80以上	13	10	23
75以上	6	4	10
70以上	4	1	5
65以上	1	2	3
64以下	1	1	2
最年少	57	58	134
平均	87.1	86.5	86.9

百寿(100)	4	1	5
白寿(99)	1	3	4
米寿(88)	6	2	8
喜寿(77)	0	1	1
古希(70)	0	1	1

【性別】

	本館	新館	合計	%
男性	12	10	22	16%
女性	73	39	112	84%
合計	85	49	134	

【階層】

	本館	新館	合計	%
1	10	0	10	7%
2	10	4	14	10%
3①	11	2	13	10%
3②	11	8	19	14%
4	43	35	78	58%
合計	85	49	134	

補足給付率 36.5% 12.2% 41.8%

【負担割合】

	本館	新館	合計	%
0%	9	0	9	7%
10%	73	43	116	87%
20%	0	6	6	4%
30%	3	0	3	2%
合計	85	49	134	100.0%

【認知症高齢者自立度】

	本館	新館	合計	認知Ⅲ1/3以上
無	2	2	4	81
I	3	5	8	
Ⅱa	8	6	14	
Ⅱb	13	14	27	
Ⅲa	23	11	34	
Ⅲb	17	5	22	
Ⅳ	11	3	14	
M	8	3	11	
合計	85	49	134	

【要介護度】

	本館	新館	合計
要支援	0	0	0
介護度1	5	2	7
介護度2	6	2	8
介護度3	19	13	32
介護度4	34	21	55
介護度5	21	11	32
合計	85	49	134
平均	3.71	3.76	3.72
要介護4.5率	64.7%	65.3%	64.9%

【在籍期間】

	本館	新館	合計
1ヶ月未満	2	3	5
1年未満	21	7	28
2年未満	22	12	34
3年未満	8	7	15
4年未満	9	8	17
5年未満	13	3	16
6年未満	3	1	4
7年未満	1	5	6
8年未満	0	1	1
9年未満	4	0	4
10年未満	0	1	1
11年未満	0	0	0
12年未満	0	0	0
13年未満	1	1	2
14年未満	0	0	0
15年未満	0	0	0
16年未満	0	0	0
17年未満	0	0	0
18年未満	0	0	0
19年未満	0	0	0
20年未満	1	0	1
21年未満	0	0	0
22年未満	0	0	0
23年未満	0	0	0
24年未満	0	0	0
25年未満	0	0	0
26年未満	0	0	0
合計	85	49	134
平均	2.8年	3.0年	2.9年
	34ヵ月	36ヵ月	34ヵ月

◆ 令和5年度 東京都福祉サービス第三者評価結果

令和5年度 東京都第三者評価事業【好日苑】評価結果「概要版」

＜評価機関＞

一般社団法人

特養ホームマネジメント研究所

「とうきょう福祉ナビゲーション」

<http://www.fukunavi.or.jp>

	アンケート	聞き取り
調査対象者数		22
有効回答者数		22
総数に対する回答者割合		100%

＜利用者調査結果＞

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 施設における食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	82%	18	3	1	0
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	86%	19	3	0	0
3. 施設の生活はくつろげるか	82%	18	2	2	0
4. 職員は日常的に、健康状態を気にかけているか	95%	21	1	0	0
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	100%	22	0	0	0
6. 職員の接遇・態度は適切か	91%	20	2	0	0
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	95%	21	1	0	0
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	82%	18	4	0	0
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	82%	18	3	0	1
10. 利用者のプライバシーは守られているか	100%	22	0	0	0
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	32%	7	2	0	13
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	18%	4	6	0	9
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	77%	17	4	0	1
14. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談が出来ることを伝えられているか	32%	7	0	12	3

＜総合的な感想について＞

(1) 施設はあなたにとって、良いところだと思いますか	大変満足	23.0%	73.0%
	満足	50.0%	
	どちらともいえない	27.0%	
	不満	0.0%	
	大変不満	0.0%	
	無回答	0.0%	
	計	100.0%	

＜利用者調査全体の評価機関のコメント＞

・事業所のサービスに対する総合的な満足度は、大変満足又は満足を合計した肯定的回答数は、22名中16名でした。その他、どちらともいえない6名でした。

・事業所への意見として「皆さん気さくに話をしてくれる」「ここを家のように思っています」「ここへ来て良かったです。色々な所へ行ったけど、ここが一番です」「何にも不満ないです。自分のペースで暮らせます」「しつこくない。何かの時には、親切に対応してくれています」「満足にいらっていて、ありがたい対応してもらっている」等がありました。

＜評価機関＞

一般社団法人

特養ホームマネジメント研究所

「とうきょう福祉ナビゲーション」

http://www.fukunavi.or.jp

	アンケート	聞き取り
調査対象者数	137	
有効回答者数	50	
総数に対する回答者割合	36%	

＜ご家族調査結果＞

共通評価項目	実数				
	「はい」%	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答非該当
1. 施設における食事の献立や食事介助など食事に満足しているか	68%	34	11	3	2
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	80%	40	10	0	0
3. 施設の生活はくつろげるか	34%	17	17	10	6
4. 職員は日常的に、健康状態を気にしているか	80%	40	9	0	1
5. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	78%	39	8	3	0
6. 職員の接遇・態度は適切か	92%	46	3	1	0
7. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	86%	43	6	0	1
8. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	44%	22	18	1	9
9. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	82%	41	9	0	0
10. 利用者のプライバシーは守られているか	72%	36	11	0	3
11. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	82%	41	9	0	0
12. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	80%	40	10	0	0
13. 利用者の不満や要望は対応されているか	72%	36	9	1	4
14. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談が出来ることを伝えられているか	54%	27	17	0	6

＜総合的な感想について＞

(1) 施設はあなたにとって、良いところだと思いますか	大変満足	15.0%	73.0%
	満足	58.0%	
	どちらともいえない	10.0%	
	不満	0.0%	
	大変不満	0.0%	
	無回答	2.0%	
	計	85.0%	

＜利用者調査全体の評価機関のコメント＞

・総合的な事業所に対する評価は「大変満足」「満足」と回答した方は73%でした。
 ・個々の設問については、14設問中7設問で「はい」と回答した方が80%以上と満足度が示されています。
 ・日頃感じている施設に対する意見・要望などの自由回答では、14名の方がコメントを寄せており、「これまでもひとり一人に親切に対応して頂いておりますが、これからも信頼される特養になっていただければと思います。」などの声が寄せられています。

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	1-1-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している
タイトル①	係長・主任・副主任層による事業運営体制の構築に力を入れています	
内容①	係長職層4名が配置されており、それぞれ介護職員の管理、相談員業務、ケアマネジメント業務を統括しています。係長4名は事務所にデスクを設置し、常に情報共有・意見交換できる環境におき、職務分掌を超えて一体的に施設運営の中核を担っています。そのパフォーマンスは、主任や副主任層にも好影響を及ぼし稼働率の向上等の結果として現れており、次世代を担う人材が責任を持って活躍できる職場である事がわかります。中堅層が責任を持って事業運営を担える組織づくりは、力を入れた取り組みとして高く評価できます。	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	6-4-10	利用者の施設での生活が楽しくなるような取り組みを行っている
タイトル②	認知症ケアの質の向上に力を入れています	
内容②	今年度3月に、2回目となる認知症ケア事例発表会＝N-1グランプリ(認知症ケアグランプリ)を開催する予定です。各フロア毎にテーマを掲げ、例えば、帰宅願望のある利用者の支援や対応方法等、1年間の取り組みを発表しています。優勝フロアは、次年度に開催される「アクティブ福祉イン東京」の出場権獲得となっており、各フロアとも優勝を目指して取り組んでいます。全職員の認知症ケアの質の向上に繋がっており、特に力を入れた取り組みとして高く評価できます。	

事業者が特に力を入れている取り組み③

評価項目	6-2-2	サービス開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている
タイトル②	地域の中で「暖かさを感じるケアシステム」の実践に力を入れています	
内容③	地域の中で支援を必要とする利用者が、地域の中で安心して生活できるように貢献する事を基本目標としています。その為に、例えば、在宅部門と施設部門で定期的な会議により情報共有を行い、在宅生活の継続に困難が生じているケースがある場合等、施設入居までの支援について協議しています。緊急的に入居が必要な時は、ショートステイ利用から入居に移行するケースもあります。地域の中で、インテーク・在宅から施設入居・ターミナル期までのトータルケアを意識した体制づくりは、特に力を入れた取り組みとして高く評価できます。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	独自の目標である「次世代介護」に基づき、利用者・職員の双方に優しいケアの実現に努めています
	内容	「次世代介護＝利用者・職員の双方に優しいケア」の実現に力を入れています。昨年度、機能訓練指導員を配置し、改めて個別の移乗方法や機能訓練の見直しに力を入れて取り組んでいます。また、積極的に見守りセンサー付ベッド・自動体交エアマットレス・リフト・移乗ボード・立位支援機器等の福祉用具・介護ロボット等を活用しています。これらの導入・運用にあたっては、事業所内に次世代介護委員会を設置し、多職種協働による導入・運用体制を構築し、組織一丸となつての取り組み体制の整備にも力を入れています。特に良い点として高く評価できます。
2	タイトル	独自の目標である「先手のケア」に基づき、入院期間の抑制等に努めています
	内容	「先手のケア＝先の生活を見越した支援」に力を入れています。多職種が専門的な視点を持って利用者に関わり、日々の変化を素早く察知するように努めています。具体的には、多職種間ミーティングを日々開催し、どのように利用者の状態が変化し、どのような課題が発生しているのか情報を共有し、体調の悪化が予測される際は、早期の受審や施設内で点滴治療を実施する場合があります。多職種で対応方法を検討する仕組みと組織風土が醸成され「先手のケア」が浸透した結果、今年度は入院期間が大幅に減少しました。特に良い点として高く評価できます。
3	タイトル	独自の目標である「Peaceful Care」に基づき、食事を楽んでもらえるような支援に努めています
	内容	「Peaceful Care＝入居されてから退去に至るまで、食べる楽しみをできるだけ長く支援する事」に力を入れています。例えば、摂食状況に課題がある利用者に内視鏡検査を実施し、検査結果をもとに食事形態・介助方法・姿勢等、適切な支援へ見直すようしています。また、胃瘻の利用者が口からの摂食に意欲がありそうな場合も検査を実施し、経口からのおやつ提供に結び付ける事ができた好事例もあります。経口摂取を継続する事や「口から食べたい」という利用者の思いに応える取り組みは、特に良い点として高く評価できます。

さらなる改善が望まれる点	
タイトル	さらなるサービスの質の向上を図る為の仕組みづくりの強化に期待します
内容	Peaceful Care・先手のケア・ノーリフティングケア等、具体的な目標を掲げ、方向性を示しています。方針に沿った取り組みにより、経口摂取の継続や入院者数の減少、移乗時の負担の軽減等、様々な成果が生まれています。一方で、第三者としては、訪問調査時等にティルト型車椅子により上体を起こす利用者のフットレストが外れている事やズボンより下腿部が露出している状況等を見かけており、改めて振り返りの機会が必要と思われます。例えば、定期的にフロア毎に相互評価を実施する等、さらなるサービスの質の向上に期待します。
タイトル	情報伝達ツールの運用方法の再検討が期待されます
内容	現在、記録が多岐に渡り、内容の充実は図られていますが、職員自己評価では、「項目が多く煩雑」「情報過多となっている」「情報整理と簡素化が必要」等、情報の整理・活用に関する意見が複数あがっています。外国籍介護士の雇用も推進している事を踏まえ、利用者支援に必要な情報が、いつでも誰でもスムーズに確認できる事を目安として、改めて、記録の整理について確認・再検討して欲しいと思います。
タイトル	さらなる更衣支援の拡充に期待します
内容	更衣支援は、入浴時や汚れた時に行っている他、希望する利用者に対して起床時や就寝時に支援しています。また、利用者の身体状況に応じて、例えば、拘縮が強い利用者に対し、伸縮性のある衣服を家族に準備して頂く等、苦痛なく着替えられるように細やかな配慮がなされています。一方で、家族へのアンケート調査では、更衣支援に関する要望等が少数ではありますが寄せられています。今後、利用者1人ひとりに対する更衣支援のあり方について再確認・検討を続けて欲しいと思います。

I 好日苑デイサービスセンター

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら事業運営を行いました。1年通して感染症の捉え方が大きく変化した年でした。利用者様も積極的に外に出ていく機会が増え、感染症とともに生活していく流れが定着していく反面、重症化リスクが高い高齢者の方々を迎え入れるデイサービスとしては、引き続き安心して通所して頂けるよう、利用者様・ご家族様のご理解・ご協力の上、マスク着用・検温、手指消毒といった感染症対応を継続し、下半期に入ると、感染症での欠席数も減少し、利用者様も前向きに通所して頂いた事で少しずつデイサービスの運営も向上していきました。その結果、希望曜日、送迎時間・入浴支援等、多岐に渡るご要望に応えられる体制が整い、多くの利用者様を迎え入れる事ができました。

1、『第6次中期経営計画を踏まえた令和5年度事業計画の重点施策』

(6)好日苑デイサービス	
利用者	① さらなる送迎エリア拡大と送迎体制一本化 ② 機能訓練加算算定維持、口腔・栄養関連新規加算取得 ③ Wincare の有効活用(電子記録の共有)
職員	① 多機能型職員配置と短時間介護職員検討 ② 認知症介護実践者研修・認知症介護実践リーダー研修 ③ 認知症ケア関連加算維持・新規算定
経営	① 居宅連携率 50%/年 ≫ デイ稼働率 90.0% (SS 連携含む)

【令和5年度の重点施策に対する評価】

「利用者」

- ① 送迎エリアについては、通所介護事業所が比較的少ない馬込エリアに営業活動を行い、新規獲得と共に主に南馬込ルート開拓。
- ② 個別機能訓練加算算定継続。
※ご利用者様・ご家族様共に選択肢が多くなるようサービスの提供ができました。

「職員」

- ① デイ・ヘルプ兼務職員(多機能型職員)を毎週「週2日」兼務継続。
- ② 認知症介護実践者研修1名受講修了(※認知症ケア関連加算算定に伴う必須配置要件)

「経営」

- ① 居宅連携率は年平均61%と目標達成。年間平均稼働率は78.5%と目標達成に至りませんでした。

2、サービス提供

(1) 利用状況(※年間稼働率 90.0%・登録率 100%)

延べ利用数 8,515 人(※昨年度:7,981 人・昨年度比較:1.0%増)、欠席数 2,228 日(※昨年度:2,454 昨年度比較:0.9%減)、新規 50 名(※昨年度:43 名)、欠席理由の都合が 455 日(※昨年度:624 日)、休止 25 日(※昨年度:40 日)、廃止は 33 名(※昨年度:39 名)でした。

その結果、平均稼働率 78.5%、登録率 89.5%となり、目標を大幅に下回る厳しい結果となりました。

登録実績	週間登録数 (210名/週定員)	利用者実績	稼働率(目標:90%)	
			R5	R4
4月	198名	672名	76.8%	72.5%
5月	196名	710名	75.1%	75.2%
6月	200名	692名	76.0%	74.8%
7月	198名	694名	76.3%	72.9%
8月	192名	690名	73.0%	75.6%
9月	200名	685名	75.3%	72.2%
10月	207名	706名	77.6%	74.3%
11月	206名	716名	78.7%	64.5%
12月	211名	730名	80.2%	70.9%
1月	213名	691名	82.3%	75.4%
2月	212名	740名	84.6%	78.2%
3月	217名	786名	86.7%	74.7%
平均	204名	709.6名	78.5%	73.4%

利用実績	利用実数			新規	廃止	休止	1日 平均利用
	介護	予防	計				
4月	75	2	77	2	1	2	26.9
5月	79	1	80	5	2	2	26.3
6月	77	1	78	3	4	3	26.6
7月	76	2	78	4	5	2	26.7
8月	76	2	78	3	3	2	25.6
9月	78	3	81	6	2	2	26.3
10月	85	4	89	10	3	1	27.2
11月	78	5	83	3	2	2	27.5
12月	87	5	92	5	2	2	28.1
1月	81	5	86	2	4	3	28.8
2月	86	6	92	3	3	0	29.6
3月	85	6	91	4	1	4	30.3
合計	—	—	—	50	33	25	—
平均	80.3	3.5	83.8	4.2	2.8	2.3	27.5

欠席状況	入院	ショートステイ	病欠	自己都合(自 粛)	合計 (その他欠席 含)
4月	5	102	40	27	174
5月	38	108	19	31	196
6月	20	95	23	28	183
7月	36	81	14	30	186
8月	23	99	27	26	202
9月	26	76	34	35	197
10月	22	93	30	41	203
11月	7	84	57	37	185
12月	29	81	38	58	207
1月	32	54	32	57	175
2月	21	65	31	45	162
3月	15	59	44	40	158
合計	274	825	389	455	2,228
平均	22.8	68.8	32.4	37.9	185.7

介護度別 利用実績	支援 1.2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計	平均
4月	2	19	16	21	13	8	79	2.6
5月	1	20	17	21	14	9	82	2.7
6月	1	21	17	20	14	8	81	2.6
7月	2	23	16	19	13	7	80	2.5
8月	2	23	16	19	11	9	80	2.5
9月	3	23	17	18	14	8	83	2.5
10月	4	25	16	21	12	12	90	2.6
11月	5	23	19	20	12	12	91	2.5
12月	5	27	20	18	12	12	94	2.5
1月	5	26	22	18	11	10	92	2.4
2月	6	25	22	19	10	10	92	2.4
3月	6	28	22	18	11	10	95	2.3
合計	42	283	220	232	147	115	1039	2.5
比率	3.5%	23.6%	18.3%	19.3%	12.3%	9.6%		

廃止内訳	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	0	0	1	1	3	2	7
入所	0	0	4	1	3	5	13
老健	0	0	0	2	2	1	5
長期入院	0	1	2	0	1	0	4
その他	0	1	1	2	0	0	4
合計	0	2	8	6	9	8	33

(2) 活動報告(アクティビティ等)

「個別と集団の融合活動」を主テーマに置き、その方がその人らしい1日を過ごして頂くことを念頭に集団レク・個別レクを中心にご自身で1日のスケジュールを決めていく「活動選択制」を重視し、運動等だけでなく体調・体力面を配慮して「のんびり」と称し、他の利用者や職員とのコミュニケーションを目的とした活動も行いました。

① アクティビティ

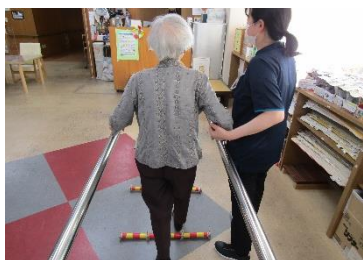
運動と認知課題(計算、しりとりなど)を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組み(※コグニサイズ)や脳活性化トレーニング(※前頭葉への刺激を意識した取り組み)を定着化させました。ご自宅でも行えるプログラムを念頭においた活動に取り組み、『口腔機能維持体操』については楽しみのひとつであるお食事を安全に召し上がって頂く事の背景に加齢に伴う嚥下・咀嚼力の機能低下が招く誤嚥・誤飲を予防する視点で年間を通じて取り組みました。

② 機能訓練

常勤看護師2名を機能訓練指導員兼務として配置し機能訓練実施。通所されるご利用者様のご希望を確認し、ご利用者様の機能維持、更なる運動機会確保とし機能訓練プログラムソフト「ACE」を活用し、その方に合った訓練を提供して参りました。

利用実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9

《 機能訓練の様子 》



《機能訓練で使用する手作り器具 》



③ 活動プログラム

レクリエーションリーダーを担当する職員が自ら調べてきた内容やインターネット上での報(※その日を代表する出来事を伝えるなど)を生かし、個々の特色を加えてレクリエーションプログラムを実施し、心身機能の活性化を図り、健康維持増進を目的にレクリエーションプログラムを提供しました。また、積極的にボランティアの方々の受け入れを行い、音楽やゲームを行いながら体を動かす等、ボランティアの内容も幅を広げる事ができました。そして、利用者様のご意見の中で、「体を動かしたい」というお声を頂き、以前は職員が行っていた体操も動画を見ながらの体操へ変更し、体を動かす時間も増え皆さん前向きに取り組んで頂きました。今後も、ご利用者様のお声を聞きながらレクリエーションの内容を考え提供していきたいと思えます。

④ 趣味・娯楽・制作活動

職員が中心となりアクティビティ活動を実施。また、iPadを活用し、新たな余暇提供や多様なプログラム作成を実施。年度末には、ボッチャスポーツを取り入れ、ボッチャウィークとして、皆様に身体を動かしながら楽しんで頂きました。

主な活動内容		活動内容
アクティビティ (脳・ 身体機能維持)	上肢	○【コグニサイズ】脳機能の改善・向上・維持・認知症予防 ○【関節可動域維持(肩・手首)ゲーム] ○ボッチャ・ポケネット・うしろへポイ・大空と大地・バランス玉入れ・魚釣り・巻いて巻いて・池上線でガタンゴトン・缶倒しなど日舞・輪踊り、音楽に合わせたリズム体操
	下肢	○【コグニサイズ】脳機能の改善・向上・維持・認知症予防! ○【関節可動域維持(膝・足首・指先関節・バランス感覚)ゲーム] ○下駄飛ばし・とんでけスリッパ・飲缶ゲートボール・足で手繰って ○寄せて・ゴールを決めろ・ルームランナーなど 【生活動作維持・回復支援】 ○送迎時の車両昇降動作・車椅子⇄椅子移乗など
	脳トレ	○漢字・計算ドリル、間違い探し、パズル、数字塗りつぶし、生活用品記憶力ゲーム、ワーキングメモリ(作業記憶)を鍛える多様な活脳レク
趣味生きがい活動	麻雀・将棋・オセロ・手芸・書道・編物・動画鑑賞(I Pad)	
その他	制作活動(大壁画作成・年中行事)	
年間行事	5月:端午の節句、7月:スイカ割り、8月:お祭りWEEK、10月:ハロウィン 12月:クリスマス会、1月:新年会、2月:節分、3月:ひな祭り	
不定期開催	お誕生日会:利用者様のお誕生日当日、または近いお日にちで開催。ボランティア:ボランティアプログラム(民謡・三味線(盆踊り等)、クラリネット音楽会等)	

(3) 年間プログラム

感染症予防対応を考慮した中で、これまで構築してきた活動、行事(プログラム)を実施。コロナ禍の状況下でも、デイサービスに参加していただく事で、楽しみや交流を絶やさないよう充実した日常生活を送って頂けるよう努めました。

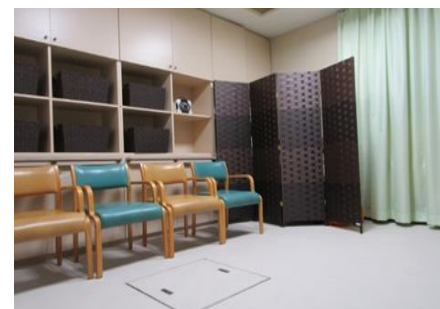
<p>4月</p>	<p>「書道」</p> <p>みなさん真剣に取り組まれ綺麗な字をたくさん書かれていました。</p>	
<p>5月</p>	<p>端午の節句</p> <p>午後のレク活動の時間を端午の節句にちなんだレクと、兜を作成し、記念撮影を行い楽しんで頂きました。</p>	
<p>7月</p>	<p>七夕</p> <p>笹の飾りつけを行いました。色々な願い事を書いて飾られました。</p>	
<p>8月</p>	<p>お祭り WEEK</p> <p>お祭り WEEK を開催しました。お祭りの屋台をイメージし、ヨーヨー釣り・輪投げ・射的と景品を準備し、盛り上がりました。</p>	
<p>9月</p>	<p>敬老会</p> <p>ご利用者様への日頃からの感謝の意を込め、お祝い品贈呈と集合写真撮影。今年度は手作りキーホルダーでした。</p>	
<p>10月</p>	<p>お月見</p> <p>なかなか見れない満月をバックに記念撮影。とても良い笑顔が見られました。</p>	

12月	クリスマス	  
	<p>クリスマスリースを制作しました。時間がかかる方もいましたが、素晴らしい出来具合で完成しました</p>	
1月	新年	  
	<p>辰年の色紙作成を行いました。綺麗且つ格好よく出来上がりました。</p>	
3月	制作活動	 
	<p>暖かくなり、チューリップをイメージして色紙にお花を飾りました。</p>	

(4) 入浴サービスの提供

個浴型特殊浴槽（2台）とチェアインバスの計2種類・3台の浴槽を使用し、清潔の保持・家族の介護負担軽減と利用者様の気分転換とADLに合わせた安楽な入浴に努め、菖蒲湯や柚子湯などの季節感を味わって頂く工夫を行い、利用者様に喜んで頂けるよう努力して参りました。また、**営業活動時の聞き取りにて当事業所利用に対し入浴の要望が高いこと、特に機械浴希望が高いことが分かり、当事業所の浴室設備をアピール。結果、入浴登録・実績・一日平均の数値は大幅に上昇。**

	登録	実績	1日平均
4月	97	328	13.1
5月	101	349	12.9
6月	102	351	13.5
7月	100	358	13.7
8月	95	340	12.5
9月	101	337	12.9
10月	109	356	13.6
11月	107	355	13.6
12月	108	370	14.2
1月	105	337	14.0
2月	105	358	14.3
3月	110	381	14.6
平均 (前年度)	103.3(85.7)	351.6(291)	13.5(11.2)



(5) 食事サービスの提供

食事提供の面でも、感染症対応を行いながら提供しました。栄養士、調理担当者と協働し、感染対策に配慮した取り組み、イベント食の定期開催を継続しています。

【 イベント食・行事食 】

4月	イベント食 『握り寿司』		
5月	イベント食 『天ぷら』		
6月	イベント食 『カレーバイキング』		
7月	イベント食 『チーズINハンバー グ』		
8月	イベント食 『鉄板焼き』		
9月	イベント食 『お蕎麦&うどん』		

10月	<p>イベント食 『 洋食弁当 』</p>	
11月	<p>イベント食 『 丼バイキング 』</p>	
12月	<p>イベント食 『 大人のランチ 』</p>	
1月	<p>イベント食 『 鍋 』</p>	
2月	<p>イベント食 『 おでん 』</p>	
3月	<p>イベント食 『 握り寿司 』</p>	

【 わくわく手作りおやつ 】

4月	『 蒸しパン 』	
6月	『 フルーツあんみつ 』	
8月	『 クリームあんみつ 』	
10月	『 フレンチトースト 』	
12月	『 クロカンブッシュ 』	
2月	『 おはぎ 』	

(6) 健康状態の把握


センター到着後の健康チェック（バイタルチェック）では体温、血圧、脈拍の3項目を行い、数値が異常な場合は再検査のもと、利用者の身体状況を把握、体調の変化など早期発見・早期対応に努めました。また、長期入院から利用再開となる際には、生活相談員等が退院前カンファレンス参加、ご自宅に伺っての再アセスメントを積極的に実施しました。体調不良による入浴が困難と看護師が判断

した場合は入浴を中止、活動参加が困難な場合は家族に連絡のもと、早退という形をとり、自宅までの送迎対応を行いました。また、デイフロア内の静養スペースでは、体調不良による静養・体力面に配慮した休息など柔軟な対応を心掛けました。コロナ禍の影響で自粛されている方々、担当ケアマネジャーへ定期的にご様子確認を実施。

(7) 安全なサービス(リスクマネジメント)

【 新型コロナウイルス感染症対策 】

(※ソーシャルディスタンスを保ち、3密(密集・密接・密閉)回避・感染拡大防止(下表参照)。フロア内に「プラズマオゾン発生装置(※バクテクター)」4台設置。各テーブルに飛沫防止シールド設置継続。

1. マスク着用	職員	通勤時、勤務中は常時着用 (※交換用サージカルマスクを常備・随時交換可)
	利用者様	任意 (※呼吸器疾患等による感染リスクが高いと判断した方には着用をお願いをする)
2. 検温・手洗い・うがい	職員	出勤前に自宅にて検温実施。※事前検温にて「37.0℃↑・その他症状」がある場合は、出勤前に上司に報告・相談。ケアごとの手洗い・うがい・消毒の実施。
	利用者様	検温2回実施 ① 朝の送迎前(※基本自宅にて) ②朝のバイタルチェック時 ③ その他、看護師が必要と認めた時 ケアごとの手洗い・うがい・消毒の実施。
3. 除菌・洗浄	施設内消毒	4回/日(営業開始直後・昼食前・軽食前(14時頃)・営業終了前) ※2~3時間間隔で実施 ※テーブル・各所手すり・トイレ内・椅子・TVリモコン・PC・電話等)
	施設内換気	常時換気中
4. 余裕のあるフロア環境	<p><u>利用者様同士の間隔が密接にならぬよう配慮</u> ※ソーシャルディスタンスを保つ(人と人との距離を原則1~2m空ける)</p> <p><u>プラズマオゾン発生装置「バクテクター」設置</u></p> 	
5. 送迎車	利用者様同士が可能な限り密着しないよう配慮	
	※乗車人数調整・常時窓の開放(手を出してしまう等のリスク考慮)	
	乗車前の検温実施(※お迎え前のご自宅での検温依頼) *検温未実施の利用者様は乗車前に検温実施	
	乗車前後の手指消毒実施(アルコールジェル)	
	常時換気	
	送迎毎の車内消毒(※手すり・ドアノブ・ハンドル等⇒次亜塩素酸噴霧・拭き上げ)	
	利用者様同士が可能な限り密着しないよう配慮	
6. 入浴	職員はマスク着用(※冷感マスク使用)	
7. その他	施設見学希望の方には、来所前の事前検温・マスク着用にて対応中	
	外部関係者の来所制限(※イベントボラ(個別・団体)・日常生活補助ボラ)	

【 令和 5 年度事故状況 】

事故種別	転倒	離苑	急変・救急	裂傷	送迎時	異食	合計
件数	14	1	0	0	0	0	15

事故・苦情には迅速な対応と解決を心がけ、予防に努めるとともに、事故・苦情の情報共有の徹底により、内部研修による事例検討等による再発防止に努めました。

事故詳細として、転倒事故 14 件・離苑事故 1 件と昨年度に比べて転倒事故が増加。離苑・転倒と、歩行が不安定な方が多い中での認知症利用者様への対応を行うべく、見守り体制や方法・レイアウトを変更し、先手のケアを心がけ、予防に努めていきたいと思ひます。

【 火災・地震を想定した震災訓練 】

当デイサービスセンターでも随時環境設定（※事業所内または送迎中、時間帯など）を行い、月 1 回の震災訓練を実施しました。

(8) 利用者個々に合った相談支援

利用中の状況、家族等のニーズを踏まえ、介護支援専門員との連携のもと通所介護計画・介護予防通所介護計画の適正な作成（新規・更新）に努めました。

計画書の作成にあたっては、日々の申し送りと月 1 回のケース会議をもとに職員の情報共有を図り、サービス担当者会議への出席等、他事業所と連携し、利用者本人・家族にとって分かりやすい説明のもと同意を得られるようにしました。

(9) 家族交流の促進

送迎時のコミュニケーションと連絡帳の活用に加え、月間予定表、献立の配布、三色すみれ（広報誌）の発行により、情報発信に努めました。

また、法人ホームページ内に掲載している「デイサービスの窓（※ブログ）」はデイサービス職員が更新作業を行い、よりタイムリーな情報発信に努めました。

(10) その他

① ボランティア

今年度より、ボランティアの受け入れを再開しました。コロナ禍でボランティアを終了させたグループもいらっしゃいましたが、今まで行って下さっていたグループに声をかけ、ボランティアに来て下さっています。ボランティアの活躍にて、活気あるデイサービスが戻って参りました。

② 実習生等

種別	人数	実習機関
介護福祉士	0 名	0 校
社会福祉士	0 名	0 校
看護師	0 名	0 校
教職員介護等体験	0 名	0 校
職場体験学習（中学生）	9 名	3 校

実習生受入に関しては、法人の感染症予防対策を前提として、実習機関とも相談しオンライン実習で受入れを行いました。通年と比較すると人数及び実習機関の減少が顕著でした。

《 日々の活動・イベント 》
 【 アクティビティ活動（上下肢機能維持運動など） 】



【 趣味生きがい活動など 】



(※塗り絵)



(※書道)

II 好日苑ヘルパーステーション

令和5年度におきましては、住み慣れた地域で自立した生活と「安心と暖かさ」を感じ取れる生活をし続けていただく為に【好日苑多機能型住宅介護】と称して、響会方程式を駆使した日常生活支援を「訪問」「通い」「宿泊」サービスを組み合わせ、また馴染みある職員が横断的・一体的にサービス提供を行うことを土台にして事業運営に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、重症化リスクが高い高齢者の方々が生活するご自宅に伺う訪問介護としては、感染対策の徹底を行いながら「自立生活支援」に重点をおき、それぞれの状態・暮らしに沿った支援を強化し、利用者様が心身共に「自立」に向けた取り組みができるよう専門性を持った働きかけと継続した支援をして参ります。

1. 『第6次中期経営計画を踏まえた令和5年度事業計画の重点施策』

利用者	① Wincareの有効活用(電子記録の共有) ② ターミナルケース等帯派遣(2時間ルールの弾力化を踏まえた柔軟な訪問)
職員	① 土日勤務形態の開始と派遣時間枠拡充 ② 認知症介護実践リーダー研修受講・有資格者1名以上配置
経営	① 居宅連携率60%/年 ≫ 提責2名130時間+兼務1名45時間+非常勤1名80時間+登録120時間 ② 定期巡回サービス(一部業務委託)との連携 ③ 認知症専門ケア加算新規算定(認知症高齢者日常生活自立度Ⅲa以上:50%)

【令和5年度の重点施策に対する評価】

「利用者」

- ② 『ターミナルケース等帯派遣(※柔軟な訪問)』は、訪問介護と定期巡回池上長寿園24(定期巡回サービス)による切れ目のないサービス提供を継続。結果、定期巡回の仕組み・当事業所の運営スタイルをお互いの事業所が理解し、対象利用者様の選定や派遣スケジュールなどを迅速かつ的確に共有・実施したことで、前年度より派遣延べ時間(R4:203h⇒R5:375h)・月平均(R4:20h⇒R5:31h)が大幅に上昇しました。

「職員」

- ① 『土日勤務形態の開始と派遣時間枠拡充』は、日曜派遣・勤務は達成できませんでしたが、土曜日派遣・勤務は派遣対応職員を拡充(多機能型職員・非常勤ヘルパー)し年度通じて達成。また、1日の件数・派遣時間も僅かながら微増しました。

「経営」

- ① 居宅連携率は年平均42%と目標達成に至りませんでした。
② 定期巡回サービスとの連携は、常時3~4名の帯派遣ケースを確保し安定した派遣件数維持。(※全体計3,846回⇒1,349回・全体の4割)

2. サービス提供

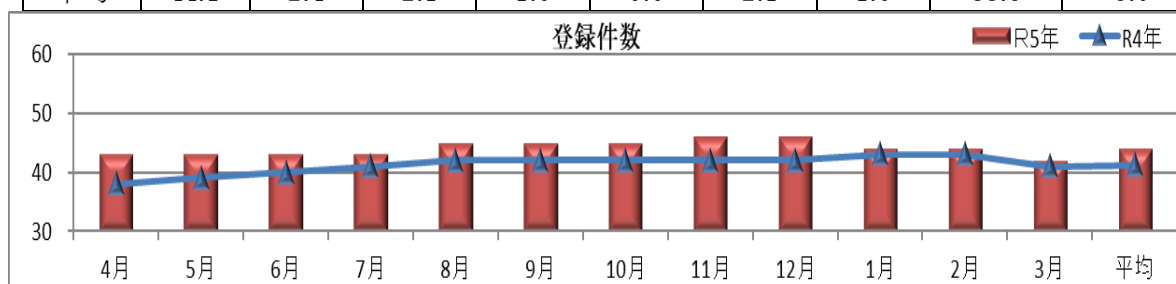
『稼動目標(※月平均300時間)』に対し、「サービス提供/月平均288.6時間」という結果となりました。

登録等実績につきましては、月内登録数に関しては年間通じて登録数の大きな増減はありませんでした。新規利用者様は昨年度より微増(+4件)ではありますが、年間24名(介護:21件、支援:3件)の受入が行え、定期巡回池上長寿園24からの一部業務委託による新規は6件、派遣時間割合は全体の4割を占めました。また、廃止数は19件で昨年度より6件増加しましたが、ご逝去(急逝)や施設入居が主な要因でした。また、休止者は年間延べ2名と昨年度(14件)と比較して12件減となりましたが、入院からリハビリを経て自宅に戻るのではなく、入院継続・有料施設入所に切り替えるケースが多かった為、大幅な減少になりました。

このようなケースの移り変わりがあつた中、年度当初の43名登録から増減を経て、最終的に登録数は42名とほぼ横ばいの登録となりました。

(1) 登録・請求実績

	月内 登録	新規				廃止	休止	請求	
		介	予	有	実数			(内総合)	
4月	43	4	3	1	0	0	0	39	7
5月	43	0	0	0	0	2	0	38	7
6月	43	2	2	0	0	2	1	36	7
7月	43	3	3	0	0	2	0	36	6
8月	45	5	5	0	0	1	0	40	5
9月	45	1	1	0	0	4	0	38	5
10月	45	4	3	1	0	0	0	41	6
11月	46	1	1	0	0	1	0	41	6
12月	46	1	1	0	0	2	0	40	6
1月	44	0	0	0	0	2	1	38	5
2月	44	2	1	1	0	3	0	38	6
3月	42	1	1	0	0	0	0	38	6
延	529	24	21	3	0	19	2	463	72
平均	44.1	2.4	2.1	1.0	0.0	2.1	1.0	38.6	6.0



廃止理由	要支援 1,2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	0	0	0	2	1	2	5
入所	0	0	2	1	1	0	4
入院	0	1	3	1	0	0	5
その他	1	0	2	0	1	1	5
合計	1	1	7	4	3	3	19

(2) サービス提供実績

	稼動日	派遣時間	一部業務委託	派遣時間内訳						派遣件数(回)		平均介護度
				身体	生活	身生	訪問型	有料	1回あたり平均	合計	1日あたり平均	
4月	25	260.1	19.1	89.1	70.5	40.5	35.2	24.8	0.89	293	11.7	2.16
5月	27	303.3	25.4	98.3	83.2	56.5	31.2	34.2	0.89	339	12.6	2.16
6月	26	284.2	30.4	86.5	71.6	56.4	29.3	40.5	0.89	320	12.3	2.12
7月	26	282.1	34.3	96.3	69.4	49.6	26.5	40.5	0.91	311	12.0	2.23
8月	27	299.2	27.3	97.5	86.3	54.3	29.3	31.9	0.88	340	12.6	2.22
9月	26	284.2	24.0	88.3	97.4	53.0	15.5	30.0	0.89	321	12.3	2.20
10月	26	324.4	40.4	93.6	102.0	62.4	18.2	48.3	0.95	341	13.1	2.32
11月	26	312.3	44.5	91.3	91.6	60.5	22.1	46.9	0.94	334	12.8	2.30
12月	26	304.5	47.0	93.3	88.4	49.2	22.1	51.5	0.93	327	12.6	2.37
1月	24	247.2	21.5	73.3	84.2	48.2	18.2	23.3	0.84	293	12.2	2.40
2月	25	275.2	26.1	70.1	93.0	65.2	21.5	25.4	0.89	310	12.4	2.28
3月	26	286.4	31.2	73.2	100.5	56.3	20.1	36.4	0.90	317	12.2	2.29
延	310	3,463	374.8	1050.7	1038	651.8	289	433.5	10.80	3846	186	27.05
平均	25.8	288.6	31.2	87.6	86.5	54.3	24.1	36.1	0.90	321	15.5	2.25

3. 利用者様個々に合った相談支援と連絡・連携

サービス提供責任者によるモニタリング訪問と介護支援専門員等との情報提供・共有による連携、サービス担当者会議への参加（※照会含む）は年間計「61回（※前年度43回）」でした。また、定期巡回池上長寿園24一部業務委託との連携では、専用の携帯端末による入退室管理、介護支援ソフト（スマケア）と専用携帯端末によるサービス提供記録入力を行い、迅速な情報提供・共有を図りました。そして、柔軟かつ利用者様の安心につながる訪問スケジュールを可能にする為、多機能型職員をデイ・ヘルプ共通登録利用者様への訪問登録し、横断的・一体的にサービス提供を行う体制と連携に取り組みました。

Ⅲ 好日苑ケアプランセンター

令和5年度は、前年度の専任ケアマネ4名体制の基盤づくりから発展し、個々の専門性・マネジメント力の向上を目指し業務改善を強化、相談援助のリスクヘッジに努めました。並行して、出入り数字を計画的にコントロールする事に尽力した結果、目標値を達成、中重度分布は45%後半をキープした数字管理を実現し、年間通し安定した動きがとれました。

令和3年改定における『介護人材の確保、介護現場の革新』の面において、改定から3年目に入り、積極的なICT活用やデータ連携システム導入により業務効率化を図る動きも進みました。令和6年4月から義務化するBCP策定や虐待対策については、法人全体の進捗に沿ってコンプライアンスに努めることができました。令和6年度改定では、居宅介護支援の在り方が大きく変わり、介護支援専門員1人あたりの取り扱い件数の引き上げ、自治体から指定をうけて介護予防支援の提供、特定事業所加算要件の変更が示されており、より一層の飛躍へむけて取り組む所存にあります。

『好日苑多機能型居宅介護』の進捗は、所内会議の充実、積極的なプラン受け入れとともに法人内の連携強化を模索し、利用者様へ馴染みのある職員が横断的・一体的にサービス提供を行う『安心と暖かさ』の理念に励み、連携率の向上につながりました。

地域における活動にも積極的に参画し、エリア内では調布・大森各地区に選別した『特定事業所Ⅱを中心とした勉強会』を先陣きって開催し、地域のケアプランセンターの主軸を担うよう励みました。

1、『第6次中期経営計画を踏まえた令和5年度事業計画の重点施策』

利用者	① 好日苑多機能型居宅介護としてのCPC会議の充実 ② 医療機関との連携(積極的なプラン受入れ)
職員	① エリア内事業者連絡会等での講師・ファシリテーター派遣 ② 特定事業所加算Ⅰ算定(介護支援専門員5名体制) ③ 好日苑多機能型居宅介護のプラットフォーム実践のための先手のアセスメントと舵取り
経営	① 居宅連携率70%/年 ≫ デイサービス・ヘルプサービス・ショートステイ ② 介護支援専門員1名35件/月・月間CP請求件数175件(※CM5名体制の場合)

【令和5年度の重点施策に対する評価】

「利用者」

- ① 週1回の会議を定期開催し連携ケースの抽出、素早い情報共有により介護展開が可能となった。
- ② 退院、退所、新規相談に対し管理者と担当2名体制の受入による連携強化を図る。ICT活用し積極的にカンファレンス参加。

「職員」

- ① 調布地域介護支援専門員連絡会、調布地区居宅介護支援事業所事例検討会の開催(好日苑内)
大森地区居宅介護支援事業所事例検討会の開催(好日苑内)
調布地区個別ケア会議参加(主任介護支援専門員)
大森個別ケア会議参加(主任介護支援専門員)、調布個別ケア会議参加(主任介護支援専門員)
NPO 法人大田区介護保険支援専門員連絡会におけるケアプラン点検事業の参加(主任介護支援専門員)
- ② 特定事業所加算Ⅰ算定要件(職員配置)満たさず未達成。
- ③ 新規受け入れ2名体制のアセスメントと在宅(好日苑多機能型居宅介護)会議におけるケース検討を実施。

「経営」

- ① 居宅連携率 令和5年4月→令和6年3月
デイ:56.1%→67.4% ヘルプ:50.0%→36.8% SS:41.7%→50.0%
- ② 介護支援専門員1名 34.3件/月(予防0.5換算)

2、適切な相談支援

(1) 訪問によるトータル的な状況把握

訪問を基本とした状況把握の推進に加え、サービス提供事業所との電話連絡等による情報収集により、苦情もなく、利用者・家族のニーズを踏まえた自立を目的とした円滑な支援を行い、ケアプラン作成時には分かりやすい説明と同意を得ることができました。

【運営減算】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 適切な給付管理と実績管理

前年度からすすめてきた「登録数に対し90%前後の実数」を目標に数字管理を行い、年間通して目標値140を上回る請求件数を維持できました。また、新規受け入れを計画的に行い中重度分布は、感染症特例処置（認定延長）が終了後も中重度40台後半を維持できました。

【登録件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護給付	127	128	128	130	133	133	131	129	130	132	131	136	130.7
予防給付	24	20	21	21	22	23	23	22	20	21	20	23	21.7
合計	151	148	149	151	155	156	154	151	150	153	151	159	152.3

【給付管理実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護給付	118	123	120	125	126	122	127	123	125	127	124	125	123.8
予防給付	23	20	21	21	22	22	23	22	19	20	19	23	21.3
合計	141	143	141	146	148	144	149	145	144	147	143	148	144.9

【要介護度】

月	介護度分布														平均	介護 3.4.5
	介護1		介護2		介護3		介護4		介護5		支援1		支援2			
4月	42	30%	28	20%	34	24%	17	12%	6	4%	13	9%	11	8%	2.55	48.3%
5月	41	29%	28	20%	35	24%	17	12%	7	5%	11	8%	9	6%	2.48	48.0%
6月	43	30%	27	19%	32	23%	19	13%	7	5%	10	7%	11	8%	2.53	48.3%
7月	42	29%	27	18%	34	23%	20	14%	7	5%	9	6%	12	8%	2.50	48.8%
8月	45	30%	27	18%	36	24%	17	11%	8	5%	9	6%	13	9%	2.50	48.4%
9月	45	31%	27	19%	35	24%	16	11%	10	7%	9	6%	14	10%	2.63	50.0%
10月	44	30%	26	17%	35	23%	15	10%	11	7%	9	6%	14	9%	2.51	48.4%
11月	45	31%	23	16%	37	26%	15	10%	9	6%	8	6%	14	10%	2.50	49.6%
12月	45	31%	24	17%	38	26%	15	10%	8	6%	9	6%	11	8%	2.48	48.8%
1月	43	29%	28	19%	38	26%	15	10%	8	5%	11	7%	10	7%	2.48	48.0%
2月	42	29%	28	20%	37	26%	16	11%	8	6%	10	7%	10	7%	2.54	49.2%
3月	42	28%	29	20%	38	26%	17	11%	8	5%	11	7%	12	8%	2.58	50.4%

【廃止】

廃止件数合計は48件、5年度の新規は52件とIN、OUTの均等がとれた台帳整理をタイムリーに行うことができました。在宅終了後の行先は有料施設が大半を占めている結果がみてとれます。利用者様にとって選択肢がある現状のなか、選ばれる施設へむけて『好日苑多機能型居宅介護』の発展のプラットフォーム機能を上げてまいります。

※その他→転居、保険サービス終了（自立）が増加してきています。

	要支援 1.2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
ご逝去	1	2	4	4	2	3	16
入所・特	0	0	0	2	1	0	3
入所・有	0	1	6	4	3	3	17
老健	0	0	0	1	0	0	1
長期入院	0	1	1	0	0	0	2
その他	2	2	2	1	1	0	8

(3) 要介護・要支援認定訪問調査の受託

受託先：大田区、品川区、横浜市

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5

3、連絡連携

(1) サービス担当者会議の開催(主治医や医療機関含む)

ICTを活用した非対面式の面談という新たな選択肢が増えたことで退院、退所時のカンファレンスにおいて、オンライン形式を活用して積極的参加することができました。

【回数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R4	28	18	23	25	24	21	20	30	21	13	12	19	254
R5	23	28	25	23	19	25	26	15	15	21	10	19	249

(2) 円滑な関係機関との連携と情報交換

連絡会等、積極的に参加し地域ニーズの把握とコンプライアンスを心掛け、適正な運営と支援に努めました。

- ① 介護支援専門員連絡会の参加
- ② 雪谷・上池けあまねっとの参加
- ③ 大田区事業所連絡会の参加
- ④ NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会活動の参加(ファシリテーター)
- ⑤ 調布・馬込地区介護支援専門員事例検討会開催

(3) ケアプランセンター(CPC)伝達・検討会議

特定事業所加算の取得に伴い、週1回 毎週金曜日を原則に、ケース検討及び制度等の情報共有を行い、内部連携を強化しました。

4、人材育成(質の向上)

【行政や医療機関が主催する地域ケア会議・支援会議・勉強会等への積極的な参加・参画】

個々の専門性向上へむけた研修の参加により質の向上を図り、例年にわたる調布地域介護支援専門員連絡会員を5年度も立候補し大田区と共に地域の介護支援専門員の底上げに参画致しました。

【実習生受入】

コロナ感染症5類となり東京都介護支援専門員実習が本来の受け入れ(3日間)の中、特定事業所加算取得事業所として次の世代の介護支援専門員育成を担う事が出来ました。

【研修内容】

この数年間に感染症防止の観点から研修様式が変化してきた結果、オンライン、オンデマンド等々の集合型によらない形がふえ、効率的に参加できる状況となっています。選択可能な研修もあり、多様な形式に対応できる ICT 環境を整えることで参加機会は増加し、ケアマネジメントの質の向上へ繋がる事ができました。

地区を選別した近隣の居宅支援事業所と共同した事例検討会・研修では、特定事業所加算取得事業所を意識して中心的な役割を担い地域貢献を致しました。今後も主軸となる事業所を目指してまいります。



IV 【 在宅部門会議・研修 】

(全体)

会 議	内 容
好日苑多機能型居宅介護会議 (KTKK)	好日苑多機能型居宅介護 (KTKK) の実現に向けた利用者様情報や、サービス提供上の調整・留意事項の伝達等を通じて、目標達成することを目的として開催。(隔週・週1日)

(ケアプランセンター)

会 議	内 容	
CPC 会議	利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした会議を週1日開催する。	
居宅会議	居宅マニュアルの改正、制度勉強会、事例検討、基礎知識の確認等、情報及び知識の共有を図った。	
	4月	前月実績報告、所内研修 (【法令遵守と倫理綱領】)
	5月	前月実績報告、所内研修 (【熱中症と食中毒】)
	6月	前月実績報告、所内研修 (【支援経過・ケアプランの重要性と記録・作成方法を学ぶ】)
	7月	前月実績報告、所内研修 (【虐待研修 (1回目)】 【身体拘束とプライバシーの保護】)
	8月	前月実績報告、所内研修 (【緊急時対応研修】大規模災害が起きた際の動きや備えることについて)
	9月	前月実績報告、所内研修 (【感染症研修、事例検討 (困難ケース)】)
	10月	前月実績報告、所内研修 (【認知症研修 リスクマネジメント】)
11月	前月実績報告、所内研修 (【事例検討/医療ニーズに対する相談支援】「適切なケアマネジメント手法」の手引き～から基礎を学ぶ)	

	12月	前月実績報告、所内研修（【保健医療福祉の基礎知識】）
	1月	前月実績報告、所内研修（【身体拘束とプライバシー保護～虐待研修2回目】東京都福祉局 高齢者虐待防止と権利擁護から学ぶ）
	2月	前月実績報告、所内研修（【支援記録、ケアプラン作成 第2回】第5回大田区介護支援専門員全体研修 ケアプラン点検総括研修をフィードバック）
	3月	前月実績報告、所内研修（令和6年度事業計画（報告）/居宅マニュアル確認）

（デイサービス）

会 議	内 容
デイサービス会議	法人伝達事項・事業所課題把握と対抗検討・改善を行い、サービス向上を目的とする。（月1回開催）
ケース会議（月1回）	通所介護計画書・介護予防通所介護計画・第1号通所事業通所介護計画の作成 利用者様の状況と問題点の抽出・対応策の検討と職員対応の標準化を図る。
食事会議・ イベント食会議	利用者様の食事形態・摂取量・嗜好を把握し、安全な食事提供を目的とする。

（ヘルパーステーション）

会 議	内 容
ヘルパー会議	利用者様の状態確認、ケアカンファレンス、諸連絡の場とし、全職員の職務に対する意識向上と相互連携のための情報共有を行い、訪問介護事業が円滑に運営されることを目的とする。（月1回開催・第3木曜日）
サービス提供責任者（STS）会議	法人伝達事項・事業所課題把握と対応検討・改善、内外研修などで得た情報・知識を共有、ヘルパー会議（研修）の内容調整、各利用者様の近況状態報告を行い、サービス向上を目的とする。（月1回開催・第4木曜日）

【 研修報告 】

（ケアプランセンター）

研 修	形 式	目 的
令和5年度大田区介護保険事業者連絡会（第1・2回）	大田区 eランニング	大田区介護保険事業者連絡会は、区からの事務連絡や情報提供
令和5年度自立支援・重度化防止等介護支援専門員質の向上研修	大田区 （オンライン形式）	地域における介護支援専門員を指導育成する主任介護支援専門員の養成を推進
2023年度第1回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 （オンライン形式）	大田区重層的支援体制整備事業について～多機関連携支援を学ぶ～
2023年度第2回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 （オンライン形式）	作成済みでも未作成でも役立つBCP策定講座
2023年度第3回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 （オンライン形式）	水害から命を守るマイタイムライン～知る、気付く、考える～
2023年度第4回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 （オンライン形式）	カスタマーハラスメント研修 ケアマネジャーが自分や事業所を守るために
2023年度第5回 大田区介護支援専門員全体研修	大田区 （オンライン形式）	ケアプラン点検総括研修 NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会企画・運営
令和5年度第1回大田区調布地域福祉課介護支援専門員連絡会	調布地域介護支援専門員連絡会 嶺町集会所	「介護支援専門員が知っておくべき 成年後見制度」
令和5年度第2回大田区調布地域福祉課介護支援専門員連絡会	調布地域介護支援専門員連絡会 嶺町集会所	「ケアマネジャーの疑問に答える高齢者の依存症」～アルコール依存症の事例を通して考える～

NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会 第1回 懇談会	NPO 大田区介護支援専門員連絡会 消費者生活センター2階	特定事業所懇談会
NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会 第2回 研修会	NPO 大田区介護支援専門員連絡会 (オンライン形式)	「一人暮らしの利用者にもしもの事があった時」終活
2023 年度 NPO 法人大田区介護支援専門員連絡会ファシリテーター	NPO 大田区介護支援専門員連絡会 (ふれあいはずぬま)	主任介護支援専門員として連絡会員とともにケアプラン点検一部作業
2023 年度 タウンミーティング	NPO 大田区介護支援専門員連絡会 池上会館	タウンミーティング集合研修 「みんなでブラッシュアップ総合事業」
令和5年度地域連携を支える人材育成研修	荏原病院 (オンライン形式)	荏原病院東京都地域拠点型認知症疾患医療センター 「ケアマネさんと一緒に考えるACPってなんだろう」
大田区福祉部福祉管理課調整担当	大田区 (オンライン形式)	マイ・タイムライン作成講座 大田区の要配慮者対策について
雪谷けあまねっと (第1・2回)	包括支援センター上池台、雪谷特別出張所	包括支援センター主催地域ケアマネの懇談
雪谷・上池地域包括ケアの会	上池台包括支援センター 田園調布医師会館2階	ケアプラン点検概要 みんなで学ぼうケアプラン点検 ケアプラン点検総括研修
令和5年度 雪谷地域連携懇談会	上池台包括支援センター 雪谷特別出張所	日常生活圏域レベル地域ケア会議
東京都介護支援専門員実務研修実習受入	東京都福祉保健局 好日苑居宅支援事業所	実務研修実習実施の詳細
「特定事業所加算取得事業者」間研修	共同開催 好日苑相談室	調布地区4事業所、馬込地区5事業所、それぞれの事例検討会
個別レベル地域ケア会議	包括支援センター馬込 大森庁舎	家族間で介護に対する考え方が異なる場合の家族支援について
個別レベル地域ケア会議	包括支援センター上池台 調布庁舎	昼夜問わず被害妄想等の訴えの多い認知症独居高齢者の施設入所にむけてのチームアプローチ
令和6年度介護報酬改定説明会	大田区eランニング	令和6年度介護報酬改定

(デイサービス)

職員のスキルアップの機会を設ける意味で毎月1回の内部研修日を設定

	研修項目
4月	法令遵守(個人情報保護法)・職業倫理研修 (※法人の「倫理綱領・理念と目的」「日本介護福祉士会・社会福祉士会倫理綱領の行動規範」「個人情報保護法」確認)
5月	身体拘束・プライバシー保護研修 (※身体拘束廃止への取り組み・指針確認(身体拘束ゼロ手引き活用)・権利擁護(高齢者虐待防止))
6月	感染症研修(※嘔吐時の動きと役割確認・熱中症・食中毒・ノロウイルス基礎知識確認)
7月	KYT研修(危険予知トレーニング)
8月	チームマネジメント研修

9月	介護技術研修（食事・排泄・入浴方法を学ぶ）
10月	緊急時研修（緊急時対応マニュアルの見直し）
11月	感染症研修（※感染対策リーダーによる「平時から実践する感染対策の基本（感染症対策と清潔・不潔、標準予防策とは目的と重要性・手指衛生のタイミング）」「手指衛生」「PPE（個人防護具）着脱の実技訓練」について講義・実演。）
12月	ICF研修（ICFの意味・特徴を知る）
1月	認知症ケア研修（技法：ユマニチュードを知る）
2月	記録研修（ご家族への伝え方を学ぶ）
3月	事業計画説明

（ヘルパーステーション）

月	研修項目	内 容
4月	法令遵守と職業倫理 （※ヘルパーマニュアル確認）	各団体倫理綱領に基づき学び、ホームヘルパーとしてのマナーを習得する
5月	権利擁護・プライバシー保護と 接遇	権利擁護・身体拘束に対する基本知識の習得とサービス提供におけるプライバシーを学ぶとともに、接遇マナーを確認。
6月	食中毒・熱中症研修	基礎知識とヘルパーが知っておきたい医療知識の習得を行い、熱中症、食中毒・新型コロナウイルスについての理解・対応を踏まえ、訪問時の利用者状態の気付きを共有。
7月	リスクマネジメント	サービス提供時の介護事故発生・再発防止に向けたグループディスカッション。
8月	腰痛予防研修	腰痛のメカニズム、腰痛予防の具体策について学ぶ
9月	緊急時対応（緊急時事例共有）	今まで訪問介護をしてきて、緊急・救急を要する事態など経験したことを紙に書き出し、グループディスカッションを行う。
10月	実技研修（おむつ交換）	排泄のメカニズムを知り、高齢者が抱える排泄の課題確認。また、おむつの当て方を実技にて確認し、当て方によるトラブル発生事例を知る。最後に高齢者が起こしやすい排泄に関連した感染症を知る。
11月	リスクマネジメント	在宅介護の現場で生じやすいリスクをまず共有し、そのリスクをどう把握・情報収集・リスク軽減に努めるのか。それでも起こってしまった事故等に対する対処法を一連の流れで学ぶ。また、警視庁が発信している自転車ルールを周知・理解。
12月	感染症研修	感染対策リーダーによる「平時から実践する感染対策の基本（感染症対策と清潔・不潔、標準予防策とは目的と重要性・手指衛生のタイミング）」「手指衛生」「PPE（個人防護具）着脱の実技訓練」について講義・実演。
1月	認知症について	認知症疾患の種類、症状の理解を深め、予防と早期発見・認知症の進行に合わせた支援方法等について学ぶ。
2月	介護記録について	居宅介護計画書、訪問介護計画書を踏まえた、介護記録の書き方のポイントを学ぶ。
3月	令和5年度事故報告書の振り返り・令和6年度事業計画（案）について	

包括部門

令和5年度は、「重層的支援体制整備事業」が本格始動となり、高齢者分野を担当する地域包括支援センターとしても、分野を超えた課題解決に向けて、多機関・多職種連携を図りながら、その体制づくりに積極的に取り組んでまいりました。「重層的支援会議」「支援会議」「地域ケア会議」等を行うことで、関係機関と話し合いの場を持ち、利用者・地域の支援体制を強化し「複合課題に取り組む個別支援」を行いました。馬込地区・六郷地区・嶺町地区においては、若者から高齢者までの対象や相談内容を絞らない相談会「まちかど相談室」を、就労サポートセンターJOBOTA、引きこもり支援室SAPOTA、若者サポートセンターフラットおおた、こども家庭支援センター、シルバー人材センター、東邦大学、大田区社会福祉協議会に参加協力を呼びかけ、開催しました。「支援と共生の地域づくり」のための一歩として開催、今後も継続拡大していきたいと考えています。

また、「嶺町」は受託8年目、「馬込」「南馬込」は受託4年目となり、「大田区地域包括支援センター及びシニアステーション業務委託事業者中間評価」を受けました。結果、「嶺町」「馬込」「南馬込」とも、評価結果A 評定良の評価を得ました。引き続き、地域の方々に信頼される地域包括支援センター及びシニアステーションとなるよう、事業運営に努めてまいります。

I 大田区地域包括支援センター上池台／嶺町／六郷／西六郷／馬込／南馬込

1. 総合相談支援業務

担当エリア内高齢者人口の多いセンター「上池台」「六郷」は、相談件数増となりました。「六郷」においては、来所数が引き続き多い状況でした。コロナ禍が明け、各センターとも訪問等も以前通り行いました。介護保険制度、福祉サービスの利用についての相談が主となりますが、家族問題・虐待・金銭問題・近隣トラブルなど、相談内容・課題は多岐に渡り対応しました。

また、世帯として複雑・複合課題を抱えるケースについては、重層的支援会議等に提案・参加し、重層的支援会議に該当しないケースは、ケース会議として行政・関係機関等とミーティングを重ね、共に課題解決に取り組みました。新たな取り組みとして、令和4年度に「南馬込」から始まりました、世代や分野にとらわれない「まちかど相談室」を、「六郷・西六郷」「嶺町」で開催し、多機関・多職種連携を図り、大田区版地域共生社会の実現に努めました。

【相談件数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
相談件数 総数	17,362	6,786	14,853	6,640	7,503	8,089
総数のうち新規	599	263	832	449	306	424
総数のうち来所	1,682	1,664	3,774	1,273	1,294	1,225
総数のうち電話	12,584	4,177	8,737	4,418	4,676	5,695
総数のうち訪問	1,960	709	1,680	839	813	718
総数のうちその他	1,136	236	622	110	720	451

【重層的支援会議等参加回数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
重層的支援会議	2	0	0	0	0	4
支援会議	0	0	3	2	1	0

【参考：センター管内高齢者人口等】

令和6年4月1日現在	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
エリア内高齢者人口	12,745	5,660	11,870	4,999	5,497	6,069
エリア内総人口	61,509	26,177	67,645		57,073	
エリア内高齢化率	20.7%	21.6%	24.9%		19.7%	

2. 権利擁護、虐待の早期発見・防止

権利擁護に関する相談件数は、各センターとも虐待に関する相談件数が増加しました。地域福祉課・担当の介護支援専門員やサービス事業所等と協力し対応を行いました。権利擁護に関わる相談については、各センターとも大幅増となりました。権利擁護事業・法律相談を活用し、成年後見センター、消費者センター、司法書士会・弁護士会、行政、介護保険事業所等と協力し対応しました。

虐待、消費者被害、権利擁護に関する相談は、知識・スキルとも高い相談援助技術が求められますが、職員のスキルアップを行い、利用者の安心した暮らしが確保できるよう支援を行いました。

【権利擁護等に関する相談件数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
虐待に関する相談	307	225	290	374	170	115
消費者被害に関する相談	24	6	32	19	14	21
権利擁護に関する相談	567	256	521	173	129	94

3. 認知症高齢者支援

認知症高齢者支援として、情報提供、医療やサービスにつなげる相談支援を行いました。また、認知症の正しい理解を地域に広める活動として「認知症サポーター養成講座」を実施しました。更に、地域で認知症の方とその家族を支える体制構築となる「チームオレンジ」への取り組みとして、認知症サポーターステップアップ研修を基本圏域にある包括等と協働開催しました。

「認知症カフェ」も継続開催し、認知症の当該者と地域の方とが集う場づくりに努めました。

【認知症に関する相談/認知症サポーター養成講座等の開催数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
認知症に関する相談件数	1,159	668	827	787	533	244
認知症初期集中支援チーム員事業相談件数	0	継続1 新規1	2	2	0	0
認知症サポーター養成講座開催数/延べ参加者数	3回/50名	3回/36名	3回/50名	2回/16名	4回/49名	3回/33名
認知症サポーターステップアップ研修/延べ参加者数	2回/40名		1回/29名		1回/23名	1回/48名

【認知症カフェ開催状況】

	上池台 オレンジカフェ 上池台和の輪	嶺町 オレンジカフェ嶺町 スタイル	六郷 笑顔の会 (六郷)	西六郷 ぷらっとカフェ (西六郷)	馬込 オレンジカフェ馬込	南馬込 金曜日の オレンジカフェ (南馬込)
開催数	12回	10回	12回	12回	11回	8回
延べ 参加者数	128名	49名	153名	189名	121名	18名

〔上池台：認知症サポーター養成講座／認知症ステップアップ研修／オレンジカフェ上池台和の輪〕



〔六郷：認知症サポーター養成講座／認知症カフェ 笑顔の会〕

〔西六郷：ぷらっとカフェ〕



4. 介護予防支援事業

介護予防給付・介護予防ケアマネジメントにおいては、コロナ禍の要介護認定延長措置の終了と共に、要支援認定の方が増加し、予防プラン増となりました。各センターとも、地域の居宅介護支援事業所との連携を図り、委託割合 90%代に増やし維持することができました。

【介護予防給付・介護予防ケアマネジメント数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
年間給付総数	3,562	1,503	3,292	1,408	1,578	1,638
総数のうち包括作成	210	70	29	2	126	127
総数のうち委託作成	3,352	1,433	3,263	1,406	1,452	1,511
年間委託割合	94.1%	95.3%	99.1%	99.9%	92.0%	92.2%
総数のうち新規	126	69	162	56	43	54
総数のうち廃止	109	67	110	38	64	24
総合事業サービス終了者数	2	0	5	0	0	0

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

介護支援専門員からの相談内容は、困難ケース、虐待対応ケースの支援が主になっています。また、個別レベル地域ケア会議の参加を呼び掛ける等し、介護支援専門員と関係機関との連携を働きかけました。

地域の介護支援専門員への支援として、情報提供・勉強会・地域等との連携の機会を設ける場として連絡会を行いました。居宅介護支援事業所同志の集まり等にも参加し、講義を務める、情報提供を行う等の活動も行いました。「上池台」「六郷・西六郷」においては、民生委員と介護支援専門員との懇談会を開催し、包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築に努めました。

【介護支援専門員支援件数】

上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
1,573	1,165	803	676	1,116	357

【介護支援専門員との連絡会】

	上池台 雪谷・上池けあまねっと	六郷・西六郷 六郷地区介護支援専門員連絡会	馬込・南馬込 ケアマネカフェまごめ
開催数	2	5回	4回
延べ参加者数	47名	179名	84名

〔雪谷・上池けあまねっと〕



〔六郷地区介護支援専門員連絡会〕



〔ケアマネカフェまごめ〕



6. 高齢者見守りネットワークの充実

高齢者見守り事業の要となる「見守りキーホルダー」の登録・更新を進めてまいりました。照会件数が徐々に増えていることから、普及が進み活用され成果があらわれていると考えます。

また、地域の高齢者の見守りとして、実態把握事業を行いました。各センターとも電話や訪問にて実施、地域包括支援センターや高齢福祉サービスの周知、アンケートを行い地域課題の把握に努めました。

地域活動は、地域の関係機関と連携し、フレイル予防、自主グループ支援、介護家族支援など、様々な事業に取り組みました。自治会・町会、民生委員児童委員協議会、地域団体、出張所、医療機関等、多くの関係機関と連携し事業を行うことで、高齢者を見守りネットワーク構築を進めることができました。

【見守りキーホルダー事業】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
見守りキーホルダー新規登録	391	159	347	170	156	234
見守りキーホルダー更新登録	630	165	712	403	296	249
見守りキーホルダー照会件数	25	8	41	20	12	14
出張登録会	7回	0回	1回	1回	3回	3回

【高齢者実態把握事業】

上池台	「生きいきレポート」	
	対象者 70名	令和元年度 見守りキーホルダーを登録し更新の連絡のない高齢者を抽出。電話、訪問、郵送にて更新の案内を行った。
	把握実績 65名	包括の周知とハイリスク高齢者の早期発見・早期対応を目的とし、介護保険新規申請や高齢者見守りキーホルダーの更新再発行につなげた。
	熱中症予防啓発事業	
	対象者 12名	調布地域福祉課連携事業。調布管内の昭和20年生まれ（77～78歳）、一人暮らし登録者42名を対象とし包括の周知を行った。
	内容確認 12件	緊急連絡先の変更5件、見守りキーホルダー新規登録2件、必要時民生委員と情報を共有した。
嶺町	「笑顔で訪問 2023」	
	対象者 33名	2018年～2020年の対象者でアンケートや訪問の受け入れが良かった対象者及び2020年末把握高齢者一覧で予定していたが、訪問できなかった対象者。
	訪問実績 31名	事前に案内状を郵送し後日電話アンケートを実施。了承が得られた方には訪問を実施した。電話アンケート実施者は19名、訪問実施者は12名。実態把握の過程で支援が必要な場合には適切な制度等につなげた。介護保険申請2件、高齢者見守りキーホルダー登録2件、その他、シルバー人材センターや配食サービスの紹介などを実施した。
	「嶺町地区避難行動要援護者名簿登録者訪問」	
	対象者 33名	避難行動要援護者名簿登録者のうち、発災時火災延焼リスクの高い地域の対象者宅を民生委員と包括にて訪問実施。高齢者、身体障害者(児)、知的障害者(児)問わず、発災時の避難行動の確認や避難場所・方法などを聞き取り、対象者の実態把握を行った。
	訪問実績 28名	民生委員単独での訪問は15名、民生委員と包括職員との訪問は13名となる。知的障害者(児)を介護している家庭では、知的障害者(児)本人が避難場所になじめないことが予測され、避難できないと意見がある。次年度以降も対象者やエリアを検討し訪問を実施する予定。
六郷	「高齢者熱中症予防事業」	
	対象者 23名	65歳以上ひとり暮らし登録あり、介護認定なし、生活保護受給なし、障害手帳なしのうち、男性はS22～23年生まれ、女性はS15年生まれの方を対象とした。
	把握実績 20名	電話連絡、訪問とポスティングで19名と連絡を取ることができた。1名は家族と同居していたので対象から外れた。3名は連絡がつかず民生委員に状況を確認した。1名は連絡先が判明し電話で確認できた。他2名は値域福祉課により医療情報の照会を行った。
「未把握ひとり暮らし・高齢者のみ世帯訪問」		

	対象者 一人暮らし 82 名 高齢者世帯 135 名	未把握ひとり暮らし高齢者名簿から公営住宅に居住するひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯のうち、括六郷とつながりのない高齢者 217 名。
	把握実績 一人暮らし 42 名 高齢者世帯 89 名	事前資料を郵送後、訪問または電話でアンケートを実施した。近所とのつながりや健康への関心、風水害の避難先や栄養への関心について聞き取った。見守りキーホルダーやひとり暮らし登録の勧奨を行った。聞き取りができた高齢者は 131 名であった。
西六郷	「高齢者熱中症予防事業」	
	対象者 3 名	65 歳以上ひとり暮らし登録あり、介護認定なし、生活保護受給なし、障害手帳なしのうち、男性は S22 年生まれ、女性は S15 年生まれの方を対象とした。
	把握実績 3 名	電話連絡にて、全員連絡がとれた。
	「西六郷ひとり暮らし高齢者電話・訪問」	
	対象者 一人暮らし 62 名 高齢者世帯 56 名	未把握ひとり暮らし高齢者名簿から公営住宅に居住するひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯のうち、包括西六郷とつながりのない高齢者 118 名。
	把握実績 一人暮らし 45 名 高齢者世帯 44 名	事前資料を郵送後、訪問または電話でアンケートを実施した。近所とのつながりや健康への関心、風水害の避難先や栄養への関心について聞き取った。見守りキーホルダーやひとり暮らし登録の勧奨を行った。聞き取りができた高齢者は 89 名であった。
馬込	「まごめレポート」2023 馬込	
	対象者 70 名	「ひとり暮らし高齢者対象者一覧表」を活用、65～84 歳見守りキーホルダー未登録、包括相談履歴なし等を対象とし、新型コロナウイルス感染症が 5 類となり活動再開する中で見守りキーホルダー登録やフレイル予防を働きかけた。電話による登録勧奨、実態把握やアンケート等を実施した。
	把握実績 54 名	キーホルダー登録希望は 10 名内 7 名が登録につながった。シニアステーション参加希望 8 名、包括からの案内希望 36 名へ情報提供した。
南馬込	「まごめレポート」2023 南馬込	
	対象者 76 名	対象者・ヒアリングシートは、馬込・南馬込で統一して実施。
	把握実績 44 名	アンケート内容：見守りキーホルダーの希望、フレイル予防・シニアステーションの必要性、包括周知、困りごとの相談先有無等のアンケートから継続支援の必要性を導いた。

【地域活動】

	参加団体	支援内容
上池台	雪谷地区自治会連合会	活動支援・会議参加・講座実施等
	雪谷地区シニア会連合会	
	雪谷地区民生委員・児童委員協議会	
	上池台くるるの会	
	シニアオープンカレッジ	
	シニアレッスン	
	ほっとスマホステーション（雪谷ほっと会）	
	気晴らし会	
	介護家族会連絡会	地域の介護家族会の支援
	フレンズカフェ	
	あした会	介護予防教室の実施
	洗足区民センター運営協議会	運営会議支援
	荏原病院認知症疾患医療センター連携協議会/ 荏原病院認知症教室	関係各所との連携会議/活動支援
	大森十中避難所運営協議会	
	雪谷けあまねっと	関係各所との連携会議
雪谷地域包括ケアの会		
嶺町	みねまちポールウォーク会	参加・活動支援
	嶺町地区学校防災活動拠点訓練	
	東邦大学 HOHO いえラボ ココシリワーカーの会	
	ケアマネグリーンカフェ	
	嶺町特別出張所自衛消防訓練	
	特定加算算定居宅支援事業所勉強会	
	嶺町文化センターまつり 健康相談会	
	東久自治会 さわやか健康クラブ	
	避難行動要支援者名簿地図化作業	参加・活動協力
	嶺町地区合同パトロール	
	嶺町地区5町会クイズラリー	嶺町特別出張所の事業参加協力
	みたけクラブ	活動協力
	調布地区法人協 フードパントリー	
	嶺町地区こども食堂	
	民生委員のための防災講座	
	生き生き安心プロジェクト	
	みのり会	介護予防教室の実施
	六郷 西六郷	ご縁ネット（南六郷2丁目町会、南六郷2丁目UR団地自治会）
いきいき体操(六郷地区町会婦人部合同)		
ポールdeウォーク松の楽校Ⅲ		
仲六郷2丁目シルバーサロン		
南六郷2丁目UR団地介護予防教室		
南六郷2丁目UR合同企画		
待ってるよ～2020 西六		
演芸大会（シニアクラブ）		

	六郷小学校福祉体験授業		
	志茂田小福祉体験授業		
	高畑小福祉体験授業		
	高畑児童館高齢者体験会		
	南六郷二丁目団地防火防災診断		
	おおた福祉ネット（法人協会）		
	東六郷いこいの家多世代プロジェクト		
	梅ちゃん談話室		
	リモート相談会手と手		
	まちかど相談室		
	六郷図書館講座		
	フラミンゴのお菓相談会		活動協力
	たんぽぽの会		
	六郷 男の居場所		
	さくら会		
	かるがる体操		
	東京都スマホ相談会		
	青空健康体操		
おいじたくセミナー			
六郷ふれあいフェスタ	地域の介護家族会の支援		
グリーンカフェ・ガーベラ			
介護者の集い			
介護家族会連絡会			
馬込 南馬込	まごめ医療連携懇談会	活動支援・参加・講義等	
	ケアマネカフェまごめ		
	東馬込一丁目コミュニティづくり		
	ポール de ウォーク馬込文士村 I・II 楽校		
	馬込図書館		
	まごめ園		
	鳩友会		
	二本木町会「いきいきライフ」		
	まごめセカンドライフのすゝめ（まごめ青春 café 『リターンズ』）		
	みんな de ボッチャ		
	くらし健康あんしんネットおおた		
	まちかど相談室		
	貝塚中学校防災拠点会議、防災訓練		地域連携・参加
	馬込九町会合同防災訓練	地域の介護家族会の支援	
	介護家族会連絡会		
	ケアラーの集い		

【地域講座等（区民／事業者向け）】

	開催日	内容	参加人数
上池台	5/22	池の台シニア会 「地域包括支援センターの業務内容と見守りキーホルダー、自動録音機について」	35名
	5/25	シニアレッスン「高齢者向け住宅の基礎」「椅子ヨガ」	19名
	6/10	南雪谷自治会「熱中症予防講座」	18名
	6/19	シニアオープンカレッジ「熱中症予防講座」	18名
	6/27	雪谷ほっとスマホステーション 生活リハビリテーション講座 「生活を豊かにするスロートレーニング基礎編」7事業者参加 オンラインでの講座	好日苑 DS 13名
	7/4	いこいの家仲池上共催 「スマホ教室（ソフトバンク）」	20名
	7/14	東京都スマートフォン普及啓発事業 「スマホ相談会」	5名
	7/26	雪谷石川台自治会 「熱中症予防講座」	12名
	7/25	池上警察署「認知症講座」	41名
	7/27	4日間 開催中2日間を包括上池台で担当	42名
	8/2	洗足区民センター「いきいき健康相談会」 血管年齢測定、体成分分析、福祉用具展示	29名
	8/21	シニアレッスン「フレイル予防講座」「こころおどる音楽を」	24名
	8/29	雪谷けあまねっと「他のCMに聞いてみたい事」	25名
	9/6	小池小学校「高齢者体験」（カラーズ）白杖・車いす体験コース 4年生対象 4時間枠	150名
	9/25	シニアオープンカレッジ「終活セミナー」	20名
	10/11	笹丸自治会 年配者の会 「フレイル予防講座」	16名
	11/10	雪谷ほっとスマホステーション 東雪谷東中自治会館 「ジェネリック医薬品について」「スロートレーニング」 オンライン 4名参加	14名
	11/13	シニアオープンカレッジ 「ビューティーセミナー」資生堂	19名
	11/20	シニアレッスン「高齢者に多い消費者トラブル」「ハーブ演奏」	16名
	嶺町	2/19	シニアオープンカレッジ 「私のお金ノート」荏原病院
2/19		雪谷ほっとスマホステーション「生活リハビリテーション講座」 ウェルネスジム山王	19名
2/21		雪谷地域包括ケアの会「自宅で最期を迎えるためのポイント」	59名
2/27		雪谷けあまねっと「CMが知っておくべき地震対策」	22名
4/6		元気維持事業「スマホ教室」	9名
4/13		元気維持事業「健康づくり栄養Ⅰ」	16名
4/15		元気維持事業「いつもの暮らしでしっかり防災 食の備蓄編」	17名
5/15		元気維持事業「健康長寿の秘訣」	14名
6/1		元気維持事業「スマホ教室」	14名
6/8		元気維持事業「ずっと元気に過ごすために」	9名
6/17		元気維持事業「歩行分析体験会」	19名
7/7		元気維持事業「活動するためのフットケア」	15名
7/13		元気維持事業「今日から始める介護の備え」	8名
7/19	元気維持事業「熱中症予防」	13名	
7/28	元気維持事業「口から始める健康講座」	14名	
8/3	元気維持事業「栄養の話と在宅医療のすすめ」	14名	
8/19	元気維持事業「知っておきたい！葬儀の知識」	18名	

	8/21	元気維持事業「健康的な栄養習慣」	10名
	9/7	元気維持事業「自宅で工夫できる栄養の話」	18名
	9/14	元気維持事業「高齢者の交通安全集会」	16名
	10/5	元気維持事業「「予防脳」を活性化！」	7名
	10/13	元気維持事業「How to 在宅医療」	16名
	10/21	元気維持事業「認知症サポーター養成講座」	14名
	10/26	元気維持事業「防災講話」	10名
	11/9	元気維持事業「栄養話と在宅医療のすすめ」	9名
	11/17	元気維持事業「フレイル～心の不調から～」	14名
	12/7	元気維持事業「基礎から学ぶ相続対策」	11名
	12/16	元気維持事業「オーラルフレイルって何？」	20名
	12/19	元気維持事業「塩分摂り過ぎていませんか？」	18名
	1/25	元気維持事業「口から始める健康講座」	18名
	1/30	元気維持事業「わいわい健康相談会」	9名
	2/3	元気維持事業「元気なうちから人生会議」	20名
	2/8	元気維持事業「こころと身体 の健康Ⅰ」	18名
	2/22	元気維持事業「栄養の話と在宅医療のすすめ」	14名
	2/29	元気維持事業「知って得する！医療の話！」	18名
	3/7	元気維持事業「こころと身体 の健康Ⅱ」	18名
	3/29	元気維持事業「ADE ってなに？」	12名
	7/8	東久自治会 打水会	5名
	9/30	ゆうもあクラブ「フレイル予防講座」	11名
	7/28	嶺福寿会「熱中症予防講座」	20名
	6/6	エリア内居宅支援事業所「地域活動について」講義	6名
	6/20	自主民協 事例検討	25名
	8/10	東京都スマホ普及支援事業「スマホ相談会」	6名
	2/14	まちかど相談室	16名
六郷 西六郷	5/13	六郷学び舎「最近見えづらいけど病気かな？」	37名
	7/8	六郷学び舎「ご自宅で最期をむかえる心構え ～あなたと大切な誰かの「もしもの時」について考えてみませんか～」	31名
	9/9	六郷学び舎「40歳を過ぎたら考えたい親のこと」	11名
	11/11	六郷学び舎「今！知っておきたい！自宅でいつまでも過ごすための備え」～地域包括支援センターに相談しよう～	29名
	1/13	六郷学び舎「セルフマッサージでこころとからだの疲労回復！」	26名
	3/9	六郷学び舎「老いは口元から!?健口生活で健康長寿!!」	15名
	11/6	六郷図書館「知ろう、防ごう認知症！」	17名
	3/18	六郷図書館「お口の健康は元気の源」	10名
西六郷	5/17	西六元気でGO！「フレイル予防体操」	13名
	7/19	西六元気でGO！「フレイル予防体操」	13名
	9/20	西六元気でGO！「フレイル予防体操、チェアヨガ」	10名
	10/24	西六元気でGO！「フレイル予防体操」	10名
	11/28	西六元気でGO！「フレイル予防体操」	12名
	12/26	西六元気でGO！「フレイル予防体操」	13名
	1/22	西六元気でGO！「フレイル予防体操」	11名
	2/8	西六元気でGO！「フレイル予防体操」	12名

	3/26	西六元気でGO!「フレイル予防体操」	5名
馬込 南馬込	5/30	馬込学び舎「地域に生きる～地域包括支援センターの役割」	16名
	11/25	馬込学び舎「食事と健康」@馬込図書館福祉フェス	12名
馬込	5/29	シニアステーション馬込「フレイル予防：筋力アップ」	22名
	7/4	馬込ゆりの木公園「体力測定会」	11名
	8/31	シニアステーション馬込「ボランティア」チームまごの手募集	25名
	11/14	シニアステーション馬込「高齢期の住まいパート1 施設で暮らす」	25名
	11/28	シニアステーション馬込「高齢期の住まいパート2 自宅で暮らす」	25名
	9/15	チームまごの手活動「体力測定会」	5名
	11/16	チームまごの手活動「お役立ちガイド製本、資料セット」	4名
	11/25	チームまごの手活動「馬込図書館福祉フェス」	11名
	2/14	チームまごの手活動「お役立ちガイド製本、資料セット」	4名
	南馬込	4/11・25	馬込健康塾「包括・シニアステーション案内・フレイル予防体操」
5/9・23		馬込健康塾「フレイル予防について・フレイル予防体操」	20名
6/13・27		馬込健康塾「介護保険について・フレイル予防体操」	21名
7/11・25		馬込健康塾「熱中症予防について・フレイル予防体操」	23名
8/8・22		馬込健康塾「見守りキーホルダー案内・フレイル予防体操」	18名
9/12・26		馬込健康塾「防災について・フレイル予防体操」	22名
10/10・24		馬込健康塾「総合事業について/口からはじめる健康講座」案内・フレイル予防体操	22名
11/14・28		馬込健康塾「感染症対策/老いじたく案内・フレイル予防体操」	25名
12/12・26		馬込健康塾「ひとり暮らし登録案内・フレイル予防体操」	17名
1/9・23		馬込健康塾「感染症について・フレイル予防体操」	22名
2/13・27		馬込健康塾「特殊詐欺予防について・フレイル予防体操」	17名
3/12・26		馬込健康塾「認知症サポーター養成講座」について・フレイル予防体操	11名

上池台

〔シニアオープンカレッジ〕



〔シニアレッスン〕



〔上池台くるるの会〕



〔生活リハビリテーション講座〕

〔さくらフェスティバル〕

〔元気力向上!あした会〕



嶺町

〔みねまちポールウォークの会〕

〔シニアステーション東嶺町 地域講座〕



〔嶺町文化センターまつり〕

〔TOHO いえラボ〕

〔介護予防教室みのり会〕



六郷・西六郷

〔六郷学び舎〕

〔まちかど相談室 打合わせ〕



〔仲六郷二丁目シルバーサロン〕

〔南六郷 UR 団地合同企画〕

〔東京都スマホ相談会〕



〔まってるよ～2020 西六〕



〔西六元気でGo〕



〔六郷図書館フレイル予防講座〕



馬込・南馬込

〔馬込図書館福祉フェス〕



〔ゆりの木公園測定会〕



〔馬込学び舎〕



〔地域講座〕



〔まごめ園ボッチャ交流会〕



〔みんなでボッチャ〕



〔まごめ青春café〕



7. 地域包括ケアシステムの深化・推進

日常生活圏域(特別出張所地区)における、地域包括ケアシステムの深化・推進として、日常生活圏域レベル地域ケア会議を行いました。テーマは、「一人暮らし高齢者の支援」「医療との連携」「民生委員と介護支援専門員との連携」等を取り上げ、地域住民、関係機関と共に地域にある様々な課題解決に取り組んでまいりました。

また、地域、行政の会議など多くの場面を通して、地域の状況・課題把握し、地域包括ケアシステムの深化・推進を図るための情報提供・意見交換を行いました。

【地域ケア会議開催回数】

	上池台	嶺町	六郷	西六郷	馬込	南馬込
個別レベル会議	3	1	7	9	8	8

【日常生活圏域レベル地域ケア会議開催】

	開催日	内容	参加者数
上池台	9/7	「家族の問題に振り回された事」 「独居高齢者の支援」	49名 (福祉・介護・医療)
	10/3	「家族の問題に振り回された事」 「独居高齢者の支援」	51名 (福祉・介護・医療)
	2/21	「自宅で最期をむかえるためのポイント」	59名 (福祉・介護・医療)
嶺町	R5. 6. 20	「一人暮らし高齢者の見守りについて」	22名 (民生委員 14名・福祉関係 8名)
嶺町・ 田園調布	R6. 2. 1	「最後まで願いをかなえるチーム支援～在宅の緩和ケアを通して見えること～」	59名 (医療側 27名・介護側 32名)
六郷・ 西六郷	R5. 8. 24	「民生委員と介護支援専門員との連絡会」 ～お互いの業務を知り つながりを深めよう～	78名 (六郷地区民生委員・児童委員 35名、介護支援専門員 36名、蒲田地域福祉課 2名)
馬込・ 南馬込	R5. 6. 15 第1回	第1回「高齢者に起こりうる困りごと、できること」	29名 (介護側 18名、医療側 11名)
	R6. 3. 21 第2回	第2回「地域での見守りとは」	20名 (介護側 14名、医療側 6名)

【各種会議状況】

	会議名
行政 包括共通	大田区地域包括支援センター連絡会 (内部検討会)
	地域福祉課管内地域包括支援センター連絡会 (調布・蒲田・大森地区)
	地域福祉課管内見守りささえあいコーディネーター連絡会(調布・蒲田・大森地区)
	地域福祉課訪問指導事業従事者(看護職等)連絡会(調布・蒲田・大森地区)
	介護支援専門員連絡会運営委員会 (調布・蒲田・大森地区)
地域	地域力推進会議
	民生委員児童委員協議会

【日常生活圏域レベル会議】 [上池台]

[嶺町]



〔六郷・西六郷〕



〔馬込・南馬込〕



II 認知症支援コーディネーター事業

1. 認知症の疑いのある人の早期発見・診断・対応支援

「認知症支援コーディネーター事業」の相談実績は、新規1件、延べ91件と、ほぼ前年度同様の相談件数となりました。相談内容は、認知症の問題行動、受診拒否のケースの相談、家族支援が主となりました。区内の地域包括支援センターが行う認知症支援のバックアップ、医療や必要なサービスに繋ぐ役割を果たしました。

【認知症支援コーディネーター事業 相談実績】

	年間数
認知症支援コーディネーターが受けた認知症の相談件数	19
初回相談件数	19
相談延べ件数	91
認知症支援コーディネーターの訪問支援件数	12
訪問支援件数(実人数)	12

相談内容別内訳	年間数
行動・心理症状 (B P S D)	25
医療機関への受診・受療に関わる相談 (未診断・受療拒否・身体的問題)	47
入院に関わる相談	17
生活機能障害	9
患者・家族の心理的サポート、ケア等に関わる相談 (家族の介護負担含む)	41
介護保険 (サービス) に関わる相談 (介護サービス拒否含む)	24
福祉サービスに関わる相談	4
消費者トラブルに関わる相談	0
権利擁護に関わる援助 (高齢者虐待に関するを含む)	15
経済問題に関わる援助	9
すまい (特養入所、都営住宅入居等) に関わる相談	8
介護予防に関する相談	4
その他	13

2. 認知症関連事業の支援

認知症の方を含めたすべての人々が、その個性と能力を發揮し支えあう「地域共生社会」を目指し、大田区としてのチームオレンジへの取り組みを中心に、認知症部会や認知症地域支援推進員連絡会等に参加し検討を続け、「大田区チームオレンジ推進事業実施要綱」の制定に協力しました。

また、認知症サポーターステップアップ研修等を開催、荏原病院認知症疾患医療センター・地域包括支援センター等と連携し地域講座の企画・開催を行い、認知症とその予防について等、啓発活動を大田区全域に渡り行い、認知症施策推進に努めました。

【認知症に関する会議・研修等の活動実績】

会議名	内容	回数
令和5年度認知症専門部会	大田区認知症施策の検討	10
認知症地域支援推進員対応力時向上研修	認知症地域支援推進員の役割、疾患理解、意思決定支援、事例検討	1
認知症初期集中支援チーム事業検討委員会	初期集中支援チーム活動報告、事例紹介、認知症検診推進事業実績報告、意見交換	1
大田区地域包括支援センター連絡会(全体)	認知症支援コーディネーター事業説明	1
認知症地域支援推進員連絡会 (大森/調布/蒲田/糎谷・羽田)	基本圏域における認知症対応、チームオレンジへの取り組み等を検討	25
地域福祉課看護職連絡会(調布・大森)	認知症支援コーディネーター事業報告・連絡	7
調布地区見守りささえあいコーディネーター連絡会	前回内容に対する意見・感想、次年度取り組むテーマの検討	10
個別地域ケア会議(各包括)	認知症困難事例、地域での見守りについて意見	2
認知症サポーター養成講座 (小学校・大田区職員等)	認知症とは、認知症サポーターとは、活動等	3
認知症サポーターステップアップ研修	認知症サポーターとしての地域活動について等	4
調布地域チームオレンジ登録者懇談会	チームオレンジについて参加者と懇談	1
雪谷地区民生委員児童委員協議会 (自主民協)	大田区の認知症施策について講義	1
認知症カフェ(デニーズ)	もの忘れの相談、認知症介護の相談等	2
荏原病院認知症疾患医療センター連携協議会	荏原病院、東京都、大田区、品川区の取り組み	2
荏原病院認知症センターミーティング	大田区内における認知症啓発について検討	6
認知症疾患医療センター地域講座	「人生会議」について	1
ココシリ/ワーカーの会 (暮らしの保健室 いえラボ)	地域資源情報の共有、専門職の情報交換、コロナ禍の支援	1
上池台くるるの会	認知症の話し	1
ケアラーの会(包括馬込)	介護・受診・お金等の相談	2

Ⅲ 地域福祉コーディネート事業

令和5年度より、「地域支え合い強化推進事業」から「地域福祉コーディネート事業」へと委託名が変更となり、令和6年度より委託が大田区社会福祉協議会へ一本化されることとなったため、この年度をもって受託終了となりました。配置職員1名は、引き続き勤務地を大田区社会福祉協議会とし、社協職員12名と他法人職員2名と共に合計15名で、「地域福祉コーディネーター」として活動を行いました。「大田区重層的支援体制整備事業」の一旦を担うものとして、多世代、多機関、地域との連携活動、個別相談支援を行いました。

1. 重層的支援体制整備事業への取り組み

令和5年度も個別支援に関しては、生活困窮による相談および食糧支援が多くありました。初めて相談機関につながった方もいますが、今までに生活福祉課やJOBOTA等の生活相談支援機関に足を運びながらも、問題が最後まで解決されず、改めて相談をすすめるケースが多く見られました。それぞれの機関での情報が個々で切れてしまっていたことが要因と考えられます。重層的支援体制が本格的に始まったこともあり、今後はそれぞれの関係機関の協働による情報共有が重要になってくると考えます。

令和6年度大森地区個別支援

【個別ケース支援 初回相談者】

相談者	本人	家族	民生委員	住民	専門職	社協内部	その他	合計
件数	48	3	5	1	2	1	3	63

【相談のきっかけ】

きっかけ	アウトリーチ先	広報	専門職	その他外部	食料支援	貸付	その他内部	合計
件数	9	3	2	12	23	5	9	63

【状態】(複数選択)

状態	高齢	障害	精神発達	児童	生活困窮	ひきこもり	身体疾患	外国籍	ジェンダー	ひとり親	孤立	その他	合計
件数	9	2	19	4	41	6	5	3	0	3	7	9	108

【主訴】

状態	住居	生活困窮	就労	病気	介護	家族関係	虐待	社会参加	その他	合計
件数	2	35	2	6	0	6	0	6	6	63

地域活動においては、住民に近い存在である民生委員との関わりを重視し、民生児童委員協議会等に参加し、情報や相談を少しずつ挙げていただくことに繋がりました。また、地域において活動を行っている社会福祉法人と連携をとり「地域の皆さんに何ができるのか？」を検討してまいりました。令和5年度においては、池上地区で開催される「池上まつり」に大森地区社会福祉法人協議会として複数の法人の皆様と参加し、「社会福祉法人って何？」という視点をベースに、来場された地域の皆様に説明を行い、交流を図ることができました。

社協にて、令和4年度から本格的に開始された「子どもの居場所事業」も、令和5年度はスタッフを増やし内容の検討を重ねてまいりました。学校に登校が出来ない子ども達の居場所を毎月開催したり、長期休暇中に外出が難しい子どもたちを対象に電車を使って外出をしたりと、活発に活動することが出来ました。今まで外出が出来なかった児童が毎回参加するようになり、また少しずつひきこもり児童が学校に登校できるようになり、成果が感じられました。

3年間の社会福祉協議会での活動は、高齢者分野以外の事業と関わる機会をいただき、広い視野を持つことや多くの学びとなりました。

〔大森地区法人協議会〕



〔池上まつり〕



〔社協実践報告会〕



〔子ども居場所支援〕



〔ミッキークラブ(馬込地区民協)〕

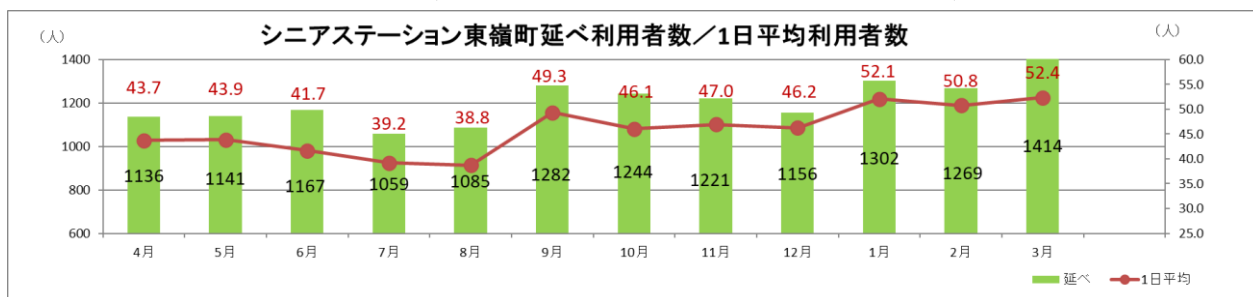


1. シニアステーション事業の活発化

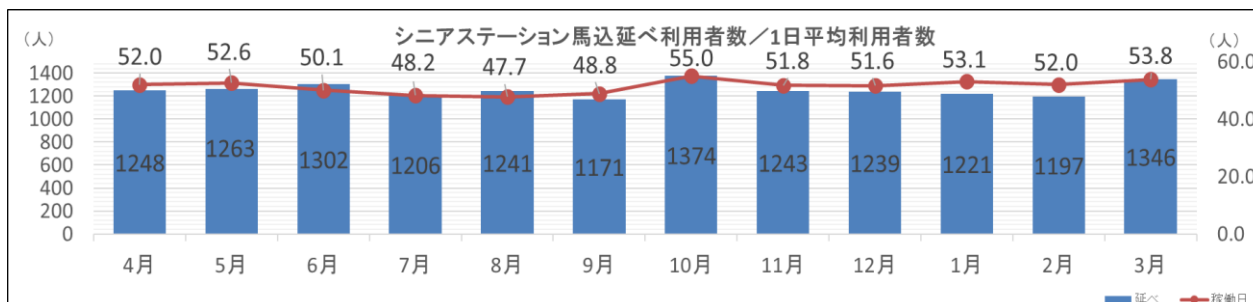
新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、プログラム定員人数を通常とし、引き続き感染症対策を行いながら事業運営を行いました。運動系プログラム、文化系プログラム、地域講座等、多彩なプログラムを実施しました。特に、地域包括支援センターと協働の地域講座等は「多世代」を対象とし、幅広い世代の地域住民を対象に啓発活動を行いました。各シニアステーションとも、昨年度を上回る利用者数となり、新規利用者也各々年間100名前後を獲得しました。

また、地域との関係性構築と推進を目的とした「運営推進会議」を参集型で開催しました。利用者・自治会町会・民生委員に参加いただき、プログラム活動報告、利用者アンケート結果等の報告を行いました。プログラムや広報等について、アドバイスをいただく機会となりました。

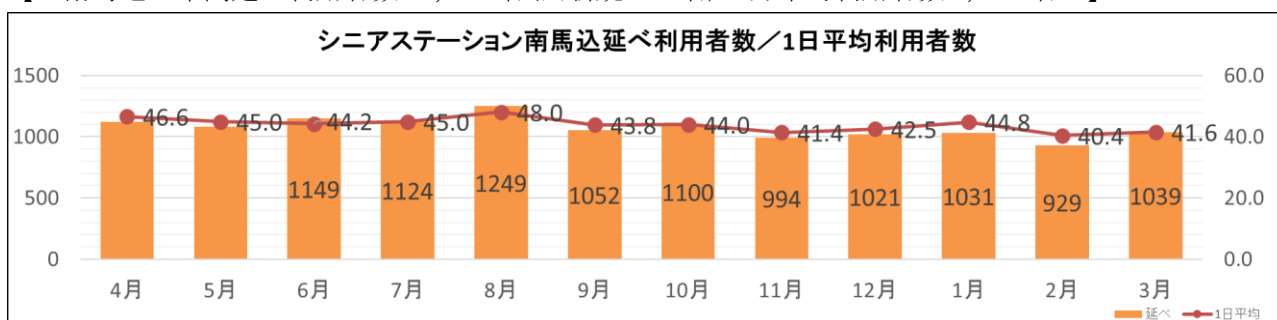
【 東嶺町 年間延べ利用者数 14,476名(内新規96名) 月平均利用者数 1,206名 】



【 馬込 年間延べ利用者数 15,051名(内新規92名) 月平均利用者数 1,254名 】



【 南馬込 年間延べ利用者数 12,886名(内新規103名) 月平均利用者数 1,074名 】



令和5年度 シニアステーション東嶺町 活動参加者数				
	教室タイトル	参加人数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	体操マルシェ	958人	78回	12人
	リフレッシュ体操	2629人	216回	12人
	わくわくエクササイズ(エルダー使用)	1020人	68回	15人
	盆ダンスdeわくわく (エルダー使用)	127人	14回	9人
	マッサージ	353人	36回	10人
	夜間週末貸出事業	604人	76回	8人
シ ニ ア 職 員 講 師	こつこつ筋トレ	209人	14回	15人
	今日も笑顔で	625人	41回	15人
	女性のための骨盤体操	97人	12回	8人
	クラフトびより	20人	3回	7人
	臨時(職員+響会You Tube体操)	3人	1回	3人
	体操+お楽しみ	62人	6回	10人
	はじめてのピラティス	138人	7回	20人
外 部 講 師 派 遣	アクティブシニア体操	734人	47回	16人
	リズムでフィットネス	667人	47回	14人
	太極拳教室	431人	47回	9人
	ダンディ東嶺町	139人	21回	7人
	健幸体操	365人	24回	15人
	Joy of the YOGA~シニアヨガ~	51人	12回	4人
	健康寿命体操(シナプソロジー)	180人	26回	7人
	ポールで歩こう	208人	22回	9人
	出張レッスン(アグリマス株式会社)	60人	4回	15人
	カムカム体操(オンライン)	16人	1回	16人
単 発 イ ベ ン ト	地域講座(※『防災』に関する講座2回は「自衛消防訓練」として実施)	545人	39回	14人
	特別講座(※内『スマホ相談会』18回 133名)	307人	30回	10人
	季節のイベント(新春祝い太鼓)	40人	2回	20人
	敬老の日イベント(演奏会・ミュージカル)	61人	3回	20人
	音楽関係	50人	3回	17人
	笑タイム	15人	2回	8人
	多世代交流会(クオリスキッズくがはら保育園のみ対面で開催)	11人	1回	11人
	作品展	279人	10回	28人
	歩行分析体験会	52人	1回	52人
その他(ミュージカル)	21人	1回	21人	
サ ロ ン	手仕事の時間	194人	21回	9人
	フラワーアレンジメント教室	91人	12回	8人
	趣味の時間	242人	23回	11人
	囲碁	95人	30回	3人
	切手整理ボランティア	125人	17回	7人
	カードゲームでわっはっは	40人	3回	13人
	その他(静養室利用)	7人	4回	2人
その他	自衛消防訓練(※2回22人 地域講座『防災』でカウント)			
	その他(予約・休憩)	1847人	288回	6人
計①		13718人	1313回	
ボランティア・多世代②(90人+668人)		758人	274回	3人
総合計(①+②)		14476人	1587回	

令和5年度 シニアステーション馬込 活動参加者数				
	教室タイトル	参加人数	開催回数	平均参加者数
区 関 係 事 業	【夜間週末貸出事業】 部屋貸し	397人	44回	9人
	【映像による体操】 アグリマス(株)配信	1546人	165回	9人
	【映像による体操】 健康王国(joysound)	641人	78回	8人
	【joysound】 みんなで合唱	33人	2回	17人
	【大森地域福祉課】 口から始める健康講座	16人	2回	8人
	【消費者生活センター】 暮らしの安全術	8人	1回	8人
	【高齢福祉課/基盤課】 詐欺被害防止講座	72人	5回	14人
	【基盤管理課】 交通安全集会	12人	1回	12人
シ ニ ア ・ 包 括 職 員 講 師	【体操】 骨盤底筋運動	73人	12回	6人
	【体操】 荒井さんのけんこう体操	1314人	82回	16人
	【ポッチャ】 ポッチャ	375人	34回	11人
	【ポッチャ/男性のみ】 プリンスポッチャ	53人	8回	7人
	【ポッチャ/地域交流】 まごめ園ポッチャ	27人	5回	5人
	【ポッチャ/多世代交流】 中馬込児童館ポッチャ	6人	1回	6人
	【輪踊り】 WAになって踊ろう！	585人	50回	12人
	【オレンジカフェ】 オレンジカフェ&チェア体操	107人	11回	10人
	【文化】 美しい日本の文化	186人	24回	8人
	【文化】 コロリアージュ	351人	28回	13人
	【DVD鑑賞会】 キネカ馬込	199人	14回	14人
	【イベント】 新春祝い太鼓	19人	1回	19人
	【地域講座】 シニア職員講師	31人	4回	8人
	【地域講座】 包括,シニア共同	35人	2回	18人
【地域講座/多世代交流】 認知症サポーター養成講座	14人	1回	14人	
外 部 講 師 派 遣	【体操】 アクティブシニア体操	879人	51回	17人
	【体操】 リズムでフィットネス	958人	49回	20人
	【体操】 健康寿命体操	614人	43回	14人
	【体操】 久野先生の健康元気体操	739人	44回	17人
	【体操】 治癒力を高めよう！	73人	10回	7人
	【体操】 実演！ 足腰らくらくチエア体操	55人	4回	14人
	【体操】 ZOOM 足腰らくらくチエア体操	13人	2回	7人
	【体操】 イチから教わる太極拳	518人	49回	11人
	【体操】 整う体と心の椅子ヨガ	814人	45回	18人
	【文化】 墨絵文字	106人	12回	9人
	【文化】 花遊び	81人	12回	7人
	【スマホ】 スマホ講座	71人	7回	10人
	【スマホ】 デジタル庁スマホ相談会	182人	29回	6人
	【単発】 自分のカラダを知ろう!筋肉測定会	23人	1回	23人
	【地域講座】 自衛消防訓練/防災講座	24人	2回	12人
	【地域講座】 定期講座(保険会社FP)	89人	9回	10人
	【地域講座】 フットケア	13人	1回	13人
	【多世代交流】 資生堂ビューティーセミナー	42人	3回	14人
	【多世代交流】 歩行測定会	101人	3回	34人
	【地域講座/多世代交流】 高齢期の住まい	44人	2回	22人
【演奏会/多世代交流】 マリンバ&ピブラフォン	20人	1回	20人	
サ ロ ン	囲碁	144人	72回	2人
	【単発】 ハンドマッサージ&ネイルケア	17人	2回	9人
	【ボランティア育成】 mini英会話教室	55人	29回	2人
そ の 他	自衛消防訓練 (※2回 24人 地域講座『防災』でカウント)			
	予約・休憩	2334人	499回	5人
	小計①	14109人	1556回	
	ボランティア・多世代②	850人	244回	3人
	総合計(①+②)	14959人	1800回	

令和5年度 シニアステーション南馬込 活動参加者数				
	教室タイトル	参加人数	開催回数	平均参加者数
区関係事業	【映像体操】足腰らくらくチェア体操/アグリマス(株)	334人	52回	6人
	【映像体操】けんこうTVストレッチ/アグリマス(株)	454人	45回	10人
	【映像体操】オンラインレッスン/アグリマス(株)	60人	4回	15人
	【映像体操】健康王国タイム/ジョイサウンド	893人	58回	15人
	【映像体操】健康ゆったりタイム/ジョイサウンド	512人	40回	13人
	【映像体操】盆踊り/ジョイサウンド	19人	3回	6人
	夜間週末部屋貸出事業	0人	0回	0人
	【講座】口から始める健康講座(地域健康課)	35人	2回	18人
	【講座】暮らしの安全術(大田区消費者センター)	15人	1回	15人
	【講座】交通安全集会(大田区都市基盤整備部)	22人	1回	11人
【講座】特殊詐欺防止啓発活動(高齢福祉課・警察)	80人	6回	13人	
ニア・包括職員講師(体操・サロン含)	楽しくエクササイズ	973人	47回	21人
	脱フレイルプロジェクト	162人	24回	7人
	骨盤底筋体操	216人	21回	10人
	健活!	135人	10回	14人
	馬込男の居場所	197人	23回	9人
	おりがみくらぶ	313人	25回	13人
	大人のぬり絵くらぶ	210人	24回	9人
	ボランティアくらぶ	181人	23回	8人
	ふらわーくらぶ	7人	1回	7人
	カーレット	230人	22回	10人
	ポッチャ	261人	24回	11人
	馬込分場と交流会(ポッチャ)	12人	1回	12人
	敬老お祝いイベント	42人	3回	14人
	オレンジカフェ(認知症カフェ)	18人	8回	2人
	地域講座「地域に生きる 包括の役割」	28人	2回	14人
認知症サポーター養成講座	11人	1回	11人	
外部講師派遣(体操・サロン・講座)	アクティブシニア体操	281人	45回	6人
	リズムでフィットネス～カラフィット～	873人	44回	20人
	骨元気体操～やさしくステップ～	477人	24回	20人
	体づくりトレーニング	905人	42回	22人
	太極拳木曜クラス	441人	45回	10人
	太極拳金曜クラス	399人	44回	9人
	太極拳土曜クラス	433人	45回	10人
	健康寿命体操	185人	19回	10人
	YOGA	266人	23回	12人
	ポールdeウォーク南馬込文士村楽校	75人	14回	5人
	手話ダンスを楽しもう	72人	11回	7人
	姿勢ウォーキング	115人	12回	10人
	出張レッスン/アグリマス(株)	84人	4回	21人
	カムカム体操オンライン	186人	27回	7人
	お手玉くらぶ	47人	8回	6人
	地域講座 ※『防災』に関する講座2回は「自衛消防訓練」として実施	207人	14回	15人
スマホ個別相談室(地域ボランティア)	43人	20回	2人	
東京都主催スマートフォン体験会	10人	1回	10人	
東京都主催スマートフォン相談会	226人	42回	5人	
インスト発表	演奏会(サクソ・二胡・ギター・打楽器・詩吟)	225人	10回	23人
	歩行分析測定会(早稲田エルダリーヘルス事業団様)	88人	2回	44人
サロン他	囲碁・将棋	270人	175回	2人
その他	自衛消防訓練(※2回26人/地域講座『防災』でカウント)			
	その他(申込・休憩など)	383人	269回	1人
計①		11711人	1411回	
ボランティア・多世代		1175人	293回	4人
総合計 ①+②		12886人	1704回	

【東嶺町 プログラム風景】

〔カードゲームでわっはっは〕



〔はじめてのピラティス〕



〔お楽しみ+体操(輪投げ)〕

〔作品展〕



〔クラフトびより〕

〔保育園交流会〕

〔ミュージカル〕



【馬込 プログラム風景】

〔まごめ園とのポッチャ〕

〔みんなで合唱〕

〔運営推進会議〕



〔花遊び〕

〔整う体と心の椅子ヨガ〕

〔久野先生の健康元気体操〕



〔防災地域講座〕



〔敬老行事/作品展示〕



〔新春祝い太鼓〕



【南馬込 プログラム風景】

〔体力づくりトレーニング〕



〔太極拳(地域ボランティア)〕



〔脱フレイル project〕



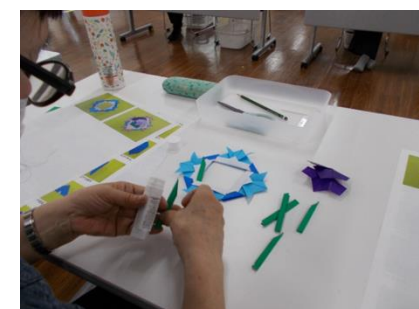
〔馬込分場とボッチャ〕



〔男の居場所〕



〔おりがみくらぶ〕



〔お手玉くらぶ〕



〔ロック&フォーク★ライブ〕



〔スマートフォン相談会〕



【シニアステーション 利用者アンケート】

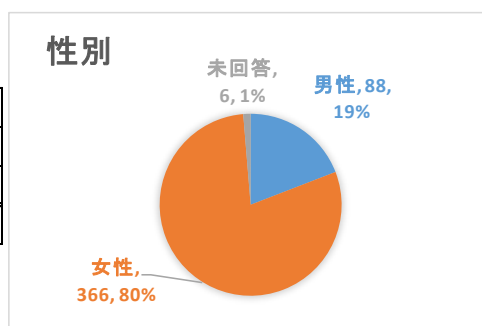
シニアステーション東嶺町・馬込・南馬込にて、利用者約 150 名に対してアンケートを行いました。「全般的な満足度」は、とても満足と満足を合わせると 86%となり、地域に楽しく通える場として定着していると思われます。また、「介護予防・フレイル予防に役立っている」と 88%の方が回答していることから、着実に事業の目的が達成出来ていると考えます。

シニアステーション東嶺町・馬込・南馬込 令和5年度 利用者アンケート

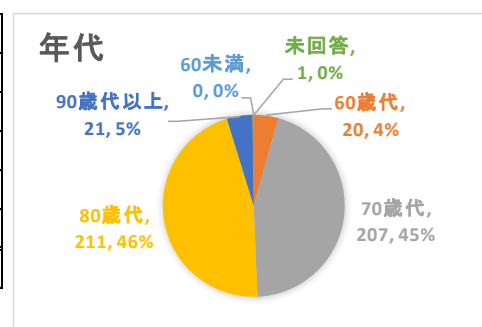
実施期間：令和5年10月～11月

1 あなたのことをご記入ください。

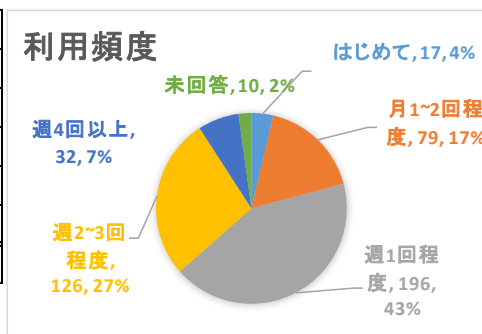
		3施設合計	東嶺町	馬込	南馬込
性別	男性	88	31	23	34
	女性	366	128	116	122
	未回答	6	0	6	0
	合計	460	159	145	156



		3施設合計	東嶺町	馬込	南馬込
年代	60未満	0	0	0	0
	60歳代	20	10	7	3
	70歳代	207	70	74	63
	80歳代	211	69	57	85
	90歳代以上	21	10	6	5
	未回答	1	0	1	0
	合計	460	159	145	156

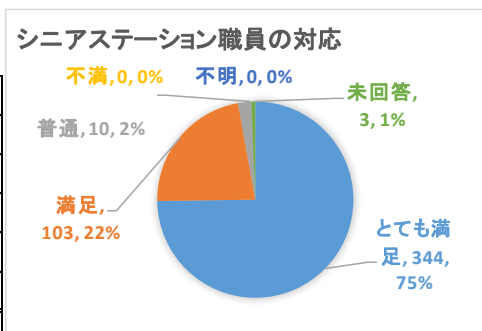


		3施設合計	東嶺町	馬込	南馬込
利用頻度	はじめて	17	3	12	2
	月1~2回程度	79	37	19	23
	週1回程度	196	75	57	64
	週2~3回程度	126	32	34	60
	週4回以上	32	12	13	7
	未回答	10	0	10	0
	合計	460	159	145	156



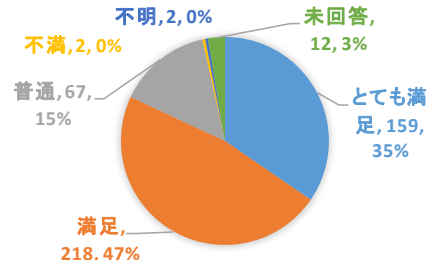
2 シニアステーションを利用されてどう感じましたか。

		3施設合計	東嶺町	馬込	南馬込
シニアステーションの職員の対応はいかがですか	とても満足	344	119	101	124
	満足	103	39	35	29
	普通	10	1	6	3
	不満	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0
	未回答	3	0	3	0
	合計	460	159	145	156



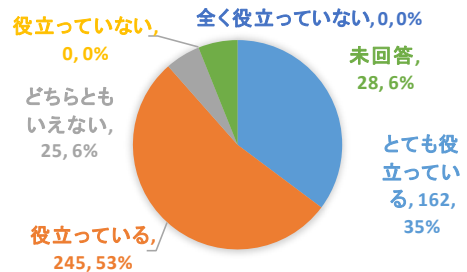
		3施設合計	東嶺町	馬込	南馬込
プログラム、講座の内容や開催回数についての満足度はどのくらいですか	とても満足	159	53	46	60
	満足	218	77	69	72
	普通	67	27	19	21
	不満	2	0	2	0
	不明	2	0	0	2
	未回答	12	2	9	1
	合計	460	159	145	156

プログラム・講座・回数について



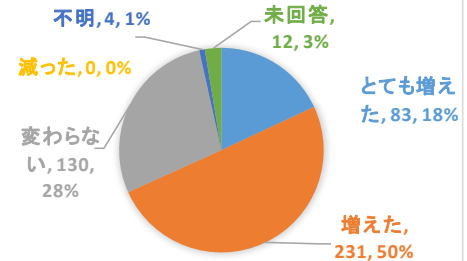
		3施設合計	東嶺町	馬込	南馬込
体操や運動を取り入れたプログラムは介護予防・フレイル予防に役立っていますか	とても役立っている	162	57	44	61
	役立っている	245	89	76	80
	どちらともいえない	25	6	9	10
	役立っていない	0	0	0	0
	全く役立っていない	0	0	0	0
	未回答	28	7	16	5
	合計	460	159	145	156

介護予防・フレイル予防として



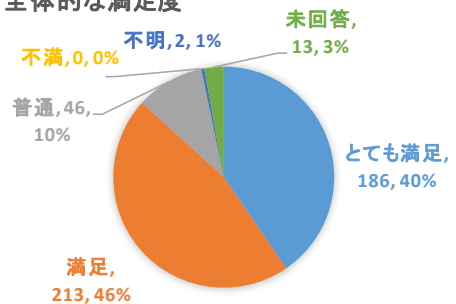
		3施設合計	東嶺町	馬込	南馬込
シニアステーションを利用して、外出や人と話しをする機会は増えましたか	とても増えた	83	31	20	32
	増えた	231	81	71	79
	変わらない	130	45	41	44
	減った	0	0	0	0
	不明	4	1	3	0
	未回答	12	1	10	1
	合計	460	159	145	156

外出・人との交流について



		3施設合計	東嶺町	馬込	南馬込
シニアステーションについて、全般的な満足度はどのくらいですか	とても満足	186	68	47	71
	満足	213	75	67	71
	普通	46	14	21	11
	不満	0	0	0	0
	不明	2	0	2	0
	未回答	13	2	8	3
	合計	460	159	145	156

全体的な満足度



V 人財育成

令和5年度より、各センターより係長または主任等の人材育成を担う職員を構成メンバーとした、包括業務改善部会を立ち上げ、研修に係る事務作業や、新人研修の内容確認や統一を図りました。今後も包括運営や業務に係る案件を検討する部会として継続していきます。

内部研修「6包括合同研修」を積極的に行い、センター横断的に集う機会を設け、包括・シニアステーション職員の交流とスキルアップに努めました。「東京都登録講師派遣事業」を活用し、10名程度の少人数でワークを行い、楽しく仕事を続けることや職場づくりを共に学びました。日頃の業務と自身の業務に向き合う姿勢を振り返る機会となりました。

また、外部研修に積極的に参加し、幅広い知識の習得に努め、その内容をセンター内にて伝達研修として行い、職員周知を図りました。

【内部研修】

研 修	目的・内容
BS（ベーシックスキル）研修	新入職員に対して行う法人主催の研修。全体研修として、組織の事業・各種規定や大田区の特養優先入所制度等について学ぶ。
新人研修	入職直後より各センターにて、大田区の高齢福祉施策、介護保険制度、社会資源、センター事業、マナーや電話の取り方などを学ぶ。
センター内研修	月1回程度各センターにて学びたいことをテーマとし、職員が講師となり実施。また、外部研修で学んだことを伝達する場とし、業務の再確認やスキルアップを図る。
6包括合同研修	法人が運営する地域包括支援センターの相互の連携及び接遇マナーや相談援助技術の標準化を目的とした研修を適時実施。 ①職種間研修（保健師・看護師／主任介護支援専門員／社会福祉士） ②「面談・相談の心得と技法を学ぶ ～「聴く力」は大きい～」 ③「時間と環境をベースとした自己覚知」 ④「記録の技術ブラッシュアップ」 ⑤「不当なクレームから職員・組織を守る」 ⑥「ポジティブメンタルヘルス」 ⑦「バーンアウト症候群～感情労働専門職のための自己防衛～」

【外部研修参加状況】

実施機関	研修項目
大田区	地域包括支援センター新任研修
	フレイル予防専門職養成講座
	大田区シニアの健康長寿に向けた実態調査からみる フレイル対策の成果と課題
	養護者による高齢者虐待対応研修(基礎)
	養護者による高齢者虐待研修(自治体による権利行使)
	養護者による高齢者虐待研修(事例検討)
	大田区地域包括支援センター職員向け研修「相談記録研修」
	おいじたくセミナー
	まちの学びの場を考えるワークショップ
	認知症対応力向上研修
	地域ケア情報見える化サイト「ミルモネット」操作研修
	地域移行支援・地域定着支援研修「精神保健福祉法改正で地域移行支援はすすむのか？～支援の1歩を踏み出すためのきっかけづくり～」

	大田区介護支援専門員全体研修「大田区重層的体制整備事業について」
	大田区介護支援専門員全体研修「作成済みでも未作成でも役立つBCP 策定講座」
	大田区介護支援専門員全体研修「介護支援専門員のためのマイ・タイムライン作成体験講座」
	大田区介護支援専門員全体研修「カスタマーハラスメント研修 ～ケアマネジャーが自分や事業所を守るために～」
	大田区介護支援専門員全体研修「ケアプラン点検総括研修～リ・アセスメント支援シートとケアプラン確認シートの意義～」
	大田区介護保険事業者等研修事業「虐待を起こさないための対応と高齢者の権利擁護について」
	大田区介護保険事業者等研修事業「クレーム対応について」
	大田区介護保険事業者等研修事業「要介護者に多い感染症の理解と予防」
	大田区介護保険事業者等研修事業「自宅での看取り、施設での看取り」
	大田区介護保険事業者等研修事業「要介護者に多い疾病・ケガの基礎的理解」
	大田区介護保険事業者等研修事業「利用者からのハラスメント対策」
	大田区介護保険事業者等研修事業「高齢者がよく服用する薬の基礎知識」
	大田区介護保険事業者等研修事業「利用者とのコミュニケーションの取り方」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「介護支援専門員が知っておくべき成年後見制度」
	調布地域福祉課介護支援専門員連絡会「ケアマネジャーの疑問に答える高齢者の依存症」
	蒲田地域福祉課介護支援専門員研修「8050 問題」
	複合課題対応研修
	大田区福祉人材育成スキルアップ研修
	大田区福祉人材定着支援セミナー「ハラスメント防止」
	大田区福祉人材定着支援セミナー（メンタルヘルスのラインケア編）
	大田区福祉人材スキルアップセミナー「職員が辞めずに生き生きと輝く職場のリーダーになる秘訣」
	大田区地域包括支援センター職員向け研修「福祉講演会」
	高次脳機能障害支援促進事業 高次脳機能障がいセミナー
	マイ・タイムライン講習
東京都	地域包括支援センター初任者研修
	地域包括支援センター現任者研修
	認知症地域支援推進員研修（新任者研修）
	認知症地域支援推進員研修（現任者研修）
	認知症初期集中支援チーム研修
	認知症地域対応力向上研修
	若年性認知症企業向け研修
	東京都キャラバン・メイト養成研修
	チームオレンジ・コーディネーター研修
	高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修（基礎研修）」
	高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修（応用編）」
	高齢者権利擁護研修「権利擁護テーマ別実践研修」
	生活支援コーディネーター初任者研修
	生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ
	「自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議推進事業」区市町村実務者会議
	精神保健福祉研修「基礎研修Ⅰ」

	精神保健福祉研修「基礎研修2」
	精神保健福祉研修「相談援助技術研修1」
	精神保健福祉研修「相談援助技術研修2」
	精神保健福祉研修「認知行動療法研修I」
	精神保健福祉研修「発達障害者支援研修1」
	精神保健福祉研修「パーソナリティ障害の理解と基本的な対応」
	精神保健福祉研修「思春期・青年期における問題行動」
	精神保健福祉研修「アルコール依存症の理解と対応」
	区市町村介護事業担当者向け研修（総論編）
	区市町村介護事業担当者向け研修（実践編I）
	区市町村介護事業担当者向け研修（実践編II）
	区市町村介護予防事業担当者向け研修「実践報告会（区部）」
	配偶者暴力(DV)被害者支援のための基礎知識
	東京都精神障害者地域移行促進事業 地域移行関係職員に対する研修
	東京都入退院時連携強化研修
	東京都介護支援専門員実務研修
	介護支援専門員専門研修I
	介護支援専門員専門研修II
	東京都介護支援専門員更新研修(実務者研修)
	東京都主任介護支援専門員更新研修
	自立支援・重度化防止等介護支援専門員質の向上研修
	長寿社会開発センター研修セミナー「こんな時どうする!?精神疾患のある方の支援のポイント」
	長寿社会開発センター研修セミナー「組織力アップのためのマネジメント～チーム力を高め、持続可能な組織を作るリーダーの役割」
	長寿社会開発センター 令和6年度介護報酬改定のポイント（居宅介護支援関係）（在宅サービス関係）
	押さえておきたい！2024年介護報酬改定のポイント
他	市町村職員を対象とするセミナー「チームオレンジの効果的実施に関するセミナー～認知症の人と本当に「出会えて」ますか？～」
	NPO 大田区介護支援専門員連絡会主催「終活～一人暮らしの利用者にもしもの事が合った時～」
	NPO 大田区介護支援専門員連絡会主催「みんなでブラッシュアップ！総合事業！！」
	地域福祉コーディネーター等実践報告会
	すいしんいんセッション ～推進員同士で語り合おう！つながりあって、仲間を増やそう！～
	多職種連携推進事業 梅ちゃん談話室
	大森医師会地域包括ケアの会 「サービス介入困難者について」
	大森医師会認知症 TOP-Q 連携説明会
	認知症に関する事業マネジメント研修会
	大森榎本クリニック 統合失調症の「生きる」を地域で支える
	地域在宅勉強会
	もしものためのサバイバル術